

第八編 公證人

第一章 總則

公證人法

(明治四十一年四月法律第五十三號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル公證人法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一章 總則

第一條 公證人ハ當事者其ノ他ノ關係人ノ囑託ニ因リ法律行爲其ノ他私權ニ關スル事實ニ付公正證書ヲ作成シ及私署證書ニ認證ヲ與フルノ權限ヲ有ス

第二條 公證人ノ作成シタル文書ハ本法及他ノ法律ノ定ムル要件ヲ具備スルニ非サレハ公正ノ效力ヲ有セス

第三條 公證人ハ正當ノ理由アルニ非サレハ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス

第四條 公證人ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ取扱ヒタル事件ヲ漏泄スルコトヲ得ス但シ囑託人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 公證人ハ他ノ公務ヲ兼ホ、商業ヲ營ミ又ハ商會社若シテ營利ヲ目的トスル社團法人ノ代表者若シテ使用人ト爲ルコトヲ得ス但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條 公證人其ノ職務ヲ執行ニ付囑託人其ノ他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其ノ損害力公證人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第七條 公證人ハ囑託人ヨリ手数料、日當及旅費ヲ受ク

公證人ハ前項ニ記載シタルモノヲ除クノ外何等ノ名義ヲ以テスルモ其ノ取扱ヒタル事件ニ關シテ報酬ヲ受ケルコトヲ得ス

第八條 區裁判所ノ管轄區域内ニ公證人ナキ場合又ハ公證人其ノ職務ヲ行フコト能ハサル場合ニ於テハ司法大臣ハ其ノ區裁判所ヲシテ管轄區域内ニ於テ公證人ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ判事差支アルトキハ裁判所書記ヲシテ公證人ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第九條 本法及他ノ法令中公證人ノ職務ニ關スル規定ハ公證人ノ事務ヲ取扱フ判事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手数料、日當及旅費ハ國庫ノ收入トス

第二章 任免及所屬

第十條 公證人ハ地方裁判所ノ所屬トス

各地方裁判所所屬公證人ノ員數ハ區裁判所ノ管轄區域毎ニ司法大臣之ヲ定ム

第十一條 公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及シ其ノ屬スヘキ地方裁判所ヲ指定ス

第十二條 左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ公證人ニ任セララルコトヲ得ス

一 帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二 一定ノ試験ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ爲シタルコト

試驗及實地修習ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム

第十三條 判事、檢事又ハ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ試驗及實地修習ヲ經スシテ公證人ニ任セララルコトヲ得

第十四條 左に掲ぐる者ハ公證人ニ任セラルルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終  
了シ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトヲキテ至ル迄ハ此ノ限ニ在ラス

二 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

三 禁治産者及準禁治産者

四 懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ  
免官、免職又ハ除名後二年ヲ經過セサル者

第十五條 司法大臣ハ左ノ場合ニ於テ公證人ヲ免スルコトヲ得

一 公證人免職ヲ願出テタルトキ

二 公證人期間内ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキ

三 公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所ヲ管轄スル控訴院ニ於ケル懲戒委員會ノ議決ヲ經  
テ

第十六條 公證人第十四條第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第三章 職務執行ニ關スル通則

第十七條 公證人ノ職務執行ノ區域ハ其ノ所屬地方裁判所ノ管轄區域ニ依ル

第十八條 公證人ハ司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設クヘシ

公證人ハ役場ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス但シ事件ノ性質カ之ヲ許ササル場合又ハ法令ニ  
別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

公證人ハ其ノ役場内ニ住居スヘシ但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 公證人ハ任命ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ所屬地方裁判所ニ身元保證金ヲ  
納ムベシ

身元保證金ノ額ハ土地ノ情況ニ從ヒ三百圓以上千圓以下ノ範圍内ニ於テ司法大臣之ヲ定ム

身元保證金ノ額不足トシ補充ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以  
内ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ

公證人身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條 身元保證金ヲ還付スヘキ場合ニ於テハ其ノ身元保證金ノ上ニ權利ヲ有スル者ニ對シ六  
月ヲ下ラサル期間内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

身元保證金ハ前項ノ期間ヲ經過スルニ非サレバ之ヲ還付セズ

身元保證金ハ他ノ公課及債權ニ先チテ之ヲ第一項ノ公告費用ニ充ツ

第二十一條 公證人ハ其ノ職印ノ印鑑ニ氏名ヲ自署シ之ヲ所屬地方裁判所ニ差出スヘシ

公證人前項ノ印鑑ヲ差出ササル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十二條 公證人ハ左ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

一 囑託人 其ノ代理人又ハ囑託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ノ配偶者、四親等  
内ノ親族又ハ同居ノ戶主若ハ家族タルトキ親族關係力止ミタル後亦同シ

二 囑託人又ハ其ノ代理人ノ法定代理人又ハ輔佐人タルトキ

三 囑託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スルトキ

四 囑託セラレタル事項ニ付代理人若ハ輔佐人タルトキ又ハ代理人若ハ輔佐人タルトキ

第二十三條 公證人職務上署名スルトキハ其ノ職名、所屬及役場所在地ヲ記載スヘシ  
第二十四條 公證人ハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケテ筆生ヲ置キ執務ノ補助ヲ爲サシムルコト  
ヲ得

前項ノ認可ハ必要ナル場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十五條 公證人ノ作成シタル證書ノ原本、其ノ附屬書類又法令ニ依リ公證人ノ調製シタル帳  
簿ハ事變ヲ避クル爲ニスル場合ヲ除ク外之ヲ役場外ニ持出スコトヲ得ス但シ裁判所又ハ豫審  
刑事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ書類ノ保存及廢毀ニ關スル規定ハ司法大臣之ヲ定ム

第四章 證書ノ作成

第二十六條 公證人ハ法令ニ違反シタル事項、無効ノ法律行為又無能力ニ因リテ取消スコトヲ得  
ベキ法律行為ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十七條 公證人ハ日本語ヲ用ウル證書ニ非サレハ之ヲ作成スルコトヲ得ス  
第二十八條 公證人證書ヲ作成スルニハ囑託人ノ氏名ヲ知り且之下面識アルコトヲ要ス

公證人囑託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之下面識ナキトキハ其ノ本籍地若ハ寄留地ノ市區町村長ノ作  
成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ又ハ氏名ヲ知且下面識スル公證人二人ニ依リ其ノ一人遠キヨリ  
之證明セシムルコトヲ要ス但シ囑託人外國人ナルトキハ警察官吏又ハ帝國駐在スル本國領事  
ノ證明書ヲ以テ印鑑證明書ニ代フルコトヲ得

急迫ナル場合ニ於テ公證人法律行為ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成スルハ前項ノ手續ハ證書  
ヲ作成シタル後三日内ニ證書ヲ作成スル規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲シタル下ニハ證書ハ急迫ナル場合ニ非サルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラレルコトヲシ

第三十四條 第三項ノ規定ハ第二項ノ證人ニ之ヲ準用ス

第二十九條 囑託人日本語ヲ解セサル場合又ハ聽者若ハ啞者其ノ他言語ヲ發スルコト能ハサル者  
ニシテ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ通事ヲ立會サシムルコトヲ要ス

第三十條 囑託人盲者ナル場合又ハ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ立會人  
ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ囑託人立會人ヲ立會ハシムルニ於テ請求シタル場合ニ之ヲ適用ス

第三十一條 代理人ニ依リ囑託セラレタル場合ニ於テハ前三條ノ規定ハ其ノ代理人ニ之ヲ適用ス  
第三十二條 代理人ニ依リ囑託セラレタル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ代理人ノ權  
限ヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ權限ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前項ノ證書ヲ認證チ受ケサル私署證書ナルトキハ其ノ證書外其ノ署名者ノ本籍地又ハ寄留地ノ  
市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ證書ノ真正ナルコトヲ證明セシムルコトヲ要  
ス但シ其ノ署名者外國人ナルトキハ第二十八條第二項但書ノ規定ヲ準用ス

證書ノ作成ニ關スル規定依リ代理又ハ其ノ方式ノ欠缺ヲ追完シタルトキハ證書ハ其ノ欠缺アリ  
タルカ爲効力ヲ妨ケラレルコトナシ

第三十三條 第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スヘキ法律行為ニ付公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ許可  
又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシムルコトヲ要  
ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 通事又立會人ハ囑託文ハ其ノ代理人之ヲ選定スルコトヲ要ス

立會人ハ通事ヲ兼ヌルコトヲ得

左ニ掲ケル者ハ立會人タルコトヲ得ス

一 未成年者

二 第十四條ニ掲ケル者

三 自ラ署名スルコト能ハサル者

四 囑託事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者

五 囑託事項ニ付代理人若クハ輔佐人タル者又ハ代理人若クハ輔佐人タリシ者

六 公證人又ハ託囑人若クハ其ノ代理人ノ配偶者、四親等内ノ親族同居ノ右主若クハ家族ノ法定

代理人、保佐人、雇人又ハ同居人

七 公證人ノ筆生

第三十五條 公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ聽取タル陳述其ノ自擊シタル狀況其ノ他自ラ實驗

第三十六條 公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ本旨ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 囑託人ノ住所、職業、氏名及年齡若クハ法人タル者ノ事務所

二 代理人ニ依リ囑託セラルル事及以テ代理人ノ權限ヲ證スルコトヲ要ス

三 シテ其ノ權限ヲ證明セシメタル事

四 囑託人又ハ其ノ代理人ノ氏名法知り且之ヲ面識アル事

五 第三者ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スルコトヲ要ス

明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齡若クハ法人タル

キハ其ノ名稱及事務所

六 市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ警察官吏若クハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人違ナ

キコト又ハ證書ノ真正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由

七 氏名ヲ知り且面識アル證人ニ依リ人違ナキコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由

並其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齡

八 急迫ナル場合ニ於テ人違ナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨

九 通事又ハ立會人チ立會ハシメタルトキハ、其ノ旨及其ノ事由並其ノ通事又ハ立會人ノ住

所、職業、氏名及年齡

十 作成ノ年月日及場所

第三十七條 公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用キ字畫ヲ明瞭ナラシムヘシ

接續スヘキ字行ニ空白アルトキハ線ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用カヘシ

第三十八條 證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、囑託

人、又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

證書ノ文字ヲ削除スルトキハ其ノ文字ハ尙明ニ讀得ヘキ爲字體ヲ存シ削除シタル字數及箇所ヲ

欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、囑託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

前三項ノ規定ニ違反シテ爲シタル訂正ハ其ノ効力ヲ有セス  
 第三十九條 公證人ハ其ノ作成シタル證書ヲ列席者ニ讀聞カセ閱覽セシメ囑託人又ハ其ノ代理人ノ承認ヲ得且其ノ旨ヲ證書ニ記載スルコトヲ要ス  
 通事ヲ立會ハシメタル場合ニ於テハ前項ノ外通事ヲシテ證書ノ趣旨ヲ通譯セシメ且其ノ旨ヲ證書ニ記載スルコトヲ要ス

前二項ノ記載ヲ爲シタルトキハ公證人及列席者各自證書ニ署名捺印スルコトヲ要ス  
 列席者ニシテ署名スルコト能ハサル者アルトキハ其ノ旨ヲ證書ニ記載シ公證人及立會人之捺印スルコトヲ要ス  
 證書數葉ニ涉ルトキハ公證人、囑託人又ハ其ノ代理人及立會人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

證書ハ公證人、囑託人若ハ其ノ代理人又ハ立會人ノ契印ニ依リ其ノ全部ノ連續明白ナル場合ニ於テハ前項ニ違反シタルカ爲其ノ効力ヲ妨ケラレルコトナシ

第四十條 公證人ノ作成スル證書ニ他ノ書面ヲ引用シ且之ヲ其ノ證書ニ添附スルトキハ公證人、囑託人又ハ其ノ代理人及立會人其ノ證書ト添附書面トノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス  
 前三條ノ規定ハ前項ノ添附書面ニ之ヲ準用ス

第二項ニ依ル添附書面ハ公證人ノ作成シタル證書ノ一部ト看做ス  
 第四十一條 代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書、市區町村長、警察官吏又ハ領事ノ證明書、第三者ノ許可又ハ同意ヲ證スヘキ證書其ノ他ノ附屬類ハ公證人ノ作成シタル證書ニ之ヲ連續スヘシ  
 公證人、囑託人又ハ其ノ代理人及立會人ハ證書ト其ノ附屬書類トノ綴目及附屬書類相互ノ綴目

ニ契印ヲ爲スヘシ

第四十二條 證書ノ原本滅失シタルトキハ公證人ハ既ニ交附シタル證書ノ正本又ハ謄本ヲ徵シ所屬地方裁判所長ニ認可ヲ受ケ滅失シタル證書ニ代ヘテ之ヲ保存スルコトヲ要ス  
 前項ノ證書ニハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケ滅失シタル證書ニ代ヘテ之ヲ保存スル旨及其ノ認可ノ年月日ヲ記載シ公證人之署名捺印スルコトヲ要ス

第四十三條 公證人ハ囑託人ヲシテ印紙稅法ニ依リ證書ノ原本ニ印紙ヲ貼用セシム  
 第四十四條 囑託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シタル者ハ證書ノ原本ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第三十八條第一項、第二項及第五項、第三十一條並第三十二條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ之ヲ準用ス

公證人囑託人ノ承繼人ニ證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ於テハ承繼人タルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ承繼人タルコトヲ證明セシムヘキ證書ニ之ヲ準用ス  
 第三十二條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ提出セシムヘキ證書ニ之ヲ準用ス

檢事ハ何時ニテモ證書ノ原本ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得  
 第四十五條 公證人ハ證書原簿ヲ調製シ記入前其ノ所屬地方裁判所長ノ契印ヲ請フヘシ  
 地方裁判所長ハ其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ每葉ノ綴目ニ職印ヲ

以テ契印ヲ爲スヘシ  
 第四十六條 證書原簿ニハ證書ノ作成毎ニ進行ノ順序ヲ逐ヒ左ノ事項ヲ記入スヘシ

一 證書ノ番號及種類

三 囑託人ノ住所及氏名若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

第三十條 作成ノ年月日ハ前項ノ規定ニ依リ公證人證書ニ記入スルベシ

第三十一條 第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス前二項ノ規定ハ證書ノ作成ヲ記入スルベキ帳簿ニ關シ法令ニ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第三十二條 囑託人又ハ其ノ承繼人ハ證書ノ正本ヲ交付シ請求スルコトヲ得

第三十三條 第二項及第五項第三十一條第三十二條第一項及第二項並第四十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ正本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 證書ノ正本ニ左ノ事項ヲ記載シ公證人之署名捺印スルコトヲ要ス

一 公證ノ全文

二 公證ノ正本タルコト

三 交付ヲ請求シタル者ノ氏名

四 作成ノ年月日及場所

前項ノ規定ニ違反スルモノハ證書ノ正本タルノ效力ヲ有セス

第四十九條 數事件ヲ列記スル證書又ハ數人各自ニ關係ヲ異ニスル證書ニ付テハ有用ノ部分及證書ノ方式ニ屬スル記載ヲ抄録シテ其ノ正本ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ正本ニハ抄録ノ正本タルコトヲ記載シ前條第一項第三號ノ記載ニ代テ之ヲ要ス

第五十條 公證人證書ノ正本ヲ交付シタル者ハ其ノ證書ノ末尾ニ囑託人又ハ其ノ承繼何某ノ爲メ正本ヲ交付シタル旨其ノ交付ノ年月日ヲ記載シ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス

第五十一條 囑託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シタル者ハ證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 第二項及第五項第三十一條第三十二條第一項及第二項並第四十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ謄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 證書ノ謄本ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人之署名捺印スルコトヲ要ス

一 證書ノ全文

二 謄本タルコト

三 作成ノ年月日及場所

第五十四條 證書ノ謄本ハ其ノ一部ニ付之ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ謄本ニハ抄録謄本タルコトヲ記載スルコトヲ得

第五十五條 前二條ノ規定ハ證書ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十六條 證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ヲ請求スル者ハ之ヲ記載スルベキ事項ヲ自ら記載シ公證人ノ署名捺印ノミヲ請求スルコトヲ得

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ら之ヲ作成シタルト同一ノ効力ヲ有ス

第五十七條 證書ノ正本若クハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ涉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スルベシ

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ證書ノ正本及謄本並其ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十七條 第三十八條第二項ノ規定ハ公證人遺言書ヲ作成スル場合ニ、第二十八條乃至第三十二條ノ規定ハ公證人拒絕證書ヲ作成スル場合ニ之ヲ適用セス

第五十八條 公證人私署證書ニ認證ヲ與フルニハ當事者其ノ前面ニ於テ證書ニ署名若ハ捺印シタルトキ又ハ證書ノ署名若ハ捺印ヲ自認シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ノ謄本ニ認證ヲ與フルニハ證書ト對照シ其ノ符合スルコトヲ認メタルトキ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ニ文字ノ挿入、削除、改竄、欄外ノ記載其ノ他ノ訂正アルトキ又ハ破損若ハ外見上著ク疑フヘキ點アルトキハ其ノ狀況ヲ認證文ニ記載スルコトヲ要ス

第五十九條 認證ヲ與フルヘキ證書ニハ登簿番號、認證ノ年月日及其ノ場所ヲ記載シ公證人及立會人之ニ署名捺印シ且其ノ證書ニ認證簿ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第六十條 第三十六條乃至第三十四條、第三十七條、第三十八條並第三十九條第五項第六項ノ規定ハ私署證書ニ認證ヲ與フル場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條 公證人ハ認證簿ヲ調製スヘシ

第四十五條ノ規定ハ認證簿ノ調製ニ之ヲ準用ス

第六十二條 登簿番號

第六十二條 認證人ノ住所及氏名若シテ法人ナルハ其ノ名稱及事務所

第四十二條 認證ノ方法

第五條 立會人ノ住所及氏名

第六 認證ノ年月日

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六章 代理兼務及受繼

第六十三條 公證人疾病其ノ他日ムコトヲ得サル事由ニ由リ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ隣接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ代理ヲ囑託スルコトヲ得

公證人前項ニ依リ代理ヲ囑託シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所屬地方裁判所長ニ届出ツベシ其ノ代理ヲ解キタルトキ亦同シ

第六十四條 公證人前條第一項ニ依リ代理ヲ囑託セス又ハ之ヲ囑託スルコト能ハサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄又ハ之ニ隣接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ代理ヲ命スルコトヲ得

公證人其ノ職務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ地方裁判所長ハ前項ノ代理ヲ解クヘシ

第六十五條 公證人ノ代理者前二條ニ依リ其ノ職務ヲ行フハ役場ハ代理セララルル公證人ハ役場トシ

公證人ノ代理者職務上署名スルトキハ代理セララルル公證人ノ職氏名、所屬、役場所在地及其ノ代理者タルコトヲ記載スヘシ

第六十六條 規定ハ代理セララルル公證人ノ外其ノ代理者ニモ之ヲ適用ス

第六十六條 公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ所屬地方裁判所長必要ト認ムルトキハ其人指定シタル官吏ヲシテ遲滯ナク役場ノ書類ニ捺印ヲ爲サシムヘシ

第六十七條 公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ直ニ後任者ノ任命セラレサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ隣接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ兼務ヲ命スルコトヲ得

後任者其ノ職務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ地方裁判所長ハ前項ノ兼務ヲ解クヘシ

第六十八條 公證人ノ免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ前任者ト立會ヒ遲滞ナク書類ノ授受ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ書類ヲ受取ルヘシ

第六十六條ニ依ル書類ノ封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ封印ヲ解キ書類ヲ受取ルヘシ

第六十九條 前條ノ規定ハ兼務者ガ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡スベキ場合ニ之ヲ準用ス

第七十條 兼務者職務上署名スルトキハ兼務者タルコトヲ記載スヘシ

前任者又ハ兼務者ノ作成シタル證書ニ依リ後任者ガ其ノ正本又ハ謄本ヲ作成スル場合ニ於テ署名スルトキハ後任者タルコトヲ記載スヘシ

第七十一條 公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ因リ後任者ヲ要セサルトキハ司法大臣ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ書類ノ引繼ヲ命スルコトヲ得

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命セラレタル公證人ニ之ヲ準用ス

第七十二條 第六十六條、第六十七條、第六十八條第三項及第七十條第一項ノ規定ハ公證人ノ停職ノ場合ニ之ヲ準用ス

兼務者前項ニ依リ其ノ職務ヲ行フノ役場ハ停職者ノ役場トス

第七十三條 第六十八條及第六十九條ノ規定ハ區裁判所カ第八條ニ依リ公證人ノ職務ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第七章 監督及懲戒

第七十四條 公證人ハ所屬地方裁判所長ノ監督ヲ受ク

地方裁判所長ハ區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事ヲシテ其ノ管轄區域内ノ公證人ニ對スル監督事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第七十五條 司法大臣及控訴院長ハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ニ準シ公證人ヲ監督ス

第七十六條 前二條ノ監督權ハ左ノ事項ヲ包含ス

一 公證人ノ不適當ニ取扱ヒタル職務ニ付其ノ注意ヲ促シ及適當ニ其ノ職務ヲ取扱フヘキコトヲ之ニ訓令スルコト

二 職務ノ内外ヲ問ハス公證人ノ地位ニ不相應ナル行狀ニ付之ニ諭告スルコト但シ諭告ヲ爲ス前其ノ公證人ヲシテ辯明スルコトヲ得セシムヘシ

第七十七條 監督官ハ公證人ノ保存スル書類ヲ檢閲シ又ハ其ノ指定シタル官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムルコトヲ得

第七十八條 囑託人又ハ利害關係人ハ公證人ノ事務取扱ニ對シ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ハ本章ニ掲ケタル監督權ニ依リ之ヲ處分ス

第七十九條 公證人職務上ノ職務ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行爲アリタルトキハ懲戒ニ付ス



第八十條 懲戒ハ左ノ五種トス

- 一 譴責
- 二 千圓以下ノ過料
- 三 一年以下ノ停職
- 四 轉屬
- 五 免職

第八十一條 過料、停職、轉屬及免職ハ懲戒委員會ノ議決ニ依リ司法大臣之ヲ行フ

第八十二條 各控訴院ニ懲戒委員會ヲ設ク

懲戒委員會ハ之ヲ設置シタル控訴院ノ管轄區域内ノ地方裁判所所屬ノ公證人ニ對スル懲戒ヲ議決ス

懲戒委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條 公證人ノ懲戒手續ト刑事裁判手續トノ關係及其ノ職務停止ニ付テハ判事懲戒法ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 過料ヲ完納セザルトキハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス

前項ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

公證人ノ納メタル身元保證金ハ第二十條第三項ノ場合ヲ除ク外他ノ公課及債權ニ先チ之ヲ過料ニ充ツ

附則

第八十五條 本法ニ於テ市區町村長ト稱スルハ之ヲ置カサル地ニ在リテハ其ノ職務ヲ行フ吏員ヲ謂フ

第八十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(本條ノ施行期日ハ明治四十二年勅令第百八十九號ヲ以テ明治四十二年八月十六日ト指定シタリ)

第八十七條 公證人規則ハ之ヲ廢止ス

第八十八條 本法施行ノ際公證人タルモノハ別ニ任命ノ辭令書ヲ用キス本法ニ依ル公證人トシ其ノ役場所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ所屬トス

第八十九條 公證人規則ニ依リ公證人ノ設ケタル役場ハ本法ニ依ル役場トス

第九十條 公證人規則ニ依リ差入レタル身元保證金ハ本法ニ依リ納メタル身元保證金トス

第九十一條 公證人規則ニ依リ囑託セラレタル代理者又ハ命セラレタル兼任者ハ本法ニ依ル代理者又ハ兼務者トス

第九十二條 本法施行前ニ着手シタル公證人ノ職務上ノ行爲ハ本法ニ依リ之ヲ完結ス

第九十三條 本法施行前ニ着手シタル公證人規則第五十八條第五十九條及第六十一條ノ手續ハ本法ニ依リ之ヲ完結ス

第九十四條 本法施行前ニ公證人ノ事務取扱ニ對シテ爲シタル抗告ハ公證人規則ニ依リ之ヲ完結ス

第九十五條 本法施行前ニ爲シタル公證人ノ行爲ニシテ公證人規則ニ違反スルモノハ本法ニ依リ之ヲ懲戒ニ付ス但シ本法施行前ニ開始シタル懲罰手續ハ公證人規則ニ依リ之ヲ完結ス

### 公證人法ヲ樺太ニ施行スルノ件

(明治四十二年七月勅令第百九十號)

朕公證人法ヲ樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

公證人法ハ之ヲ樺太ニ施行ス

明治四十年勅令第九十四號中第三條 削除

附則

本令ハ明治四十二年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

### 公證人法施行細則

(明治四十二年七月司法省令第十四號)

公證人法施行細則左ノ通相定ム

公證人法施行細則

- 第一條 公證人司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設ケムトスルトキハ其ノ位置及建物ノ構造ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受クベシ
- 役場ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク司法大臣ニ届出ツベシ
- 第二條 前條ノ規定ハ役場ヲ移轉スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第三條 公證人ハ其ノ役場ニ公證人某役場ト記載シタル表札ヲ掲グヘシ
- 第四條 公證人ノ納ムヘキ身元保證金ハ左ノ區別ニ從フ

東京市及大阪市ニ役場ヲ設ケル者

金千圓

人口十萬以上ノ地ニ役場ヲ設ケル者

金七百圓

人口三萬以上ノ地ニ役場ヲ設ケル者

金五百圓

其ノ他ノ地ニ役場ヲ設ケル者

金三百圓

第五條 公證人ノ納ムヘキ身元保證金ハ現金ニ代ヘ國債證券、日本勸業銀行發行勸業債券及貯蓄債券、日本興業銀行債券又ハ日本銀行株券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

第六條 公證人期間内ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキハ所屬地方裁判所長ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第七條 公證人法第二十條第一項ノ公告ハ地方裁判所之ヲ爲ス

前項ノ公告ハ官報ニ之ヲ爲シ且新聞紙上ニ少クトモ二回之ヲ爲スヘシ

第八條 公證人ノ職印ハ方六分トシ公證人何某ト彫刻スベシ

第九條 公證人ノ作ルヘキ證書其ノ他ノ書面ノ用紙ハ某地方裁判所管內公證人役場ト刻シタル強靱ナル美濃紙ヲ用フベシ

第十條 公證人法ニ依リ提出スヘキ印鑑證明書ニハ氏名、住所ノ外年齢ノ記載アルコトヲ要ス

第十一條 公證人法律行為ニ付證書ヲ作成シ又ハ認證ヲ與フル場合ニ於テ其ノ法律行為ノ有効ナルヤ否、當事者カ相當ノ考慮ヲ爲シタルヤ否及之ヲ爲スノ能力ヲ欠缺セサルヤ否ニ付疑アルト

キハ關係人ニ注意ヲ爲シ且之ヲシテ必要ナル説明ヲ爲サシムヘシ

第十二條 公證人法律行為ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テ其ノ事實ニ因リ影響ヲ受

クヘキ私權ノ關係ニ付疑アルハ關係人ニ注意ヲ爲シ且之ヲシテ必要ナル説明ヲ爲サシムヘシ

第十三條 法律行為ニ付テノ證書ノ再度ノ正本ノ交付ヲ請求スル者アル場合ニ於テ其ノ正本ヲ要スル事由ニ付疑アルトキハ公證人ハ其ノ者ヲシテ其ノ事由ヲ證明セシムヘシ

第十四條 公證人囑託ヲ拒ミタル場合ニ於テ囑託人ノ請求アルトキハ其ノ理由書ヲ交付スヘシ

第十五條 公證人役場ニハ證書原簿、認證簿及確定日附簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 受附簿

二 拒絕證書簿

第十六條 證書原簿、認證簿及受附簿ハ附錄第一號乃至第三號雛形ニ依リテ之ヲ調製スヘシ

第十七條 公證人囑託ヲ受ケタルトキハ受附簿ニ受附月日、受附番號、件名及囑託人ノ氏名、住所ヲ記載シ職務ノ完結後證書ノ番號又ハ登錄番號並手數料、日當及旅費ノ類ヲ記入スヘシ

第十八條 受附番號ハ一曆年毎ニ之ヲ更新スヘシ

第十九條 同時ニ數箇ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テハ印鑑證明書又ハ警察官定若ハ領事ノ證明書ハ一通ヲ提出スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ受附番號ノ最少キモノニ其ノ證明書ヲ連續シ其ノ他ノ囑託ニハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ作りテ之ヲ連續スヘシ

第二十條 證書原簿及受附簿ニ囑託人ノ氏名、住所ヲ記載スル場合ニ於テ囑託人多數ナルトキハ當事者雙方各一人ノミノ氏名、住所及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十一條 證書ノ原本ハ番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴スヘシ

囑託ニ關シ提出シタル書類ニシテ原本ニ連續スヘカラサルモノハ之ニ表紙ヲ附シ件名及受附番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴スヘシ

第二十二條 公證人ハ其ノ役場ニ附屬スル倉庫又ハ堅牢ナル建物内ニ書類ヲ保存スヘシ

第二十三條 公證人法第六十八條、第六十九條及第七十一條乃至第七十三條ニ依リ書類ノ授受ヲ爲ス場合ニ於テハ目錄ヲ作り其ノ末尾ニ授受ノ事由及年月日ヲ記載シ授受者及立會官吏ニ署名捺印スヘシ

前項ノ目錄ハ作成ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ謄本ヲ所屬地方裁判所ニ差出スヘシ

第二十四條 公證人法第六十七條第一項ノ兼務者ハ自己ノ役場ニ於テ前任者ノ事務ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ速ニ司法大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第二十五條 代理者又ハ公證人法第七十二條ノ兼務者ハ其ノ職務ヲ行フ役場ノ見易キ場所ニ代理者某又ハ兼務者某ナルコトヲ揭示スヘシ

第二十六條 後任者又ハ公證人法第六十七條第一項ノ兼務者ハ其ノ職務ヲ行フ役場ノ見易キ場所ニ公證人某ノ後任者又ハ公證人某ノ取扱ヒタル事務ニ付テハ兼務者ナルコトヲ揭示スヘシ但シ後任者ノ爲スヘキ揭示ノ期間ハ一年トス

第二十七條 後任者ノ作成スル文書ノ番號ハ前任者又ハ兼務者ノ作成シタル文書ノ番號ノ順序ヲ道ヒテ之ヲ記載スヘシ

第二十八條 地方裁判所長ハ公證人名簿ヲ備ヘ之ニ所屬公證人ノ住所、族稱、氏名、年齢及役場所在地ヲ登錄スヘシ

第二十九條 公證人ノ死亡又ハ失職ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所長ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

公證人ノ職務ニ關シテハ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

| 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |

| 附録第二號   | 附録第三號   |
|---------|---------|
| 紙數表紙ヲ除キ | 紙數表紙ヲ除キ |
| 一枚      | 一枚      |
| 地方裁判所長  | 地方裁判所長  |

| 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 | 證書種類 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |
| 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  | 及氏名  |
| 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  | 及住所  |

| 附録第二號   | 附録第三號   |
|---------|---------|
| 紙數表紙ヲ除キ | 紙數表紙ヲ除キ |
| 一枚      | 一枚      |
| 地方裁判所長  | 地方裁判所長  |

第二十條 公證人司法大臣ニ書面ヲ提出スル場合ニ於テハ所屬地方裁判所長ヲ經由スヘシ但シ急  
 ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス  
 前項但書ノ場合ニ於テハ同時ニ地方裁判所長ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ  
 第三十一條 公證人事務取扱ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ司法大臣ニ稟伺スルコトヲ得  
 第三十二條 收入印紙ヲ以テ手数料 日當及旅費ヲ區裁判所ニ納付スル場合ニ於テハ納付書ニ其  
 ノ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ差出スヘシ  
 附 則  
 本令ハ公證人法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 公證人法第三十六條第一號ニ依リ記載スヘキ證書ノ番號ハ公證人規則ニ依リ附シタル番號ノ順序  
 ナ追ヒテ之ヲ記載スヘシ  
 附録第一號  
 附録第二號  
 附録第三號







|    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福島 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 中  | 白 | 平 | 若 | 田 | 山 | 新 | 米 | 長 | 酒 | 鶴 | 盛 | 花 |
| 村  | 河 |   | 松 | 島 | 形 | 庄 | 澤 | 井 | 田 | 岡 | 岡 | 卷 |
| 盛岡 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 遠  | 福 | 宮 | 磐 | 水 | 秋 | 本 | 能 | 大 | 花 | 大 | 橫 | 湯 |
| 野  | 岡 | 古 | 井 | 澤 | 田 | 莊 | 代 | 館 | 輪 | 曲 | 手 | 澤 |
| 青森 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 青  | 野 | 弘 | 鱈 | 五 | 八 | 函 | 江 | 福 | 壽 | 札 | 旭 | 浦 |
| 森  | 邊 | 前 | ヶ | 所 | 戸 | 館 | 差 | 山 | 都 | 幌 | 川 | 河 |
| 禮  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 增  | 稚 | 小 | 室 | 岩 | 根 | 紗 | 綱 | 厚 | 釧 | 帶 | ウ | マ |
| 毛  | 内 | 樽 | 蘭 | 内 | 室 | 那 | 走 | 岸 | 路 | 廣 | ラ | カ |
|    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ガ | カ |

公證人手數料規則

(明治四十二年六月勅令第七十四號)

朕公證人手數料規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシムルニ付凡ソ公證ノ爲メニ  
公證人手數料規則  
第一條 公證人ノ受ケルヘキ手數料、日當及旅費ハ本令ノ定ムル所ニ依ル  
第二條 法律行爲ニ付テハ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段シテ定ムル場合ヲ降クノ外左ノ區別ニ從  
フニ別ス

- 法律行爲ノ目的ノ價額百圓迄 一圓
- 同 二百五十圓迄 二圓二十五錢
- 同 五百圓迄 一圓五十錢
- 同 七百五十圓迄 一圓七十五錢
- 同 千圓迄 二圓
- 同 二千五百圓迄 二圓五十錢
- 同 五千圓迄 三圓
- 同 五千圓ヲ超過スルトキハ五萬圓迄ハ五千圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ五千圓ニ滿タサルモ之ヲ  
五千圓トス
- 同 五萬圓ヲ超過スルトキハ五萬圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ一萬圓ニ滿タサルモ之ヲ一萬圓トス

第三條 法律行爲ノ目的ノ價額ハ公證人カ證書ノ作成ニ著手シタル時ノ價額ニ依ル

第四條 當事者雙方ノ囑託ニ因リ證書ヲ作成スル場合ニ於テハ法律行爲ノ目的ノ價額ハ各給付ノ



價額ヲ合算シテ額ニ依ル但シ當事者ノ一方ノ給付ノミカ金錢ヲ目的トスルモノナルトモ其ノ二倍ノ額ニ依ル目的ノ額ニ依ル  
 第五條 當事者ノ一方ノ囑託ニ因テ證書ヲ作成スル場合ニ於テ該囑託者ノ給付ノ價額ヲ以テ法律行為ノ目的ノ價額トス但シ相手方ノ給付カ金錢ヲ目的トスルモノナルトキハ其ノ額ニ依ル  
 第六條 主ナル法律行為ト共ニ附隨的法律行為ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テ主ナル法律行為ニ依リ手数料ヲ算定ス

第七條 債權ノ擔保ノ價額ハ其ノ目的ノ價額ノ債權ノ額トナ比較シ其ノ少キ額ニ依ル  
 擔保ノ移轉ノ目的トスル法律行為ニ付テハ擔保ノ價額ト移轉ニ因リテ擔保ヲ付セラルヘキ債權ノ額トナ比較シ其ノ少キ額ニ依ル  
 擔保ノ順位ノ移轉ヲ目的トスル法律行為ニ付テハ其ノ移轉ニ因リテ優先ノ順位ヲ取得スヘキ擔保ノ價額トシテ之ヲ擔保ノ價額トナ比較シ其ノ少キ額ニ依ル  
 第八條 地役ノ價額ハ他役ニ因リテ生スル要役地ノ増價額ト承役地ノ減價額トナ比較シ其ノ多キ額ニ依ル

第九條 定時ニ給付ノ價額ヲ合算期間ノ給付ノ總價額ニ依ル但シ其ノ價額ハ動産ノ貸借ニ付テハ二年不動産ノ貸借及商工業ノ見習ヲ目的トセザル雇傭契約ニ付テハ五年、其ノ他ノ場合ニ於テハ十年分ノ給付ノ價額ニ超ユルコトヲ得ス  
 期間ノ定時ニ給付ノ價額ハ前項但書ニ定ムル期間内ノ給付ノ總價額ニ依ル  
 前二項ノ場合ニ於ケル相手方ノ給付ノ目的カ金錢ニ非サルトキハ其ノ價額ハ定時ノ給付ノ價額トシテ之ヲ看做スル材料限

第十條 當事者ノ一方ノ給付ノミカ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ給付ノ相手方ノ給付ト同ノ價額ヲ有スルモノヲ看做スル  
 第十一條 果實ノ損害賠償及費用方法律行為ノ附帶ノ目的ナルトキハ其ノ價額ハ之ヲ法律行為ノ目的ノ價額ニ算入セズ

第十二條 法律行為ノ目的ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ目的ハ五百圓ノ價額ヲ有スルモノヲ看做ス但シ其ノ最低價額五百圓ニ超ユル又ハ其ノ最高價額之ニ滿テサルコト明カナルトキハ其ノ最低價額又ハ最高價額ヲ以テ法律行為ノ目的ノ價額トス

第十三條 左三項ノ事項ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ第二條ノ區別ニ從ヒ其ノ十分ノ五ノ割合ヲ以テ手数料ヲ受ク  
 一 承認ノ許可及同意  
 二 當事者雙方ノ履行ヲシテ契約ノ解除  
 三 遺言ノ全部又ハ一部ノ取消

第十四條 同一公證人役勤ニ於テ證書ヲ作成セザル法律行為ノ補充又ハ更正ノ證書ヲ作成スル場合ニ於テハ法律行為ニ付テノ證書作成ノ手数料ハ證書ノ紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ三十錢ヲ加フ  
 第十五條 前項ノ紙數ハ一行二十字詰二十四行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿テサルトキト雖之ヲ一枚トス  
 外其ノ事實ヲ實驗及證書ノ作成ニ要シタル時間ニ付圓トス但シ一時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ五十錢ヲ加フ

前項ノ時間ハ一時間ニ滿タサルトキト雖之チ一時間トス

第十六條 株主總會其ノ他ノ集會ノ決議ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ前條ノ例ニ依リ手数料ヲ受ク

第十七條 法律行為ト共ニ之ト牽連スル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手数料ハ第十五條ノ例ニ依ル但シ其ノ額ヲ法律行為ノミニ付テノ證書作成ノ手数料ノ額ヨリ少キトキハ其ノ多キ額ニ依ル

第十八條 數個ノ牽連セサル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ手数料ノ額ハ各事實ニ付之ヲ算定ス

第十九條 祕密證書ニ依ル遺言書ノ方式ニ關スル記載ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ手数料ハ一圓トス

第二十條 委任狀、受取書又ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ニ於テハ其ノ手数料ハ五十錢トス

第二十一條 第一項但書及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 認證ノ手数料ハ證書作成ノ手数料ノ五分トス

第二十三條 私署證書ニ確定日附ヲ付スル場合ニ於テハ其ノ手数料ハ三十錢トス

第二十四條 證書ノ正本ニ執行文ヲ付與スル場合ニ於テハ其ノ手数料ハ五十錢トス

第二十五條 證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交付ヲ付テハ手数料ハ一枚ニ付十五錢トス但シ公證人法第五十五條第一項ノ場合ニ於テハ一枚ニ付十錢トス

第二十六條 證書ノ原本及其ノ附屬書類ノ閱覽ニ付テノ手数料ハ一回ニ付十錢トス

第二十七條 手數料ノ定メキ事項ニ付テハ最類似スル事項ト同一ノ手数料ヲ受ク

第二十七條 公證人夜間ニ於テ又ハ病床ニ就キ職務ヲ執行シタルトキハ其ノ手数料ハ各本條ニ定ムル額ニ其ノ十分ノ三ヲ加フ

第二十八條 公證人職務ノ執行ニ著手シタル後囑託人ノ請求ニ因リ之ヲ止メタルトキ又ハ囑託人若ハ列席者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ之ヲ宗結スルコト能ハサルハ第十五條ノ例ニ依リ手数料ヲ受ク但シ其ノ手数料ハ完結シタル場合ニ於テ受クヘキ手数料ノ額ニ超過スルコトヲ得ス

第二十九條 公證人其ノ職務ヲ執行スル爲出張シタルトキハ左ノ日當及旅費ヲ受ク但シ日當ヲ受クタルハ一里以外ノ地ニ至リタルトキ、宿泊料ヲ受クルハ宿泊ヲ要シタルトキニ限ル

日當 一日ニ付 三圓但シ四時間以内ハ二圓

汽車賃 一哩迄毎二 五錢

船賃 一海里迄毎二 五錢

車馬賃 一里迄毎二 三十錢

三宿泊料 一泊ニ付 三圓

第三十條 公證人ハ手数料、日當及旅費ノ額ヲ減スルコトヲ得

第三十一條 數人ノ囑託人アル場合ニ於テハ公證人ノ受取ヘキ手数料、日當及旅費ハ各囑託人連帶シテ之ヲ支拂フヘキ責任ヲ任ス

第三十二條 公證人ハ公正ノ效力ヲ有セサル文書ヲ作成ニ付手数料、日當及旅費ヲ受クルコトヲ得ス但シ其ノ文書ヲ作成ニ付公證人ニ過失ナカシムトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條 公證人ノ囑託セラレタル事項ニ付其ノ職務ヲ完結シタル後ニ非サレハ手数料、日當

及旅費支拂ヲ請求スルコトヲ得ス  
 第三十四條 囑託入市區町村長シテ證明書ヲ以テ支拂ノ資力ナキコトヲ證明シタルトキハ公證人ハ手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ假ニ免除スルコトヲ得  
 第三十五條 公證人ハ囑託人ヲシテ手數料、日當及旅費ノ概算額ヲ豫納セシムルコトヲ得  
 囑託人ハ豫納ニ代テ前項ノ概算額ヲ供託スルコトヲ得  
 囑託人概算額ノ豫納又ハ供託ヲ爲ササルトキハ公證人ハ其ノ屬託ヲ拒ムコトヲ得  
 第三十六條 公證人手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ請求スルトキハ計算書ヲ交付スルコトヲ要ス  
 計算書ニハ各項目ニ付本令ノ條項ヲ指示シ其ノ計算ヲ明ニスヘシ

### 公證人懲戒委員會規則

(明治四十二年六月勅令第百七十五號)

朕公證人懲戒委員會規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 公證人懲戒委員會規則  
 第一條 懲戒委員會ハ委員長一人委員四人ヲ以テ之ヲ組織ス  
 第二條 委員長ハ控訴院長ヲ以テ之ニ充ツ  
 委員ハ當該控訴院ノ所在地ニ在職スル判事檢事ノ中ヨリ司法大臣之ヲ命ス  
 委員會ニ豫備委員四人ヲ置キ前項ノ例ニ依リ之ヲ命ス  
 第三條 委員會ハ委員長及委員ノ全員出席スルニ非サルハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四條 委員長事故アルトキハ上席ノ委員之ヲ代理ス  
 前項ノ場合又ハ委員中事故アルトキ若ハ委員アルトキハ委員長豫備委員ノ中ヨリ代理ヲ命ス  
 第五條 委員長及委員ハ自己又ハ其ノ親族ニ關スル事件ノ會議ニ參與スルコトヲ得ス  
 第六條 委員會ノ議事ハ多數ニ依リ之ヲ決ス  
 第七條 委員會ニ書記二人ヲ置ク  
 第八條 書記ハ當該控訴院ノ裁判所書記ノ中ヨリ委員長之ヲ命ス  
 第九條 書記ハ委員長ノ命ヲ承テ庶務ニ從事ス  
 第十條 司法大臣ハ公證人ニシテ懲戒ニ當ルヘキ所爲アリト思料スルトキハ證據ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審査ヲ要求スヘシ  
 第十一條 前條ノ要求アリタルトキハ委員長ハ期日ヲ定メテ委員會ヲ召集スヘシ  
 委員會ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ本人ノ出席ヲ命スルコトヲ得  
 第十二條 委員會ニ於テ議決ヲ爲シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ司法大臣ニ覆申スヘシ  
 第十三條 司法大臣ハ公證人ニシテ公證人法第十五條第一項第三號ニ該當スルモノト思料スルトキハ證據ヲ具ヘ書面ヲ以テ委員會ノ審査ヲ要求スヘシ  
 前二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
 第十四條 委員會ノ審査手續ハ委員會之ヲ定ムル規則ニ依リテ之ヲ行フ

### 附則

本令ハ公證人法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二節 臺灣ニ於ケル特則

公證規則

(明治三十六年十二月律令第十二號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル公證規則勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

公證規則

第一條 民事ニ關スル公正證書ノ作成ハ當事者ノ申請ニ依リ地方法院及其ノ出張所ノ判官之ヲ取

第二條 本令ニ依リ作成シタル公正證書ハ完全ノ證據ニシテ且民事訴訟法第五百五十九條第五號

但書ノ作成要件ヲ具備シタルモノハ同號債務名義ト同一ノ規定ニ從ヒ強制執行ヲ爲スコトヲ得

但シ偽造ノ公訴起リタルトキハ其ノ執行ヲ停止スヘシ民事ノ訴訟ニ關シ偽造ノ申立アリタルト

キハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第三條 公證官吏ノ作成證書ニ關シテハ公證人法第四章證書ノ作成ニ關スル規定ニ準據ス同章中

裁判所長ノ職務ハ覆審法院長、市區町村長ノ職務ハ廳長、街庄長之ヲ行フ(明治四十一年八月

律令第十三號ヲ以テ本條ヲ改ム)

第四條 公正證書作成費用及作成ノ爲出張セル公證官吏ノ旅費日當ハ申請人ノ負擔トス其ノ數額

ハ臺灣總督之ヲ定ム

第五條 公證官吏ノ職務執行ニ關シ不服スル者ハ覆審法院ニ抗告スルコトヲ得

第六條 公證官吏其ノ職務執行ニ付申請人又ハ其ノ他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其ノ損害カ公

公證規則施行細則

(明治三十七年二月臺灣總督府令第六號)

公證規則施行細則左ノ通相定ム

公證規則施行細則

第一條 公證官吏ハ公證官吏臺灣總督府法院判官ト刻シタル方七分ハ職印ヲ用キ法院書記代用執

務ノ場合ニ於テハ公證官吏代理臺灣總督府法院書記ト刻シタル方六分ハ職印ヲ用ウヘシ

第二條 公證官吏ノ作成シタル公正證書ニハ其ノ所屬法院又ハ出張所ノ印ヲ用ウヘシ若シ之ヲ用キ

ルコト能ハサル場合ニ於テハ事ノ事由ヲ記載ス可シ

第三條 關係人自署スルコト能ハサルトキハ公證官吏之ヲ代書シ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第四條 公證官吏公正證書ニ署名スル場合ハ左ノ例ニ依リ

一 公證官吏臺灣總督府法院判官某

證官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責任ス

第七條 公證官吏差支アルトキハ法院書記ヲシテ代理執務セシムルコトヲ得

第八條 明治三十一年律令第八號第一條ニ依リ依據スヘキ法律中公證人ノ職務ニ屬セシメタルモ

ノハ公證官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

本令ノ施行期日ハ臺灣總督之ヲ定ム(此施行期日ハ明治三十七年二月臺灣總督府令第五號ヲ以テ

明治三十七年二月十日ト指定シタリ)

一 公證官吏代理臺灣總督法院書記某

第五條 公證官吏ハ立會人又ハ立會官吏ナクシテ公正證書ヲ作成スルコトヲ得若立會人ヲ要スルトキハ公證費用規則第二條及第三條ノ規定ニ依ル

第六條 公證官吏ハ法院ノ命令ニ依ルハ外關係外ノ者ニ書類ノ謄本ヲ付與スヘカラス

第七條 公正證書ノ原本其ノ他書類ノ本書ハ事變ヲ避クル爲ニスル場合及法院若ハ出張所又ハ豫審判官ノ命令又ハ囑託アルニアラザレハ他ニ持出スコトヲ得ス

第八條 當事者ハ公正證書ノ土語譯文ノ付與ヲ請求スルコトヲ得此ハ場合ニ於テハ民事訴訟費用規則第三條ノ翻譯料ヲ納ムヘシ

第九條 公證規則第二條ニ依リ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テハ公正證書ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要セス

債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ハ其ノ執行前公正證書ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

第十條 公證規則第二條但書公訴ノ提起アリタル場合ニ於テハ其ノ公訴ノ起リタルコトヲ證スル書類ヲ提出スヘシ此ノ書類ハ民事訴訟法第五百五十條第二號ノ書類ト看做ス

民事訴訟ニ關シ偽造ノ申立アリタル場合ニ於ケル強制執行ノ停止ニ關シテハ民事訴訟法第五百條ヲ準用ス

第十一條 公證官廳ニハ證書原簿ノ外受附簿ヲ備フ(明治四十二年八月臺灣總督府令第五十八號ヲ以テ本條、次條並ニ別記ヲ追加シ同年八月十六日ヨリ施行ス)

第十二條 證書原簿ハ別記第一號様式ニ依リ受附簿ハ別記第二號様式ニ依リ地方法院ニ於テ調製

シ證書原簿ハ覆審法院長ノ契印ヲ請ヒ各公證官廳ニ交付スヘシ(別記ハ之ヲ略ス)

公證費用規則 (明治四十二年八月臺灣總督府令第五十八號)

公證費用規則左ノ通相定ム

公證費用規則

第一條 公證規則ニ依リ公正證書ノ作成ヲ申請スル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 法律行為ノ目的ノ價格百圓マテ

一圓五十錢

一 同二百五十圓マテ

二圓

一 同五百圓マテ

三圓

一 同千圓マテ

五圓

一 同五千圓以上ヲ超過スルトキハ五千圓毎ニ一圓ヲ加フ但シ五千圓ニ滿タサルモ之ヲ五千圓トス

前項ノ價格算定ニ付テハ明治四十二年勅令第七十四號公證人手數料規則第三條乃至第十二條ノ規定ニ依ル

第三條 左ニ掲クル事項ニ付證書ノ作成ヲ申請スル者ハ前條ノ區別ニ從ヒ其ノ十分ノ五ノ割合ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ

一 承認許可及同意

二 當事者雙方ノ履行セサル契約ノ解除

三 遺言ノ全部又ハ一部ノ取消

四 同一ノ公證官廳ニ於テ證書ニ作成セラレタル法律行為ノ補充又ハ更正  
第三條 法律行為ニ付テノ證書作成ノ手数料ハ證書ノ紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ二十錢ヲ加フ

第四條 法律行為ニ非サル事實ニ付テノ證書作成ノ手数料ハ證書ノ原本一枚ニ付五十錢トス

第五條 祕密證書ニ依ル遺言書ノ方式ニ關スル記載ヲ爲ス場合及委任狀受取書又ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ノ手数料ハ原本一枚ニ付五十錢トス

第六條 法律行為ト共ニ之ト牽連スル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手数料ハ前條ノ例ニ依ル但シ其ノ額ハ法律行為ノミニ付テノ證書作成ノ手数料ノ額ヨリ少ナキトキハ其ノ多キ額ニ依ル數箇ノ牽連セサル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ手数料ノ額ハ各事實ニ付之ヲ算定ス

第七條 證書ノ正本ニ執行文付與申請ノ手数料ハ五十錢トス

第八條 證書ノ交付又ハ證書ノ閱覽ヲ請求スル者ハ左ノ區別ニ隨ヒ手数料ヲ納ムヘシ  
一 正本謄本若ハ付屬書類ノ交付 一枚ニ付二十五錢  
二 原本若ハ付屬書類ノ閱覽 一回ニ付十五錢

第九條 手数料ノ定メナキ事項ニ付テハ最類似スル事項ト同一ノ手数料トス

第十條 證書ノ紙數ヲ以テ手数料ヲ納付スル場合ニ於テハ其ノ紙數ハ一行二十字詰二十行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿タサルトキト雖モ一枚トシテ計算ス

第十一條 公證官廳所在地ヨリ一里以外ノ地ニ到リ事務ヲ取扱フ場合ニ於テハ出張手数料トシテ左ノ費用ヲ納ムヘシ

- 日當一日ニ付 七十錢
- 宿泊料一泊ニ付 一圓六十錢
- 汽車賃一哩ニ付 十錢
- 船賃一哩ニ付 十錢
- 車馬賃一里ニ付 四十錢

附則

本令ハ明治四十一年律令第十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十六年(十二月)府令第八十三號公證費用規則ハ之ヲ廢止ス

### 公證規則ニ依リ公證官吏ノ職務執行ニ關スル抗告手續

(明治三十六年十二月臺灣總督府令第八十四號)

公證規則ニ依リ公證官吏ノ職務執行ニ關スル抗告手續左リ通相定ム其ノ其ノ公證ニ關シテ公證官吏ノ職務執行ニ關スル抗告手續

第一條 公證官吏ノ職務執行ニ關シテ抗告ヲ爲ス者ハ其ノ公證官吏ニ抗告狀ヲ差出スヘシ但シ急速ニ要スル場合ニ於テハ直ニ覆審法院ニ抗告狀ヲ差出スコトヲ得  
第二條 公證官吏抗告狀ヲ受取リタル時ハ附シ三日以内ニ覆審法院ニ差出スルシメ及關前條但シ書ノ場合ニ於テハ覆審法院ハ抗告ヲ受ケタル公證官吏ヲシテ意見書ヲ差出サシメ及關

係書類ノ送付ヲ求ムルコトヲ得  
 第三條 公證官吏ハ其ノ職務執行ニ關シ抗告ヲ受ケタルコトキハ直ニ其ノ事件ノ處分ヲ停止スヘシ  
 第四條 覆審法院ハ書面ニ依リ抗告ノ決定ヲ爲スヘシ但シ必要ナリト認ムルトキハ抗告人其ノ他  
 關係人ヲシテ答辯ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第五條 覆審法院ハ抗告ノ決定書ヲ抗告ヲ受ケタル公證官吏及抗告人ニ送致スヘシ  
 第六條 覆審法院ニ於テ抗告ヲ正當ナリト決定シタルトキハ公證官吏ハ其ノ決定ニ依リ處分ヲ更  
 正スヘシ

附則

本令ハ公證規則施行ノ日ヨリ施行ス

第十四條 公證官領受書面ニ依リ提出スル抗告ノ書面ハ其ノ事件ノ處分ヲ停止スヘシ  
 第十五條 公證官ハ其ノ職務執行ニ關シ抗告ヲ受ケタルコトキハ直ニ其ノ事件ノ處分ヲ停止スヘシ  
 第十六條 覆審法院ハ書面ニ依リ抗告ノ決定ヲ爲スヘシ但シ必要ナリト認ムルトキハ抗告人其ノ他  
 關係人ヲシテ答辯ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第十七條 覆審法院ハ抗告ノ決定書ヲ抗告ヲ受ケタル公證官吏及抗告人ニ送致スヘシ  
 第十八條 覆審法院ニ於テ抗告ヲ正當ナリト決定シタルトキハ公證官吏ハ其ノ決定ニ依リ處分ヲ更  
 正スヘシ

商法

目 次

第一編 商法及商法施行法

|             |    |
|-------------|----|
| 商法          | 四〇 |
| 第一編(總則)     | 四〇 |
| 第一章 商法例     | 四〇 |
| 第二章 商人      | 四二 |
| 第三章 商業登記    | 四三 |
| 第四章 商號      | 四三 |
| 第五章 商業帳簿    | 四四 |
| 第六章 商業使用人   | 四五 |
| 第七章 代理商     | 四六 |
| 第二編 會社      | 四七 |
| 第一章 總則      | 四七 |
| 第三章 合名會社    | 四七 |
| 第一節 設立      | 四七 |
| 第二節 會社之內部關係 | 四九 |
| 第三節 會社之外部關係 | 五〇 |



第四節 社員之退社.....二二〇

第五節 解散.....二二〇

第六節 清算.....二二〇

第三章 合資會社.....二二〇

第四章 株式會社.....二二〇

第一節 設立.....二二〇

第二節 株式.....二二〇

第三節 會社之機關.....二二〇

第一款 株主總會.....二二〇

第二款 取締役.....二二〇

第三款 監查役.....二二〇

第四節 會社之計算.....二二〇

第五節 社債.....二二〇

第六節 定款之變更.....二二〇

第七節 解散.....二二〇

第八節 清算.....二二〇

第五章 株式合資會社.....二二〇

第六章 外國會社.....二二〇

第七章 罰則.....二二〇

第三編 商行為.....四六

第一章 總則.....四六

第二章 買賣.....四六

第三章 交互計算.....四六

第四章 匿名組合.....四六

第五章 仲立營業.....四六

第六章 明屋營業.....四六

第七章 運送取扱營業.....四六

第八章 運送營業.....四六

第一節 物品運送.....四六

第二節 旅客.....四六

第九章 寄託.....四六

第一節 總則.....四六

第二節 倉庫營業.....四六

第十章 保險.....四六

第一節 損害保險.....四六

第一款 總則.....四六

第二款 火災保險.....四六

第三款 運送保險.....四六

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第二章 生命保險        | 七三 |
| 第四編 手形          | 七五 |
| 第一章 總則          | 七五 |
| 第二章 爲替手形        | 七六 |
| 第一節 振出          | 七六 |
| 第二節 裏書          | 七八 |
| 第三節 引受          | 七九 |
| 第四節 擔保ノ請求       | 八一 |
| 第五節 支拂          | 八二 |
| 第六節 償還ノ請求       | 八三 |
| 第七節 保證          | 八六 |
| 第八節 參加          | 八六 |
| 第一款 參加引受        | 八六 |
| 第二款 參加支拂        | 八七 |
| 第九節 拒絕證書        | 八八 |
| 第十節 爲替手形ノ複本及ヒ賒本 | 八九 |
| 第三章 約束手形        | 九〇 |
| 第四章 小切手         | 九〇 |
| 第五編 海商          | 九二 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第一章 船頭及ヒ船舶所有者   | 九三 |
| 第二章 船員          | 九七 |
| 第一節 船長          | 九七 |
| 第二節 海員          | 〇〇 |
| 第三章 運送          | 〇〇 |
| 第一節 物品運送        | 〇三 |
| 第一款 總則          | 〇三 |
| 第二款 船荷證券        | 〇九 |
| 第二節 旅客運送        | 一一 |
| 第四章 海員          | 一一 |
| 第五章 保險          | 一四 |
| 第六章 船舶債權者       | 一八 |
| 商法施行法           | 二二 |
| 商法施行條例          | 三九 |
| 第二編 商法ニ關スル法規    | 四六 |
| 商法中署名スヘキ場合ニ關スル件 | 四四 |
| 小商人ノ範圍ニ關スル件     | 四四 |

韓國商號令 ..... 一四五

商法施行法第二百二十三條ニ依ル湖川港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件 ..... 一四五

私設鐵道株式會社ニ關スル件 ..... 一四六

外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル件 ..... 一四六

同上 ..... 一四六

明治二十六年農商省令第十一號廢止ノ件 ..... 一四七

商法ノ規定ニ依リ拒絕證書ノ作成請求ニ關スル手数料ノ件 ..... 一四八

商法第五百六十二條ニ依ル書類ノ件 ..... 一四九

第三編 破産法

破産法 ..... 一五〇

第一章 破産宣告 ..... 一五〇

第二章 破産ノ效力 ..... 一五二

第三章 別除權 ..... 一五二

第四章 保全處分 ..... 一五四

第五章 財團ノ管理及換價 ..... 一五六

第六章 債權者 ..... 一五九

第一節 債權ノ届出及ヒ確定 ..... 一五九

第二節 特種ノ債權者 ..... 一六一

債權者集會 ..... 一六三

第七章 協賛契約 ..... 一六三

第八章 配當 ..... 一六三

第九章 有罪破産 ..... 一六四

第十章 破産ノ生スル身上ノ結果 ..... 一六五

第十一章 支拂猶豫 ..... 一六六

商法ニ從ヒ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ニ關スル件 ..... 一六九

第四編 商事非訟事件印紙法 ..... 一七〇

商事非訟事件印紙法(法律) ..... 一七〇

商事非訟事件印紙規則(律令) ..... 一七〇

第五編 商業登記 ..... 一七六

第一章 商業登記 ..... 一七六

商業登記取扱手續 ..... 一七六

第二章 相互保險會社登記 ..... 一八三

相互保險會社登記取扱手續 ..... 一八三

相互保險會社登記事務取扱所……………二八七

外國相互保險會社登記簿謄本又ハ抄本ノ請求ニ關スル手数料ノ件……………一八七

外國相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手数料ノ件……………二八八

相互保險會社登記ニ關スル取扱手續ハ明治三十三年司法省令第十八號ニ依ルノ件……………一八八

第三章 船舶登記

船舶登記規則……………二八八

第一章 總則……………二八九

第二章 登記所……………一八九

第三章 登記簿……………一八九

第四章 登記手續……………二九〇

第一節 通則……………一九〇

第二節 所有權ニ關スル登記手續……………二九一

第三節 抵當權及賃借權ニ關スル登記手續……………二九六

第五節 附則……………二九六

第八節 附則……………二九六

船舶登記取扱手續……………二〇〇

船舶港務取締ノ登記所ノ管轄地ニ跨ル時船舶登記ノ事務ヲ取扱フ登記所……………二〇五

船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求ニ關スル手数料……………二〇五

船舶ノ登記ニ關スル件……………二〇六

船舶ノ登記ニ關スル取扱手續……………二〇七

船舶登記簿ノ謄本抄本ノ交付、船舶登記簿ノ閱覽等ニ關スル手数料ノ件……………二〇七



第三條 當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ノ規定ヲ雙方ニ適用ス

第二章 商人

第四條 本法ニ於テ商人トシテ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スル者ヲ謂フ

第五條 未成年者又ハ妻カ商業ヲ營ムトキハ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條 會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ其會社ノ業務ニ關シテハ之ヲ能力者ト看做ス

第七條 後見人カ被後見人ノ爲メニ商業ヲ營ムトキハ登記ヲ爲スコトヲ要ス

後見人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八條 戸々ニ就キ又ハ道路ニ於テ物ヲ賣買スル者其他外商人ニハ商業登記、商號及ヒ商業帳簿

關スル規定ヲ適用セス

第三章 商業登記

第九條 本法ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ハ當事者ノ請求ニ因リ其營業所ノ裁判所ニ備ヘタル商

業登記簿ニ之ヲ登記ス

第十條 本店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ハ本法ニ別段ノ定ナキトキハ支店ノ所在地ニ於テモ亦之ヲ登記スルコトヲ要ス

第十一條 登記タル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十二條 登記スヘキ事項ハ登記及ヒ公告ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十三條 支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ハ登記ヲ行ハシトキハ前條ノ規定ハ其支店ニ於テ

適用スル取引ニ付テハ之ヲ適用ス

第十四條 登記ノ其公告ハ既ニ行ハレタルニシテ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第十五條 登記タル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ遲滞ナク變更又

ハ消滅ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條 商人ノ其姓名、氏名其他ノ名稱ヲ以テ商號ト爲スコトヲ得

第十七條 會社ノ商號中ニ其種類ニ從ヒ合名會社、合資會社、株式會社又ハ株式合資會社ナル文

字ヲ用ユルコトヲ要ス

第十八條 會社ニ非スル商人號中ニ會社タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユルコトヲ得ス

第十九條 前項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二十條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ハ不正ノ競争ノ目的ヲ以テ同一ノ營業ノ爲メニ之ヲ登記スルコトヲ得

第二十一條 同一ノ營業ノ爲メニ他人ノ登記シタル商號ヲ使用スル者ハ不正ノ競争ノ目的

ヲ以テ之ヲ使用スルコトヲ推定ス

第二十二條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十三條 商號ノ讓渡シタル場合ニ於テ當事者カ別段ノ意思ヲ表示セザリシトキハ

第二十四條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十五條 商號ノ讓渡シタル場合ニ於テ當事者カ別段ノ意思ヲ表示セザリシトキハ

第二十六條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十七條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十八條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十九條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十一條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十二條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十三條 商號ノ讓渡ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

讓渡人ハ同市町村内ニ於テ二十年間同一ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス  
讓渡人カ同一ノ營業ヲ爲サル特約ヲ爲シタルトキハ其特約ハ同府縣内且三十年ヲ超エサル範  
圍内ニ於テハ其効力ヲ有ス

讓渡人ハ前二項ノ規定ニ拘ラス不正ノ競争ノ目的ヲ以テ同一ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 前條ノ規定ハ營業ノミヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 商號ノ登記ヲ爲シタル者カ其商號ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更シタル場合ニ於テ其廢止又  
ハ變更ノ登記ヲ爲サルトキハ利害關係人ハ其登記ノ抹消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之  
ヲ申立テヘキ旨ヲ催告シ若シ其期間内ニ異議ヲ申立ナキトキハ直チニ其登記ヲ抹消スルコトヲ

要ス

第二十八條 第五章 商業帳簿  
第二十五條 商人ハ帳簿ヲ備ヘ之ニ日々ノ取引其他財産ニ影響ヲ及ボスヘキ一切ノ事項ヲ整然且  
明瞭ニ記載スルコトヲ要ス但家事費用ハ之ノ外毎ニ其總額ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十六條 取引ノ現金賣上掛賣トナリ分日ノ賣上總額ヲ記載スルコトヲ得

第二十七條 動産ノ不動産、債權、債務其他ノ財産ノ總目録及ヒ貸方借方ノ對照表ハ商人ノ開業ノ  
時又ハ會社ノ設立登記ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第二十八條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第二十九條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十一條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十二條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十三條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十四條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十五條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十六條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十七條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十八條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十九條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十一條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十二條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十三條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十四條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十五條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第二十八條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第二十九條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十一條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十二條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十三條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十四條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十五條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十六條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十七條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十八條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第三十九條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

第四十一條 商人ハ其帳簿ノ簿目録及ヒ其總額ノ簿目録ハ其開業ノ時及ヒ毎年一回一定ノ時期ニ於テ之ヲ作り特ニ設ケタル帳簿ニ之ヲ記

載スルコトヲ要ス

番頭又ハ手代ハ其委任ヲ受ケタル事項ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十四條 支配人、番頭又ハ手代ニ非サル使用人ハ主人ニ代リテ法律行爲ヲ爲ス權限ヲ有セ

ルモ本條ニ規定スル事項ニ關シテハ之ニ依リテ

第三十五條 本章ノ規定ハ主人ノ商業使用人トノ間ニ生スル雇傭關係ニ付キ民法ノ規定ヲ適用ス

ルコトヲ妨グスルモノナラズ

第三十六條 代理商ハ代理人トシテ自己ノ商號ニ對シテ代理人トシテ主人ノ爲メニ平常其營業ノ部類ニ屬スル商行為

ヲ代理又ハ媒介ヲ爲ス者ヲ謂フ

第三十七條 代理商カ商行為ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其通知ヲ發

スルコトヲ要ス

第三十八條 代理商ハ本人ノ許諾アルニ非サルニ自己又ハ第三者ノ爲メニ本條ノ營業ノ部類ニ屬

スル商行為ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第三十二條 第二項及ヒ第三項ノ規定ハ代理商カ前項ノ規定ニ違反シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 物品販賣又委託ヲ受ケタル代理商ハ買取目的物ノ瑕疵又ハ其數量ノ不足其他買取

業ノ履行ニ關スル通知ヲ受ケル權限ヲ有ス

第四十條 當事者カ契約ノ期間ヲ定メザリシトキハ各當事者ハ二个月前ニ豫告ヲ爲シテ其契約ノ

解除ヲ爲スコトヲ得

當事者カ契約ノ期間ヲ定メザルトキハ其間ハ已ニ終ラレタルコトヲ得サレドモ其間ハ各當事者ハ何

時ニテ其契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 代理商カ商行為ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルニ因リテ生シタル債權ニ付キ本人ノ爲メニ占有スル物ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二章 會社

第四十條 本法ニ於テ會社トシテ商行為ヲ爲スヲ業トシテ設立シタル社團ヲ謂フ

第四十三條 會社ハ合資會社、株式會社及ヒ株式合資會社ノ四種トス

第四十四條 會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗ス

ルコトヲ得

第四十五條 會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗ス

ルコトヲ得

第四十六條 會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ着手スルコトヲ得

第四十七條 會社カ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後六个月内ニ開業ヲ爲ササルトキハ裁判

所ハ檢事ヲ請求シ因リテ檢事ノ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得但正當ノ事由アルトキハ其會社

ヲ請求ニ因リ此期間ヲ伸長スルコトヲ得

第四十八條 會社カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求

ニ因リ以テ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得

第二節 合名會社

第四十九條 合名會社ハ二人以上ノ資本家ノ共同ノ事業ヲ爲スルことを目的トシテ設立シタル

社團ヲ謂フ

第五十條 合名會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗ス

ルコトヲ得

第五十一條 合名會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ着手スルコトヲ得

第五十二條 合名會社カ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後六个月内ニ開業ヲ爲ササルトキハ裁判

所ハ檢事ヲ請求シ因リテ檢事ノ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得但正當ノ事由アルトキハ其會社

ヲ請求ニ因リ此期間ヲ伸長スルコトヲ得

第五十三條 合名會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ着手スルコトヲ得

第五十四條 合名會社カ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後六个月内ニ開業ヲ爲ササルトキハ裁判

所ハ檢事ヲ請求シ因リテ檢事ノ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得但正當ノ事由アルトキハ其會社

ヲ請求ニ因リ此期間ヲ伸長スルコトヲ得



第四十九條 合資會社ヲ設立スルニハ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第五十條 合資會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之ニ署名スルコトヲ要ス

一 目的

二 商號

三 社員ノ氏名

四 本店及支店ノ所在地

第五十一條 會社ノ定款ヲ作リタル日ヨリ二週間内ニ其本店及支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ

登記スルコトヲ要ス

一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 本店及支店ノ設立ニ關スル事項

三 解散立年月日

四 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由

第五十二條 出資ノ種類及出資ノ目的

第六十條 會社ノ代表スル社員ヲ定メタルトキハ其姓名

會社設立ノ後支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前項ニ定メタル登記ヲ

爲シ本店及支店ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其本店ヲ設ケタルコトヲ登記スルコトヲ要ス

本店又ハ支店ノ所在地ニ於テ登記スル所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店

ノ登記

第五十二條 會社ヲ設立スル所ノ管轄區域

第五十三條 會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的

二 商號

三 社員ノ氏名

四 本店及支店ノ所在地

第五十四條 會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 本店及支店ノ設立ニ關スル事項

三 解散立年月日

四 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由

第五十五條 出資ノ種類及出資ノ目的

第六十條 會社ノ代表スル社員ヲ定メタルトキハ其姓名

會社設立ノ後支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前項ニ定メタル登記ヲ

爲シ本店及支店ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其本店ヲ設ケタルコトヲ登記スルコトヲ要ス

本店又ハ支店ノ所在地ニ於テ登記スル所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店

ノ登記

第五十九條 社員ノ承継

第六十條 會社ノ代表

第五十二條 會社ヲ設立スル所ノ管轄區域

第五十三條 會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的

二 商號

三 社員ノ氏名

四 本店及支店ノ所在地

第五十四條 會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 本店及支店ノ設立ニ關スル事項

三 解散立年月日

四 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由

第五十五條 出資ノ種類及出資ノ目的

第六十條 會社ノ代表スル社員ヲ定メタルトキハ其姓名

會社設立ノ後支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前項ニ定メタル登記ヲ

爲シ本店及支店ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其本店ヲ設ケタルコトヲ登記スルコトヲ要ス

本店又ハ支店ノ所在地ニ於テ登記スル所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店

ノ登記

第五十九條 社員ノ承継

第六十條 會社ノ代表

其讓渡ノ之ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ス  
 第六十條 社員ハ他ノ社員ノ承諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トシテ他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス  
 社債ノ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ他ノ社員ハ過半数ノ決議ニ依リテ之ヲ以テ會社ノ爲メニ爲シタルコトヲ看做スルコトヲ得ス  
 前項ニ定メタル權利ヲ他ノ社員ノ爲メニ爲シタルコトヲ知リタル時自ラニ二週間之ヲ行ハシテ消滅スル行爲ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三節 會社ノ外部ノ關係  
 第六十一條 定款又ハ總社債ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スル社員ヲ定メザルトキ各社員會社ヲ代表ス

第六十二條 會社ヲ代表スル社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判止又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スル權限ヲ有ス

民法第四十四條第一項及七第五十四條ノ規定ハ合名會社ニ之ヲ準用ス

第六十三條 會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各社員連帶シテ其辨濟ノ責ニ任ス

第六十四條 設立後會社ニ加入シタル社員ハ其加入前ニ生ジタル會社ノ債務ニ付テ亦責任ヲ負フ

第六十五條 社員ニ非ザル者自己ヲ社員トシテ信セシムル行爲ヲ爲スルコトハ故意ニ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第六十六條 社員ノ出資ノ減少ハ之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス但本店ノ所在地ニ於テ其登記所爲シタル後二年間債權者方之ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ此限ニ在ラス

第六十七條 會社ノ損失ヲ填補シタル後ニ非カレバ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス  
 前項ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタル時ハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第四節 社員ノ退社

第六十八條 定款ヲ以テ會社ノ存立時期ヲ定メザリシトキ又ハ或社員ノ終身間會社ノ存續スヘキコトヲ定メタルトキハ各社員ハ營業年度ノ終ニ於テ退社ヲ爲スコトヲ得但六个月前ニ其豫告ヲ爲スルコトヲ要ス

會社ノ存立時期ヲ定メタルトキ否トカ問ハス已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ何時ニテ退社ヲ爲スコトヲ得

第六十九條 前條ニ掲ガレル場合ノ外社員ハ左ノ事由ニ因リテ退社ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總社員ノ同意

三 死亡

四 破産

五 禁治產

六 除名

第七十條 社員ノ除名ハ左ノ場合ニ限リ他ノ社員ノ一致ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得但除名シタル社員ハ其旨ヲ通知スルニ非ザレハ之ヲ以テ其社員ニ對抗スルコトヲ得ス

一 社員が出資を爲すに能ハズ或ハ其能ハズ其後相當ノ期間内ニ出資ヲ爲ササル  
 二 社員が第六十條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ  
 三 社員が會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルニ當タリ會社ニ對シテ不正ノ行爲ヲ爲シタ  
 四ルヲキ  
 四 社員が會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有セサル場合ニ於テ其業務ノ執行ニ干與シタルトキ  
 五 其他社員別重要ナル義務ヲ盡ササルトキ

第七十三條 退社員ノ勞務又兼信用ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタルトキト雖モ其持分ノ拂戻ヲ受ク  
 第七十四條 會社ノ商號中ニ退社員ノ氏又ハ氏名ヲ用キタルトキハ退社員ハ其氏又ハ氏名ノ使用  
 禁止スルヲ請求スルコトヲ得ルハ其氏名ハ其氏名ヲ用キタルトキハ退社員ハ其氏又ハ氏名ノ使用  
 第七十五條 退社員ハ本店ノ所在地ニ於テ退社ノ登記ヲ爲ス前ニ生シタル會社ノ債務ニ付キ責任  
 ヲ負フ此責任ハ其登記後三年ヲ經過シタルヲ以テ消滅スルモ其後六個月間ニ其責任  
 前項ノ規定ニ他ノ社員ノ承諾ヲ得テ持分ヲ讓渡シタル社員ニ之ヲ準用スル間會社ノ債務ハ其

第五節 解散

第七十四條 會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散スルハ會社ノ債務ハ其清算ノ時ニ於テ之ヲ  
 第七十五條 存立時期ヲ滿テ其他定款ニ定メタル事由ニ發生源ノ賠償責任ハ其清算ノ時ニ於テ之ヲ  
 第七十六條 會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能ヲ異議アリキハ其清算ノ時ニ於テ之ヲ  
 第七十七條 總社員ノ同意ヲ得テ解散スルハ其清算ノ時ニ於テ之ヲ

第七十四條 會社ノ合併ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スルコトヲ得

第七十五條 會社ノ合併ハ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對

第七十六條 會社ハ解散シタル時ニ於テ其清算ノ時ニ於テ之ヲ  
 第七十七條 會社ハ合併ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スルコトヲ得

第七十八條 會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對  
 照表ヲ作ルコトヲ要ス  
 會社カ前項ノ期間内ニ其債權者ニ對シテ異議アリハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フベキ旨ヲ公告シ且知  
 照シタルモノト看做ス

第七十九條 債權者カ前條第三項ノ期間内ニ會社カ合併ニ對シテ異議ヲ述ベザルハ其後之ヲ承  
 認シタルモノト看做ス  
 債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併  
 前項ノ規定ニ反シテ合併ヲ爲シタルトキハ之ヲ以テ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對抗スルコトヲ得

前項ノ規定ニ反シテ合併ヲ爲シタルトキハ之ヲ以テ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對抗スルコトヲ得  
 前項ノ規定ニ反シテ合併ヲ爲シタルトキハ之ヲ以テ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對抗スルコトヲ得

第六十條 會社カ第七十八條第二項ニ定メタル公告ヲ爲サスシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ  
 之ヲ以テ其債權者ニ對抗スルコトヲ得ス  
 會社ガ知レタル債權者ニ催告ヲ爲サスシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其催告ヲ受  
 けサレシ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス  
 第六十一條 會社ガ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合併後存続ス  
 ル會社ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、  
 合併ニ因リテ設立シタル會社ニ付テハ第五十一條第二項ニ定メタル登記ヲ爲スルコトヲ要ス  
 第六十二條 合併後存続スル會社及ヒ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會  
 社ノ權利義務ヲ承繼ス  
 第六十三條 已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得  
 但裁判所ハ社員ノ請求ニ因リ會社ノ解散ニ代ヘテ或社員ヲ除名スルコトヲ得  
 第六節 清算

第六十四條 會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙ホ存続スルモノト看做ス  
 第六十五條 解散ノ場合ニ於ケル會社財産ノ處分方法ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ定ムル  
 コトヲ得此場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及ヒ貸借對照表ヲ作成スルコトヲ要ス  
 第六十六條 第三項第七十九條及ヒ第八十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
 第六十七條 前條ノ規定ニ依リテ會社財産ノ處分方法ヲ定メザリシトキハ合併及ヒ破産ノ場合ヲ  
 除ク外第十三條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スルコトヲ要ス  
 第六十七條 清算ハ總社員又ハ其選任シタル者ニ於テ之ヲ爲ス

清算人ノ選任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス  
 第六十八條 第七十四條第五號ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス  
 第六十九條 會社ガ裁判所ニ依リテ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ヲ請求  
 二因リ清算人ヲ選任スルコトヲ得  
 第七十條 清算人ヲ選任スルコトヲ要ス  
 第七十一條 清算人ハ職務左ノ如シ  
 一 會社ノ現務ヲ終了スルコトヲ要ス  
 二 會社ノ債權者ノ取立及ヒ債務ノ辨濟  
 三 殘餘財産ノ分配

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス  
 清算人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス  
 第七十二條 會社ニ現存スル財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ清算人ハ辨濟期ニ拘ハラ  
 ス社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第七十三條 清算人數人アルトキハ清算ニ關スル行爲ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス但第三者ニ對シ  
 テハ各自會社ヲ代表ス  
 第七十四條 清算人ハ就職ノ後遲滞ヲ爲シ會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作  
 成シ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス  
第九十五條 清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シ終ル後ニ非ザレバ會社財産ヲ社員ニ分配スルコトヲ得  
スハ清算人ノ義務ナシ

第九十六條 社員ヲ選任シタル清算人ニ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半数  
ヲ以テ之ヲ決スルコトヲ要ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得  
第九十七條 清算人ハ解任又ハ變更ハ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ之ヲ登記スルコト  
ヲ要ス

第九十八條 清算人ノ任務ヲ終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求  
ムルコトヲ要ス

前項ノ計算並對シ社員ガ一个月内ニ異議ヲ述ヘサシメトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス但清  
算人ニ不正ノ行為アリタルトキハ此限ニ在ラス

第九十九條 清算人ヲ終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲  
スルコトヲ要ス

第一百條 會社ノ事業ニ着手シタル後其設立ヲ取消サレタルトキハ解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲ス  
コトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第一百一條 會社ノ帳簿其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類第百八十五條ノ場合ニ  
於テハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後其他何處ニ在ルニテ清算ヲ終了スル登記ヲ  
爲スル後五年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ定ム

第一百二條 社員ガ死亡シタル場合於テ其相続人數人又ハ此等ノ清算ノ關係ヲ社員ノ權利ヲ行使  
スル者十八條定ムルコトヲ要ス

第一百三條 第六十三條ニ定ムル社員ノ責任ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後五年  
間ヲ經過シタルトキ消滅スルコトヲ要ス

前項ノ期間經過以後雖モ分配セザル殘餘財産尙ホ存存スルトキハ會社ノ債權者ハ之ニ對シテ辨  
濟ヲ請求スルコトヲ得

第一百四條 合資會社ニ有限責任社員無責任社員トシテ之ヲ組織ス  
第一百五條 合資會社ニ本章程ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外合資會社ニ關スル規定ヲ準用ス

第一百六條 合資會社ノ定款ニハ第五十條ニ掲ケタル事項ノ外各社員ノ責任ノ有限又ハ無限ナルコ  
トヲ記載スルコトヲ要ス

第一百七條 會社ノ定款ヲ作リタル日ヨリ三週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ第五十一條第  
一項ニ掲ケタル事項ノ外各社員ノ責任ノ有限又ハ無限ナルコトヲ登記スルコトヲ要ス

第一百八條 有限責任社員ハ金錢其他ノ財産ノミヲ以テ其出資ノ目的ト爲スコトヲ得  
第一百九條 各無限責任社員ハ定款ニ別段ノ定ナキトキハ會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有シ義務ヲ  
負フ

無限責任社員數人アルトキハ會社ノ業務執行ハ其過半数ヲ以テ之ヲ決ス

第一百十條 支配人ノ選任及ヒ解任ハ特ニ業務執行社員ヲ定ムタルトキト雖モ無限責任社員ノ過半  
數ヲ以テ之ヲ決ス

會社ノ業務執行社員ノ選任及ヒ解任ハ特ニ業務執行社員ヲ定ムタルトキト雖モ無限責任社員ノ過半  
數ヲ以テ之ヲ決ス

第百十一條 有限責任社員ハ營業年度ノ終ニ於テ營業時間内ニ限リ會社ノ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ閱覽ヲ求メ且會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得  
 重要ナル事由アルトキハ裁判所ノ有限責任社員ヲ請求シ因何時ニテ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ノ検査ヲ許スコトヲ得

第百十二條 有限責任社員ハ無限責任社員全員ノ承諾アルトキハ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得

第百十三條 有限責任社員ハ自己又ハ第三者ヲ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行為ヲ爲シ又同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得

第百十四條 定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メタルトキハ各無限責任社員代表スルニ依リテ會社ノ業務ヲ執行スルコトヲ得

第百十五條 有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得

第百十六條 有限責任社員ハ自己ハ無限責任社員トシテ信託シムル行爲アリタルトキハ其社員ハ善意及第三者ニ對シテ無限責任社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第百十七條 有限責任社員カ死亡シタルトキハ其相續人之ニ代ハリテ社員ト爲ル  
 有限責任社員ハ禁治産宣告時受クル後之原因由テ退社セズル會社ハ對該管ハ之ヲ繼承スルコトヲ得  
 第百十八條 合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ス但有限責任社員及全社員退社シタル場合ニ於テ無限責任社員ノ時致得テ合資會社トシテ會社ヲ繼續スル旨十先妨法スルコトヲ得

前項但書の場合ニ於テハ三週間内ニ本店及ヒ支店及ヒ所在地ニ於テ給資會社ニ附テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四章 株式會社

第一節 設立

第百十九條 株式會社ノ設立ニハ七人以上ノ發起人アルコトヲ要ス

第百二十條 發起人ハ定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス

一 目的

二 商號

三 資本ノ總額

四 一株ノ金額

五 取締役カ有スヘキ株式ノ數

六 本店及ヒ支店ノ所在地

七 會社カ公告ヲ爲ス方法

八 發起人ノ住所

第百二十一條 前條第五號乃至第七號ニ掲ケタル事項ヲ定款ニ記載セザルコトキハ創立總會又ハ株主總會ニ於テ之ヲ補正スルコトヲ得

前項ノ株主總會ノ決議ハ第二百九條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十二條 左ニ掲ケタル事項ヲ定メタルトキハ之ヲ定款ニ記載スルニ非サレハ其效ナシ

一 存立時期又ハ解散ノ事由  
 二 株式ノ額面以上ノ發行

三 發起人ヲ受取ルキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘキ者ノ氏名

四 金銀以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者ノ氏名、其財産ノ種類、價格及ヒ之ニ對シテ與テ

五 該會社ノ負擔ニ歸スベキ設立費用及ヒ發起人カ受クヘキ報酬ノ額

第六十三條 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ會社ハ之ニ因リテ成立ス此場合ニ於テハ

發起人ハ遲滞付カ株金ノ四分ノ一ヲ下付サル第二回ノ拂込ヲ爲シ且取締役及ヒ監査役ヲ選任ス

ルコトヲ要ス此選任ハ發起人ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第六十四條 取締役ハ其選任後遲滞ナク第六十二條第三號乃至第五號ニ掲ケタル事項及ヒ第

六回ノ拂込ヲ爲シタルヤ否ヤヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要

ス

第六十五條 検査役ノ報告ヲ聽キ第六十五條ノ規定ニ準據シテ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十六條 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサルトキハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス

第六十七條 株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ株式申込證ニ通シ其引受クヘキ株式ノ數ヲ記載シ

之ニ署名スルコトヲ要ス

第六十八條 株式申込證ハ發起人之ヲ作前之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 定款作成ノ年月日

二 第六十條及ヒ第六十二條ニ掲ケタル事項

三 各發起人カ引受ケタル株式ノ數

四 第一回拂込ノ金額

五 第二回拂込ノ金額

六 第三回拂込ノ金額

七 第四回拂込ノ金額

八 第五回拂込ノ金額

九 第六回拂込ノ金額

十 第七回拂込ノ金額

十一 第八回拂込ノ金額

十二 第九回拂込ノ金額

十三 第十回拂込ノ金額

十四 第十一回拂込ノ金額

十五 第十二回拂込ノ金額

十六 第十三回拂込ノ金額

十七 第十四回拂込ノ金額

十八 第十五回拂込ノ金額

十九 第十六回拂込ノ金額

二十 第十七回拂込ノ金額

二十一 第十八回拂込ノ金額

二十二 第十九回拂込ノ金額

二十三 第二十回拂込ノ金額

二十四 第二十一回拂込ノ金額

二十五 第二十二回拂込ノ金額

二十六 第二十三回拂込ノ金額

二十七 第二十四回拂込ノ金額

二十八 第二十五回拂込ノ金額

二十九 第二十六回拂込ノ金額

三十 第二十七回拂込ノ金額

三十一 第二十八回拂込ノ金額

三十二 第二十九回拂込ノ金額

三十三 第三十回拂込ノ金額

三十四 第三十一回拂込ノ金額

三十五 第三十二回拂込ノ金額

三十六 第三十三回拂込ノ金額

三十七 第三十四回拂込ノ金額

三十八 第三十五回拂込ノ金額

三十九 第三十六回拂込ノ金額

四十 第三十七回拂込ノ金額

四十一 第三十八回拂込ノ金額

四十二 第三十九回拂込ノ金額

額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ株式申込證ニ引受價格ヲ記載

スルコトヲ要ス

第六十七條 株式ノ申込ヲ爲シタル者ハ其引受クヘキ株式ノ數ニ應ジテ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第六十八條 株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス

第六十九條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十一條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十二條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十三條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十四條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十五條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十六條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十七條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十八條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第七十九條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十一條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十二條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十三條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十四條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十五條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十六條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十七條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十八條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第八十九條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十一條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十二條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十三條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十四條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九十五條 株式發行ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第五百五十六條第一項第二項及七百六十一條第三項第四項第六十二條及七百六十三條第一項第二項ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條 發起人ハ會社ノ創立ニ關スル事項ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

第三百三十三條 創立總會ニ於テハ取締役及ヒ監査役ヲ選任スルコトヲ要ス

第三百三十四條 取締役及ヒ監査役ハ左ニ掲ケタル事項ヲ調査シ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

一 株式總數ノ引受アリタルヤ否ヤ

二 各株ニ付キ第九十九條ノ拂込アリタルヤ否ヤ

三 第二百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ケタル事項ノ正當ナルヤ否ヤ

取締役又ハ監査役中發起人ヨリ選任セラレタル者アルトキハ創立總會ハ特ニ檢査役ヲ選任シ其者ニ代ハリテ前項ノ調査及ヒ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百三十五條 創立總會ニ於テ第二百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ケタル事項ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得但金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者アル場合ニ於テ之ニ對シテ與フル株式ノ數ヲ減シタルトキハ其者ハ金錢ヲ以テ拂込ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條 引受ナキ株式又ハ第九十九條ノ拂込ノ未済ナル株式アルトキハ發起人ハ連帶シテ其株式ヲ引受ク又ハ其拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ株式ノ申込カ取消サレタルトキ亦同シ

第三百三十七條 前二條ノ規定ハ發起人ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ケズ

第三百三十八條 創立總會ニ於テハ定款ノ變更又ハ設立ノ廢止ノ決議ヲモ爲スコトヲ得

第三百三十九條 發起人カ株式ノ總數ヲ引受クサリシトキハ會社ハ創立總會ノ終結ニ因リテ成立ス

第四百十條 株式總數ノ引受アリタル後一年內ニ第二百二十九條ノ拂込中終ラサルトキ又ハ其拂込力終ハリタル後六個月內ニ發起人カ創立總會ヲ招集セサルトキハ株式引受人ハ其申込ヲ取消シ拂込ミタル金額ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百十一條 會社ハ發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ第二百二十四條ニ定メタル調査終了ノ日ヨリ又發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサリシトキハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルニ要ス

- 一 第二百十條第一號乃至第四號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項
- 二 本店及ヒ支店ノ所在地
- 三 設立ノ年月日
- 四 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由
- 五 各株ニ付キ拂込ミタル株金額
- 六 開業前ニ利息ヲ配當スルキトキ定メタルトキハ其利率
- 七 取締役及監査役ノ氏名、住所

第五百十一條第二項第三項第五十二條及ヒ第五十三條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ準用ス

第四百十二條 會社カ前條第三項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後ハ株式引受人ハ詐欺又ハ強迫ニ因リテ其中込ヲ取消スコトヲ得ス

第二節 株式

第四百十三條 株式會社ノ資本ハ之ヲ株式ニ分ツコトヲ要ス

第四百十四條 株主ノ責任ハ其引受ク又ハ讓受ケタル株式ノ金額ヲ限度トス



株主ノ株金ヲ拂込ニ付キ相殺シ以テ會社ニ對抗スルコトヲ不得トス

第四百四十五條 株式ノ金額ノ均ニシテ下ヲ要スルコトヲ要ス

第四百四十六條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百四十七條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百四十八條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百四十九條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十一條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十二條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十三條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十四條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十五條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十六條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十七條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十八條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百五十九條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十一條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十二條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十三條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十四條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十五條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十六條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十七條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十八條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百六十九條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第四百七十條 株式ノ數人ノ共有ニ屬スルコトキ共有者ノ株主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

但第四百四十一條第一項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テハ登記ヲ爲スマテハ之ヲ讓渡シ又ハ其讓渡ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

第四百五十條 記名株式ノ讓渡ハ讓受人ノ氏名、住所ヲ株主名簿ニ記載シ且其氏名ヲ株券ニ記載スルニ非ラレバ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ不得トス

第四百五十一條 會社ノ自己ノ株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的ニシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

株式ノ資本減少ノ規定ニ從フニ非サレバ之ヲ消却スルコトヲ得ス但定款ノ定ムル所ニ從ヒ株主ニ配當スル利益ヲ以テスルハ此限ニ在ラズ

第四百五十二條 株金ノ拂込ニ二週間前ニ於テ各株主ニ催告スルコトヲ要ス

株主カ期日ニ拂込ヲ爲サルトキハ會社ハ更ニ一定ノ期間内ニ其拂込ヲ爲スヘキ旨及ヒ其期間内ニ之ヲ爲サルトキハ株主ノ權利ヲ失フヘキ旨ヲ其株主ニ通知スルコトヲ得但其期間ハ三週間ヲ下ルコトヲ得ス

第四百五十三條 會社カ前條ニ定メタル手續ヲ踐ミタルモ株主カ拂込ヲ爲サルトキハ其權利ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ株式ノ各讓渡人ニ對シ二週間ヲ下ラサル期間内ニ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ催告ヲ發スルコトヲ得此場合ニ於テハ最モ先ニ滯納金額ヲ拂込ヲ爲シタル讓渡人株式ヲ取得ス

讓渡人カ拂込ヲ爲サルトキハ會社ハ株式ヲ競買スルコトヲ得此場合ニ於テ競買ニ依リテ得タル金額カ滯納金額ニ滿タザルトキハ從前ノ株主ヲシテ其不足額ヲ辨濟セシムルコトヲ得若シ從前ノ株主カ二週間内ニ之ヲ辨濟セザルトキハ會社ハ讓渡人ニ對シテ其辨濟ヲ請求スルコトヲ得

得前ノ請求ニ應答スルニシテ其請求ノ目的及ヒ其召集ノ理由ヲ記載シタル書面  
前三項ノ規定ハ會社ガ損害賠償及ヒ定款ヲ以テ定メタル違約金ヲ請求スルコトヲ妨  
第百五十四條 前條ニ定メタル讓渡人ノ責任ハ讓渡ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年ヲ経過シタル  
下キハ消滅ス

第百五十五條 株金全額ノ拂込アリタルトキハ株主ハ其株券ヲ無記名式ト爲スコトヲ請求スルコ  
トヲ得

株主ハ何時ニテモ其無記名式ノ株券ヲ記名式ト爲スコトヲ請求スルコトヲ得

第三節 會社ノ機關  
第一款 株主總會

第百五十六條 總會ヲ召集スルニハ會日ヨリ三週間前ニ各株主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要  
ス

前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スルべき事項ヲ記載スルコトヲ要ス

會社ガ無記名式ノ株券ヲ發行シタル場合ニ於テハ會日ヨリ三週間前ニ總會ヲ開クヘキ旨及ヒ前  
項ニ掲ケタル事項ヲ公告スルコトヲ要ス

第百五十七條 定時總會ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ取締役之ヲ召集スルコトヲ要ス

年三回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニアリテハ毎配當期ニ總會ヲ召集スルコトヲ要ス

第百五十八條 定時總會ハ取締役ガ提出シタル書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ調査シ且利益又ハ利息  
ノ配當ヲ決議ス

前項ニ掲ケタル書類ノ當否ヲ調査セシムル爲メ總會ハ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得

第百五十九條 臨時總會ハ必要アル毎ニ取締役之ヲ召集ス

第百六十條 資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ハ總會ノ目的及ヒ其召集ノ理由ヲ記載シタル書面  
ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ召集ヲ請求スルコトヲ得

取締役ガ前項ノ請求アリタル後二週間内ニ總會召集ノ手續ヲ爲サザルトキハ其請求ヲ爲シタル  
株主ハ裁判所ノ認可ヲ得テ其召集ヲ爲スコトヲ得

第百六十一條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外出席シタル株主ノ議決權  
ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

無記名式ノ株券ヲ有スル者ハ會日ヨリ一週間前ニ其株券ヲ會社ニ供託スルニ非サレハ其議決權  
ヲ行フコトヲ得ス

株主ハ代理人ヲ以テ其議決權ヲ行フコトヲ得但其代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ會社ニ差出タ  
スコトヲ要ス

總會ノ決議ニ付キ特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其議決權ヲ行フコトヲ得ス

第百六十二條 各株主ハ一株ニ付キ一個ノ議決權ヲ有ス但十一株以上ヲ有スル株主ノ議決權ハ定  
款ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得

第百六十三條 總會召集ノ手續又ハ其決議ノ方法法令又ハ定款ニ反スルトキハ株主ハ其決議ノ  
無効ノ宣告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ決議ノ日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス  
取締役又ハ監査役ニ非サル株主ガ第一項ノ請求ヲ爲シタルトキハ其株券ヲ供託シ且會社ノ請求  
ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第二款 取締役

第六十四條 取締役ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ之ヲ選任ス

第六十五條 取締役ハ三人以上タルコトヲ要ス

第六十六條 取締役ノ任期ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ス但其任期滿了ノ後之ヲ再選スルコトヲ得

第六十七條 取締役ハ何時ニテモ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得但任期ノ定アル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其任期前ニ之ヲ解任シタルトキハ其取締役ハ會社ニ對シ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第六十八條 取締役ハ定款ニ定メタル員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第六十九條 會社ノ業務執行ハ定款ニ別段ノ定ナキトキハ取締役ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス支那人ノ選任及ヒ解任亦同シ

第七十條 取締役ハ各自會社ヲ代表ス

第七十一條 取締役ハ定款及ヒ總會ノ決議ヲ本店及ヒ支店ニ備ヘ置キ且株主名簿及ヒ社債原簿ヲ本店ニ備ヘ置クコトヲ要ス

第七十二條 株主名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 株主ノ氏名、住所

二 各株主ノ株式ノ數及ヒ株券ノ番號

三 各株ニ付キ拂込ミタル株金額及ヒ拂込ノ年月日

四 各株式ノ取得ノ年月日

五 無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ其數、番號及ヒ發行ノ年月日

第七十三條 社債原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 社債權者ノ氏名、住所

二 債券ノ番號

三 社債ノ總額

四 各社債ノ金額

五 社債ノ利率

六 社債償還ノ方法及ヒ期限

七 債券發行ノ年月日

八 各社債ノ取得ノ年月日

第九 無記名式ノ債券ヲ發行シタルトキハ其數、番號及ヒ發行ノ年月日

第七十四條 會社ハ其資本ノ半額ヲ失ヒタルトキハ取締役ハ遲滞ナク株主總會ヲ招集シテ之ヲ報告スルコトヲ要ス

會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ取締役ハ直チニ破産宣告ヲ請求スルコトヲ要ス

第七十五條 取締役ハ株主總會ノ認許ヲ得テ自己又ハ第三者ヲ爲シ會社及營業本部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得

スニ爲シタルモノト看做スコトヲ得  
取締役カ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ株主總會ハ之ヲ以テ會社ノ  
爲メニ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ監査役ノ一人カ其行爲ヲ知リタル時ヨリ二ヶ月間之ヲ行ハサルニ依リテ消  
滅ス行爲ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第七十六條 取締役ハ監査役ノ承認ヲ得タルトキニ限リ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト取引ヲ  
爲スコトヲ得

第七十七條 取締役カ法令又ハ定款ニ反スル行爲ヲナシタルトキハ株主總會ノ決議ニ依リタル  
場合ト雖モ第三者ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ其行爲ニ對シテ株主總會ニ於テ異議ヲ述ヘ且監査役ニ其旨ヲ通知シタル取締役ニハ  
之ヲ適用セズ

第七十八條 株主總會ニ於テ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議シタルトキ又ハ之ヲ否決  
シタル場合ニ於テ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主カ之ヲ監査役ニ請求シタルトキハ會社ハ決  
議又ハ請求者ヨリ一ヶ月内ニ訴ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ請求者爲シタル株主ハ其株券ヲ供託シ且監査役ノ請求ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ  
要ス

會社カ既訴シタル株主ハ會社ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第七十九條 取締役ノ受取ヘキ報酬ハ定款ニ其額ヲ定メサリシトキハ株主總會ノ決議ヲ以テ之  
ヲ定ム

第七十二條 第三款ニ監査役ハ十名ニ限リ之ヲ選任スルコトヲ得

第八十條 監査役ノ任期ハ二年トシ但シ其任期満了ノ後之ヲ再選スルコトヲ妨グズ

第八十一條 監査役ハ何時ニテモ取締役ニ對シテ營業ノ報告ヲ求メ又ハ會社ノ業務及ヒ會社財  
産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第八十二條 監査役ハ株主總會ヲ召集スル必要アリト認メタルトキハ其召集ヲ爲スコトヲ得此  
總會ニ於テ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ  
得

第八十三條 監査役ハ取締役カ株主總會ニ提出セントスル書類ヲ調査シ株主總會ニ其意見ヲ報  
告スルコトヲ得

第八十四條 監査役ハ取締役又ハ支配人ヲ兼スルコトヲ得但シ取締役中ニ缺員アルトキハ取締  
役及ヒ監査役ノ協議ヲ以テ監査役中ヨリ一時取締役ノ職務ヲ行フヘキ者ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ハ第九十二條第一項ノ規定ニ從ヒ株主總會ノ  
承認ヲ得ルマテハ監査役ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十五條 會社カ取締役ニ對シ又ハ取締役カ會社ニ對シテ訴ヲ提起スル場合ニ於テハ其訴ニ付  
テハ監査役會社ヲ代表ス但シ株主總會ハ他人ヲシテ之ヲ代表セシムルコトヲ得

資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主カ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ請求シタルトキハ特ニ  
代表者ヲ指定スルコトヲ得

第八十六條 監査役カ其任務ヲ怠リタルトキハ會社及ヒ第三者ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス  
第八十七條 株主總會ニ於テ監査役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ決議シタルトキ又ハ之ヲ否決

シタル場合ニ於テ資本十分ノ一以上當タル株主ガ之ヲ取締役ニ請求シタルトキハ會社  
 議及テ請求ノ日算第二个月内ニ訴ヲ提起スルヲ要ス此場合ニ於テハ第九百九十五條第五條第五但  
 書及ヒ第三項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ請求ヲ爲シタル株主ハ其株券ヲ供託シ且取締役ノ請求ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ  
 要ス

會社ガ敗訴シタルトキハ右ノ株主ハ會社ニ對シテノミ損害賠償ノ責ニ任ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九百九十九條 第九百六十四條第九百六十七條及第九百七十九條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第九十八條 裁判所ハ資本ノ十分之一以上ニ當ル株主ノ請求ニ因リ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムル爲メ検査役ヲ選任スルコトヲ得

第五節 社債

第九十九條 社債ハ第二百九條ニ定メタル決議ニ依リニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

第二百條 社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ニ超ユルコトヲ得ス

第二百一條 各社債ノ金額ハ二十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第二百二條 社債權者ニ償還スヘキ金額カ券面額ニ超ユヘキコトヲ定メタルトキハ其金額ハ各社債ニ付キ同一ナルコトヲ要ス

第二百三條 社債ヲ募集セントスルトキハ取締役ハ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一 第七十三條第三號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二 會社ノ商號

三 前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其償還ヲ了スル總額

四 社債發行ノ價額又ハ其最低價額

五 會社ノ資本及ヒ拂込ミタル株金額ノ總額

六 最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ノ額

第二百四條 社債ノ募集ヲ完了シタル時ハ取締役ハ各社債ニ付キ其全額ヲ拂込シタルコトヲ要ス

第二百五條 債券ニ對シテ第二百三條第三號及ヒ第二號ニ掲ケタル事項及ヒ番號ヲ記載シ取締役之ニ署名スルコトヲ要ス

第二百六條 記名社債ノ讓渡ハ讓受人ノ氏名、住所ヲ社債原簿ニ記載シ且其氏名ヲ債券ニ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二百七條 第二百五十五條ノ規定ハ債券ニ之ヲ準用ス

第二百八條 定款ハ株主總會ノ決議ニ依リテ之ヲ變更スルコトヲ得

第二百九條 定款ハ變更ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

前項ニ定メタル員數ノ株主カ出席セサルトキハ出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ假決議ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テ各株主ニ對シテ其假決議ノ趣旨ヲ通知ヲ發シ且無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ其趣旨ヲ公告シ更ニ一ヶ月ヲ下ラサル期間内ニ第三回ノ株主總會ヲ召集スルコトヲ要ス

第三回ノ株主總會ニ於テ出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ假決議ヲ認否ヲ決ス

前二項ノ規定ハ會社ノ目的タル事業ヲ變更スル場合ニ之ヲ適用セス

第二百十條 會社ノ資本ハ株金全額拂込ノ後ニ非シレハ之ヲ増加スルコトヲ得ス  
第二百十一條 會社ハ其資本ヲ増加スル場合ニ限り優先株ヲ發行スルコトヲ得此場合ニ於テハ其旨ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス

第二百十二條 會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ定款ノ變更カ優先株主ニ損害及及否ハ其旨ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス  
第二百十三條 會社カ其資本ヲ増加シタル場合ニ於テ各新株ニ付キ第百二十九條ノ拂込アリタル旨ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス  
第二百十四條 監査役左記ノ事項ヲ調査シ之ヲ株主總會ニ報告スルコトヲ要ス  
一 各新株ニ付キ第百二十九條ノ拂込アリタル旨ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス  
二 各新株ニ付キ第百二十九條ノ拂込アリタル旨ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス  
三 金銀以外ノ財產ヲ以テ出資受目的外爲シタル者ハ其財產ニ對シテ與テ株式數

株主總會ノ前項ノ調査及正報告ヲ爲シシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得  
第二百十五條 株主總會ニ於テ金銀以外ノ財產ニ對シテ與タル株式數ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ減少スルコトヲ得此場合ニ於テ第百三十五條但書ノ規定ヲ準用ス  
第二百十六條 引受ナキ株式又ハ第百二十九條ノ拂込ノ未済ナル株式アルトキハ取締役ハ連帶シテ其株式ヲ引受ケ又ハ其拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ株式申込カ取消セラレタル株式亦同シ

第二百十七條 會社ハ第百十三條ノ規定ニ依リテ招集シタル株主總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ本店及支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス  
一 増加シタル資本ノ總額  
二 資本増加ノ決議ノ年月日  
三 各新株ニ付キ拂込ミタル株金額  
四 優先株ヲ發行シタルトキハ其株主ノ權利  
前項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ新株券ノ發行及ヒ新株ノ讓渡又ハ其讓渡約ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十八條 新株ヲ發行シタルトキハ前條第一項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル年月日ヲ株券ニ記載スルコトヲ要ス  
第二百十九條 第百二十七條乃至第百三十條第百四十條第百四十二條及ヒ第百四十七條第二項ノ規定ハ新株發行ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第二百二十條 株主總會ニ於テ資本減少ノ決議ヲ爲ストキハ同時ニ其減少ノ方法ヲ決議スルコトヲ要ス  
第七十八條乃至第八十條ノ規定ハ資本減少ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七節 解散  
第二百二十一條 會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス  
一 第七十四條第一號第二號第四號第六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事由

二 株主總會ノ決議

三 株主カ七年未滿ニ減シタルコト

第二百二十二條 前條第二號及ヒ合併ノ決議ハ第二百九條ノ規定ニ從フニ非サレハ之ヲ爲スコトナ得ス

第二百二十三條 會社カ合併ヲ爲サント欲スルトキハ其旨ヲ公告シテ株主總會ノ會日前一個月ヲ超ユサル期間及ヒ開會中記名株ノ讓渡ヲ停止スルコトヲ得

株主總會ニ於テ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ第八十一條ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ株主ハ其記名株ヲ讓渡スコトヲ得ス

第二百二十四條 會社カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外取締役ハ遲滞ナク株主ニ對シテ其通知ヲ發シ且無記名式ノ株券ヲ發行シタル場合ニ於テハ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百二十五條 第七十六條及ヒ第七十八條乃至第八十二條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ準用ス

第八節 清算

第二百二十六條 會社カ解散シタルトキハ合併及ヒ破産ノ場合ヲ除ク外取締役其清算人ト爲ル但定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ株主總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者カキトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第二百二十七條 清算人ハ就職ノ後遲滞ナク會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百五十八條第二項及ヒ第九十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條 株主總會ニ於テ選任シタル清算人ハ何時ニテモ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ七分ノ二以上ニ當ル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第二百二十九條 殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百三十條 清算事務カ終ルリタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百五十八條第二項及ヒ第九十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十一條 總會召集ノ手續又ハ其決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ反スルトキハ清算人ハ其決議ノ無効ノ宣告ヲ請求スルコトヲ要ス

第二百三十二條 會社カ事業ニ著手シタル後其設立ノ無効ナルコトヲ發見シタルトキハ解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第二百三十三條 會社ノ帳簿、其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ハ本店ノ所在地ニ於テ清算終了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ清算人其他ノ利害關係人ノ請求ニ因リ裁判所之ヲ選任ス

第二百三十四條 第八十四條第八十九條乃至第九十三條第九十五條第九十七條第九十九條第一百十九條第一百六十條第六十三條第七十六條乃至第七十八條第八十一條第八十三條乃至第一百八十五條第一百八十七條及ヒ民法第七十九條第八十條ノ規定ハ株式會社ノ清算ノ場合ニ之



進用ス

第五章 株式合資會社

第二百三十五條 株式合資會社ハ無限責任社員ト株主トヲ以テ之ヲ組織ス

- 第二百三十六條 左ノ事項ニ付テハ合資會社ニ關スル規定ヲ準用ス
  - 一 無限責任社員相互ノ關係
  - 二 無限責任社員ト株主及ヒ第三者トノ關係
  - 三 無限責任社員ノ退社

此他株式合資會社ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外株式會社ニ關スル規定ヲ準用ス

- 第二百三十七條 無限責任社員ハ發起人ト爲リテ定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス
  - 一 第二百一十條第一號第二號第四號第六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項
  - 二 株金ノ總額
  - 三 無限責任社員ノ氏名、住所
  - 四 無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及ヒ價格又ハ評價ノ標準

第二百三十八條 無限責任社員ハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス

- 株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
  - 一 第二百二十二條第二百二十六條第二項第一號第四號及ヒ前條ニ掲ケタル事項
  - 二 無限責任社員カ株式ヲ引受ケタル小キハ其各自カ引受ケタル株式ノ數
- 第二百三十九條 創立總會ニ於テハ監査役ヲ選任スルコトヲ要ス

無限責任社員ハ監査役ト爲ルコトヲ得ス

第二百四十條 無限責任社員ハ創立總會ニ出席シテ其意見ヲ述ブルコトヲ得但株式ヲ引受ケタル下キト雖モ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

無限責任社員カ引受ケタル株式其他ノ出資ハ議決權ニ關シテハ之ヲ算入セス

前二項ノ規定ハ株主總會ニ之ヲ準用ス

第二百四十一條 監査役ハ第二百三十四條第一項及ヒ第二百三十七條第四號ニ掲ケタル事項ヲ調査シ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

第二百四十二條 會社ハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

- 一 第二百二十條第一號第二號第四號第七號及ヒ第四百一十一條第一項第二號乃至第六號ニ掲ケタル事項
- 二 株金ノ總額
- 三 無限責任社員ノ氏名、住所
- 四 無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及ヒ財產ヲ目的トスル出資ノ價格
- 五 會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メタルトキハ其氏名
- 六 監査役ノ氏名、住所

第二百四十三條 會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ニハ株式會社ノ取締役ニ關スル規定ヲ準用ス但

第二百四十四條 合資會社ニ於テ總社員ノ同意ヲ要スル事項ニ付テハ株主總會ノ決議ノ外無限責任

任社員ノ一致アルコトヲ要ス

第二百四十五條 監査役ハ無限責任社員ヲシテ株主總會ノ決議ヲ執行セシムル責ニ任ズ

第二百四十六條 株式合資會社ハ合資會社ト同一ノ事由ニ因リテ解散ス但第八十三條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第二百四十七條 無限責任社員ノ全員ガ退社シタル場合ニ於テ株主ハ第二百九條ニ定メタル決議ニ依リ株式會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ株式會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ議決スルコトヲ要ス

第二百四十八條 規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條 會社ガ解散シタルトキハ合併、破産又ハ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ清算人ハ無限責任社員ノ全員又ハ其選任シタル者及ヒ株主總會ニ於テ選任シタル者之ヲ爲ス但定款ニ別段ニ定メアルトキハ此限ニ在ラス  
無限責任社員ガ清算人ヲ選任スルトキハ其過半数ヲ以テ之ヲ決ス

株主總會ニ於テ選任スル清算人ハ無限責任社員ノ全員若クハ其相續人又ハ其選任スル者ト同數ナルコトヲ要ス

第二百四十九條 無限責任社員ノ何時ニテモ其選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

前條第三項ノ規定ハ清算人ノ解任ニ之ヲ準用ス

第二百五十條 前條ニ條者規定ハ株式合資會社ノ無限責任社員ニ之ヲ準用ス  
第二百五十一條 清算人ハ第二百二十七條第一項及ヒ第二百三十條第一項ニ定メタル計算ニ付キ

株主總會ノ承認ノ外無限責任社員全員ヲ承認ヲ得ルコトヲ要ス  
第二百五十二條 株式合資會社ハ第二百四十四條ノ規定ニ從ヒ其組織ヲ變更シテ之ヲ株式會社ト爲スコトヲ得

第二百五十三條 前條ノ場合ニ於テハ株主總會ハ直チニ株式會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ決議スルコトヲ要ス此總會ニ於テハ無限責任社員モ亦其引受クヘキ株式ノ數ニ應シテ議決權ヲ行フコトヲ得

第七十八條及ヒ第七十九條第一項第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條 會社ハ組織變更ニ付シ債權者ノ承認ヲ得又ハ第七十九條第二項ニ定メタル義務ヲ履行シタル後二週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ株式合資會社ニ付テハ解散ヲ登記シテ爲シ株式會社ニ付テハ第二百四十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六章 外國會社

第二百五十五條 外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ日本ニ成立スル同種ノモノ又ハ最モ之ニ類似セリモノト同一ノ登記及ヒ公告ヲ爲スコトヲ要ス  
右ノ外日本ニ支店ヲ設ケタル外國會社ハ其日本ニ於ケル代表者ヲ定メ且支店設立ノ登記ト同時ニ其氏名、住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十二條ノ規定ハ外國會社ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第二百五十六條 前條第一項及ヒ第二項ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項カ外國ニ於テ生シタルトキハ登記ノ期間ハ其通知ノ到達シタル時ヨリ之ヲ起算ス  
第二百五十七條 外國會社カ始メテ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲

スマテハ第三者ハ其會社ノ成立ヲ否認スルコトヲ得  
 第二百五十八條 日本ニ本店ヲ設ケ又ハ日本ニ於テ商業ヲ營ムヲ以テ主タル目的トスル會社ハ外國ニ於テ設立スルモノト雖モ日本ニ於テ設立スル會社ト同一ノ規定ニ從フコトヲ要ス  
 第二百五十九條 第四百七十七條第四百九十九條第五百五十五條第一項第二百六條第二百七條及ヒ第二百七十七條第二項ノ規定ハ日本ニ於テスル外國會社ノ株式ノ發行及ヒ其株式若クハ社債ノ讓渡ニ之ヲ進用ス此場合ニ於テハ始メテ日本ニ設ケタル支店ヲ以テ本店ト看做ス  
 第二百六十條 外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタル場合ニ於テ其代表者カ會社ノ業務ニ付キ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其支店ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得

第七章 罰則

第二百六十一條 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラレ  
 一 本編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ  
 二 本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲナシタルトキ  
 三 本編ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメサリシトキ  
 四 本編ノ規定ニ依ル調査ヲ妨ケタルトキ  
 五 第四十六條ノ規定ニ違反シテ開業ヲ準備シ著手シタルトキ  
 六 第二百二十六條第二項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ反シ株式申込證ヲ作ラス、之ニ記載スルキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

七 第四百七十七條第一項又ハ第四百七十七條第二項ノ規定ニ違反シテ株式發行シタルトキ  
 八 株券又ハ債券ニ記載スルキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ  
 九 定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及準備金並ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カズ之ニ記載スルキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ  
 第二百六十二條 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以上千圓以上ノ過料ニ處セラレ  
 一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ  
 二 第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ合併、會社財産ノ處分、資本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ  
 三 檢査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ  
 四 第五十一條第一項ノ規定ニ反シ株式ヲ取得シ若クハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シテ之ヲ消却シタルトキ  
 五 第五十五條第一項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ無記名式ト爲シタルトキ  
 六 第七十四條第二項又ハ民法第八十二條ノ規定ニ反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ  
 七 第九十四條ノ規定ニ反シ準備金ヲ積立テス又ハ第九十五條第一項若クハ第九十六條



其效力ヲ失フ

第二百七十條 隔地者間ニ於テ承諾期間ノ定ナクシテ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ相當ノ期間内ニ承諾ノ通知ヲ發セサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

民法第五百二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條 商人ガ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルトキハ運滞ヲ許スルノ通知ヲ發スルコトヲ要ス若シ之ヲ發スルコトヲ怠リタルトキハ申込ヲ承諾シテ受ケタルトキハ其效力ヲ失フ

第二百七十二條 商人ガ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ申込ト共ニ受取ル物品アルトキハ其申込ヲ拒絕シタルトキト雖モ申込者ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルコトヲ要ス但其物品ノ價額ガ其費用ヲ償フニ足ラサルトキ又ハ商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受ケルコトキハ此限ニ在ラズ

第二百七十三條 數人カ其一人又ハ全員ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

保證人アル場合ニ於テ債務カ主タル債務者ノ商行爲ニ因リテ生シタルトキ又ハ保證カ商行爲ナルトキハ主タル債務者及ヒ保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

第二百七十四條 商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲シタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十五條 商人間ニ於テ金錢ノ消費貸借ヲ爲シタルトキハ貸主ハ法定利息ヲ請求スルコト

附條

商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其立替ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十六條 商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ關シテハ法定利率ハ年六分トス

第二百七十七條 民法第三百四十九條ノ規定ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ヲ擔保スル爲メニ設定シタル質權ニハ之ヲ適用セス

第二百七十八條 商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ履行ヲ爲スヘキ場所カ其行爲ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ因リテ定マラサルトキハ特定物ノ引渡ハ行爲ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テ之ヲ爲シ其他ノ履行ハ債權者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

指圖債權及ヒ無記名債權ノ辨濟ハ債務者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ其支店ヲ以テ營業所ト看做ス

第二百七十九條 指圖債權又ハ無記名債權ノ債務者ハ其履行ニ付テ期限ノ定アルトキト雖モ其期限カ到來シタル後所持人カ其證券ヲ呈示シテ履行ノ請求ヲ爲シタル時ヨリ辨濟ノ責ニ任ス

第二百八十條 第二百七十八條第三項及ヒ前條ノ規定ハ民法第四百七十一條ニ掲ケタル債權ニ之ヲ準用ス

第二百八十一條 金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル指圖證券又ハ無記名證券ノ所持人カ其證券ヲ喪失シタル場合ニ於テ公示催告ノ申立ヲ爲シタル利キハ債務者ヲシテ其債務ノ目的物ヲ供託セ



第二百九十一條 交互計算ハ商人間又ハ商人ト商人ニ非サル者トノ間ニ平常取引ヲ爲ス場合ニ於テ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ相殺ヲ爲シ其殘額ハ支拂前爲スヘキコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第二百九十三條 手形其他ノ商業證券ヨリ生シタル債權債務ヲ交互計算ニ組入レタル場合ニ於テ證券ノ債務者カ辨濟ヲ爲ササリシトキハ當事者ハ其債務ニ關スル項目ヲ交互計算ヨリ除去スルコトヲ得

第二百九十四條 當事者カ相殺ヲ爲スヘキ期間ヲ定メザリシトキハ其期間ハ之ヲ六個月トス

第二百九十五條 當事者カ債權債務ノ各項目ヲ記載シタル計算書ノ承認ヲ爲シタルトキハ其各項目ニ付キ異議ヲ述フルコトヲ得ス但錯誤又ハ脱漏アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二百九十六條 相殺ニ因リテ生シタル殘額ニ付テハ債權者ハ計算閉鎖ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ各項目ヲ交互計算ニ組入レタル日ヨリ之ニ利息ヲ附スルコトヲ妨ケス

第二百九十七條 各當事者ハ何時ニテモ交互計算ノ解除ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ直チニ計算ヲ閉鎖シテ殘額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第四章 匿名組合

第二百九十七條 匿名組合契約ハ當事者ノ一方カ相手方ノ營業ノ爲メニ出資ヲ爲シ其營業ヨリ生スル利益ヲ分配スヘキコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第二百九十八條 匿名組合員ノ出資ハ營業者ノ財産ニ歸ス

匿名組合員ハ營業者ノ行爲ニ付キ第三者ニ對シテ權利義務ヲ有セス

第二百九十九條 匿名組合員カ其氏若クハ氏名ヲ營業者ノ商號中ニ用キ又ハ其商號ヲ營業者ノ商號トシテ用ユルコトヲ許諾シタルトキハ其使用以後ニ生シタル債務ニ付テハ營業者ト連帶シテ其責ニ任ス

第三百條 出資カ損失ニ因リテ減シタルトキハ其填補ノ後ニ非サレハ匿名組合員ハ利益ノ配當ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百一條 組合契約ヲ以テ組合ノ存續期間ヲ定メザリシトキ又ハ或當事者ノ終身間組合ノ存續スヘキコトヲ定メタルトキハ各當事者ハ營業年度ノ終ニ於テ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但六個月前ニ其豫告ヲ爲スコトヲ要ス

組合ノ存續期間ヲ定メタルトキハ其間ハスバムコトヲ得サル事由アルトキ 各當事者ハ何時ニテモ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第三百二條 前條ニ掲ケタル場合ノ外組合契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

- 一 組合ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
- 二 營業者ノ死亡又ハ禁治産

三 營業者又ハ匿名組合員ノ破産

第三百三條 組合契約カ終了シタルトキハ營業者ハ匿名組合員ニ其出資ノ價額ヲ返還スルコトヲ要ス但出資カ損失ニ因リテ減シタルトキハ其殘額ヲ返還スルヲ以テ足ル

第三百四條 第八條第百十一條及ヒ第百十五條ノ規定ハ匿名組合員ニ之ヲ準用ス

第五章 仲立營業

第三百五條 仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百六條 仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得  
ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス  
第三百七條 仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取リタルトキハ其行爲カ完了スルマテ之ヲ  
保管スルコトヲ要ス

第三百八條 當事者間ニ於テ行爲カ成立シタルトキハ仲立人ハ遲滯ナク各當事者ノ氏名又ハ商  
號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作り署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付スルコトヲ  
要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名セシメ  
タル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ遲滯ナ  
ク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九條 仲立人ハ其帳簿ニ前條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス  
當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ノ交付ヲ請求ス  
ルコトヲ得

第三百十條 當事者カ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立  
人ハ第三百八條第一項ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス  
第三百十一條 仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ之ニ對シテ  
自ラ履行ヲ爲ス責ニ任ス

第三百十二條 仲立人ハ第三百八條ノ手續ヲ終ハリタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得

仲立人ノ報酬ハ當事者雙方平分シテ之ヲ負擔ス

第六章 問屋營業

第三百十三條 問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ  
謂フ

第三百十四條 問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ權利ヲ得  
務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及ヒ代理ニ關スル規定ヲ準用ス  
第三百十五條 問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付キ相手方カ其債務ヲ履行セサル  
場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百十六條 問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲シ  
タル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其效力ヲ生ス

第三百十七條 問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ買主又  
ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ買主ノ代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタルコトノ通知  
ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第三百十八條 問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ買入レタル物品ヲ受取ルコトヲ  
拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第三百十九條 第三十七條及ヒ第四十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス



第三百二十條 本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス

第七章 運送取扱營業

第三百二十一條 運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百二十二條 運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管、運送人又ハ他ノ運送取扱人ノ選擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百二十三條 運送取扱人カ運送品ヲ運送人ニ引渡シタルトキハ直チニ其報酬ヲ請求スルコトヲ得

運送取扱契約ヲ以テ運送貨ノ額ヲ定メタルトキハ運送取扱人ハ特約アルニ非サレハ別ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百二十四條 運送取扱人ハ運送品ニ關シ受取ルヘキ報酬、運送貨其他委託者ノ爲メニ爲シタル立替又ハ前貸ニ付テノミ其運送品ヲ留置スルコトヲ得

第三百二十五條 敷人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス場合ニ於テハ後者ハ前者ニ代ハリテ其權利ヲ行使スル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ後者カ前者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得ス

第三百二十六條 運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ權利ヲ取得ス

第三百二十七條 運送取扱人ハ特約ナキトキハ自ら運送ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ運送取扱人ハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第三百二十八條 運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘガリシ日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ運送取扱人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百二十九條 運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對シテ債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百三十條 第三百二十八條及ヒ第三百四十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス

第八章 運送營業

第三百三十一條 運送人トハ陸上又ハ湖川、港灣ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第一節 物品運送

第三百三十二條 荷受人ハ運送人ノ請求ニ因リ運送狀ヲ交付スルコトヲ要ス

運送狀ニハ左ノ事項ヲ記載シ荷受人之ニ署名スルコトヲ要ス

一 運送品ノ種類、重量又ハ容積及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

二 到達地

三 荷受人ノ氏名又ハ商號

四 運送狀ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百三十三條 運送人ハ荷受人ノ請求ニ因リ貨物引換證ヲ交付スルコトヲ要ス

貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ記載ス

貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ記載シ運送人之ニ署名スルコトヲ要ス

一 前條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 荷送人ノ氏名又ハ商號

三 運送貨

四 貨物引換證ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百三十四條 貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ貨物引換證ノ定ムル所ニ依ル

第三百三十五條 裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタルトキハ運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有ス  
第三百三十六條 運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送貨ノ全部又ハ一部ヲ受取りタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送貨ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

第三百三十七條 運送人ハ自己若クハ運送取扱人又ハ其使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ運送品ノ受取引渡保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失毀損又ハ延滞ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免レルコトヲ得ス

第三百三十八條 貨幣有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當タリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス

第三百三十九條 數人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テハ各運送人ハ運送品ノ滅失毀損又ハ延滞ニ

付キ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第三百四十條 運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム

運送品ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但延滞ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサル運送貨其他ノ費用ハ前二項ノ賠償額ヨリ之ヲ控除ス

第三百四十一條 運送品カ運送人ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ運送人ハ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第三百四十二條 荷送人又ハ貨物引換證ノ所持人ハ運送人ニ對シ運送ノ中止運送品ノ返還其他ノ處分ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ運送人ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應スル運送貨立替金及ヒ其處分ニ因リテ生シタル費用ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ定メタル荷送人ノ權利ハ運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ其引渡ヲ請求シタルトキハ消滅ス

第三百四十三條 運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送契約ニ因リテ生シタル荷送人ノ權利ヲ取得ス

荷受人カ運送品ヲ受取りタルトキハ運送人ニ對シ運送貨其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ  
第三百四十四條 貨物引換證ヲ作りタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百四十五條

荷受人ヲ確知スルコト能ハサルトキハ運送人ハ運送品ヲ僥託スルコトヲ得ス  
前項ノ場合ニ於テ運送人カ荷送人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ  
旨ヲ備告スルモ荷送人カ其指圖ヲ爲ササルトキハ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

運送人カ前二項ノ規定ニ從ヒ運送品ノ供託又ハ競賣ヲ爲シタルトキハ運送品ナク荷送人ニ對シテ  
其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百四十六條

前條ノ規定ハ運送品ノ引渡ニ關シテ爭アル場合ニ之ヲ準用ス  
運送人カ競賣ヲ爲スニハ豫メ荷受人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ運送品ノ受取ヲ備告シ其期間經  
過ノ後更ニ荷送人ニ對スル備告ヲ爲スコトヲ要ス

運送人ハ運送品ナク荷受人ニ對シテモ運送品ノ供託又ハ競賣ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百四十七條

第二百八十六條第三項及ヒ第三項ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十八條

運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且運送貨其他ノ費用  
ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル  
場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ其通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在  
ラス

前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百四十九條

第三百二十四條第三百三十五條第三百二十八條及ヒ第三百二十九條ノ規定ハ運  
送人ニ之ヲ準用ス

第二節 旅客運送

第三百五十條

旅客ノ運送人ハ自己又ハ其使用人カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スル

ニ非サレハ旅客カ運送ノ爲メニ受ケタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得ス  
損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付テハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌スルコトヲ要ス

第三百五十一條

旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ニ付テハ特ニ運送貨ヲ請求セザ  
ルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ

手荷物カ到達地ニ達シタル日ヨリ一週間内ニ旅客カ其引渡ヲ請求セザルトキハ第二百八十六條  
ノ規定ヲ準用ス但住所又ハ居所ノ知レサル旅客ニハ備告及ヒ通知ヲ爲スコトヲ要セス

第三百五十二條

旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ自己又  
ハ其使用人ニ過失アル場合ヲ除ク外損害賠償ノ責ニ任セス

第九章 寄託

第一節 總則

第三百五十三條

商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ寄託ヲ受ケタルトキハ報酬ヲ受ケザルトキト雖モ  
善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五十四條

旅店、飲食店、浴場其他客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ主人ハ客ヨリ寄託ヲ受ケタ  
ル物品ノ滅失又ハ毀損ニ付キ其不可抗力ニ因リタルコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ  
免ルルコトヲ得ス

第三百五十五條

客カ特ニ寄託セサル物品ト雖モ場屋中ニ携帶シタル物品カ場屋ノ主人又ハ其使用人ノ不注意ニ  
因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ場屋ノ主人ハ損害賠償ノ責ニ任ス

第三百五十六條

客ノ携帶品ニ付キ責任ヲ負ハサル旨ヲ告示シタルトキト雖モ場屋ノ主人ハ前二項ノ責任ヲ免ル  
ルコトヲ得ス

第三百五十五條 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ客カ其種類及ヒ價額ヲ明告シテ之ヲ前條ノ場屋ノ主人ニ寄託シタルニ非サレハ其場屋ノ主人ハ其物品ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十六條 前二條ノ責任ハ場屋ノ主人カ寄託物ヲ返還シ又ハ客カ携帶品ヲ持去リタル後一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ物品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ客カ場屋ヲ去リタル時ヨリ之ヲ起算ス  
前二項ノ規定ハ場屋ノ主人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二節 倉庫營業

第三百五十七條 倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百五十八條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第三百五十九條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數、竝ニ記號
- 二 寄託者ノ氏名又ハ商號
- 三 保管ノ場所
- 四 保管料
- 五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間
- 六 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七 證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十條 倉庫營業者カ預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 前條第一號第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項
- 二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人之ヲ負擔ス

第三百六十二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第三百六十三條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託物ニ關スル處分ハ其證券ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十四條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但預證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲サル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第三百六十五條 第三百三十五條ノ規定ハ預證券ニ之ヲ準用ス  
第三百六十六條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十八條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケザルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三百六十九條 質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條 倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租税、保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ掲ケタル費用、租税、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後餘剩アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條 競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハザルシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條 質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙ホ不足アルトキハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ其不定額ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケザリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セザリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條 債務者其他ノ裏書人ニ對スル質入證券所持人ノ請求權ハ辨濟期ヨリ一年間之ヲ行ハザルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ抽出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シテ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非サレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ報酬及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メザリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ

辨濟期マテノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ從ヒテ供託シタル金額ハ質入證券ト引換ニ之ヲ所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百八十一條 第二百八十六條ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十二條 第三百四十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十章 保險

第一節 損害保險

第一款 總則

第三百八十四條 損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第三百八十五條 保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限り之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得

第三百八十六條 保險金額カ保險契約ノ目的ノ價額ニ超過シタルトキハ其超過シタル部分ニ付テハ保險契約ハ無効トス

第三百八十七條 同一ノ目的ニ付キ同時ニ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其保險金額カ價額ニ超過シタルトキハ各保險者ノ負擔額ハ其各自ノ保險金額ノ割合ニ依リテ之ヲ定ム

數個ノ保險契約ノ日附カ同一ナルトキハ其契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定ス

第三百八十八條 相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタルトキハ前ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ若シ其負擔額カ損害ノ全部ヲ填補スルニ足ラサルトキハ後ノ保險者之ヲ負擔ス

第三百八十九條 保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタル後ト雖モ左ノ場合ニ限り更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得

一 前ノ保險者ニ對スル權利ヲ後ノ保險者ニ讓渡スコトヲ約シタルトキ

二 前ノ保險者ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ拋棄スヘキコトヲ後ノ保險者ニ約シタルトキ

三 前ノ保險者カ損害ノ填補ヲ爲ササルコトヲ條件トシタルトキ

第三百九十條 同時ニ又ハ相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險者ノ一人ニ對スル權利ノ拋棄ハ他ノ保險者ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサス

第三百九十一條 保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價格ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第三百九十二條 保險價額カ保險期間中著シク減少シタルトキハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得但保險料ノ減額ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

第三百九十三條 保險者カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害カ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ損害額ヲ計算スルニ必要ナル費用ハ保險者之ヲ負擔ス

第三百九十四條 當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ保險者ハ其價額ノ著シク適當ナルコトヲ證明スルニ非サレハ其填補額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百九十五條 戰爭其他ノ變亂ニ因リテ生シタル損害ハ特約アルニ非サレハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第三百九十六條 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵、其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第三百九十七條 保險契約ノ當時當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故ノ生セサルハキコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知レルトキハ其契約ハ無効トス

第三百九十八條 保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケヌ又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効トス但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

第三百九十九條 保險契約ノ全部又ハ一部カ無効ナル場合ニ於テ保險契約者及ヒ被保險者カ善意ニシテ且重大ナル過失ナキトキハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百條 保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得

第四百一條 保險契約ハ他人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シ保險料ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第四百二條 保險契約者カ委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其旨ヲ保險者ニ告知セザルトキハ其契約ハ無効トス若シ之ヲ告ケタルトキハ被保險者ハ當然其契約ノ利益ヲ享受ス

第四百三條 保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス

一 保險ノ目的

二 保險者ノ負擔シタル危險

三 保險價額ヲ定メタルトキハ其價額

四 保險金額

五 保險料及其支拂ノ方法

六 保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期

七 保險契約者ノ氏名又ハ商號

八 保險契約ノ年月日

九 保險證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第四百四條 被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡シタルモノト推定ス

前項ノ場合ニ於テ保險ノ目的ノ讓渡カ著シク危險ヲ變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第四百五條 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ相當ノ擔保ヲ供セシメ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ保險契約者カ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

前二項ノ規定ハ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス但保險契約者カ既ニ保險料ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ此限ニ在ラス

第四百六條 他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得但被保險者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百七條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テハ保險契約者ハ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第四百八條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ因ラスシテ保險ノ目的ノ全部又ハ一部ニ付キ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトヲ要ス

第四百九條 前二條ノ場合ニ於テハ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額ヲ請求スルコトヲ得

第四百十條 保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第四百十一條 保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

前項ノ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ著シク變更又ハ増加シタルコトヲ知ラザルトキハ遲滞ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其效力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得

保險者カ前項ノ通知ヲ受ケ又ハ危險ノ變更若クハ増加ヲ知リタル後遲滞ナク契約ノ解除ヲ爲セサルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做ス

第四百十二條 保險者ノ負擔シタル危險ノ發生ニ因リテ損害ノ生シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百十三條 保險ノ目的ニ付キ保險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セザル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ填補スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百十四條 被保險者ハ損害ノ防止ヲカムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス

第四百十五條 保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第四百十六條 損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第三者ニ對シ



テ有セリ權利ヲ取得ス  
保險者ガ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權利ヲ  
害セサル範圍内ニ於テ之ノ前項ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第四百十七條 保險金額支拂ノ義務ハ二年保險料支拂ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因  
リテ消滅ス

第四百十八條 本節ノ規定ハ相互保險ニ之ヲ準用ス但其性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス  
第二款 火災保險

第四百十九條 火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハズ保險者之ヲ填補スル責ニ  
任ス但第三百九十五條及ヒ第三百九十六條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第四百二十條 消防又ハ避難ニ必要ナル處分ニ因リ保險ノ目的ニ付キ生シタル損害ハ保險者之ヲ  
填補スル責ニ任ス

第四百二十一條 賃借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ其支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其物  
ヲ保險ニ附シタルトキハ所有者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ填補ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十二條 火災保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコ  
トヲ要ス

一 保險ニ附シタル建物ノ所在、構造及ヒ用方  
二 動産ハ保險ニ付シタルトキハ之ヲ納ルル建物ノ所在、構造及ヒ用方  
第三款 運送保險

第四百二十三條 保險者ハ特約ナキトキハ運送人カ運送品ヲ受取りタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡  
ス時マデニ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スル責ニ任ス

第四百二十四條 運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到達地マテノ運送費  
其他ノ費用ヲ以テ保險價額トス

運送品ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ハ特約アルトキニ限り之ヲ保險價額中ニ算入ス  
第四百二十五條 運送保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコ  
トヲ要ス

- 一 運送ノ道筋及ヒ方法
- 二 運送人ノ氏名又ハ商號
- 三 運送品ノ受取及ヒ引渡ノ場所
- 四 運送期間ノ定アルトキハ其期間

第四百二十六條 保險契約ハ特約アルニ非サレハ運送上ノ必要ニ因リ一時運送ヲ中止シ又ハ運送  
ノ道筋若クハ方法ヲ變更シタルトキト雖モ其效力ヲ失ハス

第二節 生命保險

第四百二十七條 生命保險契約ハ當事者ノ一方ガ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支  
拂フヘキコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第四百二十八條 保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人又ハ親族ナルコトヲ要ス  
保險契約ニ因リテ生シタル權利ハ被保險者ノ親族ニ限り之ヲ讓受クルコトヲ得

保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ親族關  
係カ止ミタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メ又ハ被保險者ノ爲メニ積

立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得  
保險契約者カ前項ニ定メタル權利ヲ行ハスシテ死亡シタルトキハ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受  
取ルヘキ者トス

第四百二十九條 保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナ  
ル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効トス但保險者  
カ其事實ヲ知り又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

第四百三十條 生命保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコト  
ヲ要ス

一 保險契約ノ種類

二 被保險者ノ氏名

三 保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名及ヒ其者ト被保險者トノ親族關係

第四百三十一條 左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一 被保險者カ自殺、決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ

二 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但其者カ保險金額ノ一部  
ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

前項第一號ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十二條 保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタ  
ルトキハ遲滞ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百三十三條 第三百九十五條第三百九十七條第三百九十九條乃至第四百一一條第四百三條第一

項第四百五條乃至第四百七條第四百十條第四百十一條第四百十七條及ヒ第四百十八條ノ規定ハ  
生命保險ニ之ヲ準用ス

第三百九十五條第四百五條第四百七條第四百十條及ヒ第四百十一條ノ場合ニ於テ保險者カ保險  
金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第四編 手形

第一章 總則

第四百三十四條 本法ニ於テ手形トハ爲替手形、約束手形及ヒ小切手ヲ謂フ

第四百三十五條 手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十六條 代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ハ  
手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百三十七條 偽造又ハ變造シタル手形ニ署名シタル者ハ其偽造又ハ變造シタル手形ノ文言ニ  
從ヒテ責任ヲ負フ

變造シタル手形ニ署名シタル者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定ス

偽造者、變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ偽造又ハ變造シタル手形ヲ取得シタル者ハ手  
形上ノ權利ヲ有セス

第四百三十八條 無能力者カ手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義  
務ニ影響ヲ及ボサス

第四百三十九條 本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セス

第四百四十條 手形ノ債務者ハ本編ニ規定ナキ事由ヲ以テ手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗スルコト

ヲ得ス但直接ニ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラス  
第四百四十一條 何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百四十二條 手形ノ引受又ハ支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示、拒絕證書ノ作成其他手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但其者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨グス

利害關係人ノ營業所、住所又ハ居所カ知レザルトキハ拒絕證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ハ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲スモ營業所、住所又ハ居所カ知レザルトキハ其役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

第四百四十三條 引受人又ハ約束手形ノ振出人ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六個月裏書人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第四百四十四條 手形ヨリ生シタル債權方時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得  
第二章 爲替手形  
第一節 振出

第四百四十五條 爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之署名スルコトヲ要ス  
一 其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

二 一定ノ金額

三 支拂人ノ氏名又ハ商號

四 受取人ノ氏名又ハ商號

五 單純ナル支拂ノ委託

六 振出ノ年月日

七 一定ノ滿期日

八 支拂地

第四百四十六條 爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス

第四百四十七條 振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得

第四百四十八條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條 爲替手形金ハ其額三十圓以上ノモノニ限り之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百五十條 滿期日ハ左ニ掲ケタル種類ノ一タルコトヲ要ス

一 確定セル日

二 日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三 一覽ノ日

四 一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百五十一條 振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セザリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第四百五十二條 振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ其爲替手形ニ記載シタル支拂人ノ住所地ヲ以テ其支拂地トス

第四百五十三條 支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ爲替手形ニ記載スルコトヲ得

第四百五十四條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

第二節 裏書

第四百五十五條 爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百五十六條 振出人ハ引受人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ爲替手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十七條 裏書ハ爲替手形ハ其謄本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後爲替手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十八條 裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十九條 裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十條 裏書人カ裏書ヲ爲スニ當タリ爾後裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百六十一條 裏書人カ其署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲シタルトキハ所持人ハ自己ヲ其被裏書人ト爲スコトヲ得

爲スコトヲ得

第四百六十二條 支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得ス此場合ニ於テハ其裏書人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百六十三條 所持人ハ裏書ニ依リテ爲替手形ノ質入ヲ爲シ又ハ其取立ノ委任ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ裏書ニ其目的ヲ附記スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ得

第四百六十四條 裏書アル爲替手形ノ所持人ハ其裏書方連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス但署名ノミヲ以テ爲シタル裏書アルトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ因リテ爲替手形ヲ取得シタルモノト看做ス

第三節 引受

第四百六十五條 所持人ハ何時ニテモ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ得

第四百六十六條 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百六十七條 所持人カ一覽後定期拂ノ爲替手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ支拂人カ其引受ヲ爲サス又ハ引受ノ日附ヲ爲替手形ニ記載セサリシトキハ所持人ハ呈示期間內ニ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

引受人カ引受ノ日附ヲ記載セザリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

第四百六十八條 引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ支拂人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス支拂人カ爲替手形ニ署名シタルトキハ其引受ヲ爲シタルモノト看做ス  
第四百六十九條 支拂人ハ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ヲ除ク外支拂人カ爲替手形ノ單純ナル引受ヲ爲サザリシトキハ其引受ヲ拒絕シタルモノト看做ス但引受人ハ其引受ノ文書ニ從ヒテ責任ヲ負フ  
第四百七十條 支拂人ハ爲替手形ノ引受ニ因リ滿期日ニ於テ其引受ケタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第四百七十一條 引受人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲サザリシ場合ニ於テ其所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人若クハ振出人ニ對シテ支拂フヘキ金額ハ第四百九十一條又ハ第四百九十二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第四百七十二條 支拂地カ支拂人ノ住所地下異ナル場合ニ於テ振出人カ爲替手形ニ支拂擔當者ヲ記載セザリシトキハ支拂人ハ其引受ヲ爲スニ當タリテ之ヲ記載スルコトヲ得若シ支拂人カ之ヲ記載セザリシトキハ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス責ニ任ス

前項ノ場合ニ於テ振出人ハ爲替手形ニ其引受ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得此場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ニ依リテ呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
第四百七十三條 支拂人ハ引受ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載ス

ルコトヲ得

第四節 擔保ノ請求

第四百七十四條 支拂人カ爲替手形ノ引受ヲ爲サザリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シ手形金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

支拂人カ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲シタルトキハ所持人ハ其殘額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十五條 爲替手形ノ所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ引受拒絕證書ヲ作ラシメ自擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シ遲滞ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百七十六條 裏書人カ其後者ヨリ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シ其擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シ遲滞ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百七十七條 前三條ノ規定ニ依リテ擔保ノ請求ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク引受拒絕證書ト引換ニ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス但擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得

第四百七十八條 前者カ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルトキハ其後者全員ノ爲メ且其後者全員ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

所持人又ハ裏書人カ第四百七十五條又ハ第四百七十六條第二項ノ通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲メニシタルモノト看做ス

第四百七十九條 左ノ場合ニ於テハ第四百七十七條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ

又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一 後日ニ至リ爲替手形ノ單純ナル引受アリタルトキ

二 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ

三 擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ

四 手形上ノ權利カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

五 擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ満期日ヨリ一年内ニ償還ノ請求ヲ受ケザリシトキ

第四百八十條 引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ擔保ヲ供セザルトキハ所持人ハ豫備支拂人ノ引受ヲ求ムルコトヲ得但拒絕證書ヲ作ラシメ且遲滞ナク豫備支拂人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

豫備支拂人ナキトキ又ハ豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲サザリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百七十四條乃至第四百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十一條 左ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一 豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

二 引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ

三 第四百七十九條第二號乃至第五號ノ場合

第五節 支拂

第四百八十二條 一覽拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ

求ムルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ其前者ニ對シテ手形上ノ權利ヲ失フ

第四百八十三條 支拂ハ爲替手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ爲替手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第四百八十四條 手形金額ノ全部ニ付キ引受アリタルトキト雖モ所持人ハ其一部ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得

一部ノ支拂アリタルトキハ所持人ハ其旨ヲ爲替手形ニ記載シ且其謄本ヲ作り署名ノ後之ヲ交付スルコトヲ要ス

第四百八十五條 爲替手形ノ支拂ノ請求ナキトキハ引受人ハ支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ後手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免ルルコトヲ得

第六節 償還ノ請求

第四百八十六條 支拂人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲サザリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百八十七條 所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シ、若シ手形金額ノ支拂ナキトキハ満期日又ハ其後二日內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ拒絕證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲サリシトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
第四百八十八條 裏書人カ其後者ヨリ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル日ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百八十九條 爲替手形ノ所持人ハ支拂拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキト雖モ其作成ヲ免除シタル者ニ對シテハ手形上ノ權利ヲ失フコトナシ

所持人カ支拂拒絕證書ヲ作ラシメタルトキハ其作成ヲ免除シタル者ト雖モ其費用ヲ償還スル義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百九十條 支拂地カ支拂人ノ住所地下異ナル場合ニ於テ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂擔當者ニ、若シ爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載ナキトキハ支拂地ニ於テ支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス此場合ニ於テ支拂擔當者又ハ支拂人カ支拂ヲ爲サリシトキハ所持人ハ支拂地ニ於テ第四百八十七條第一項ノ規定ニ從ヒ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合ニ於テ所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲サリシトキハ引受人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ失フ

第四百九十一條 爲替手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 支拂アラサリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息
- 二 拒絕證書作成ノ手数料其他ノ費用

前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ住所地下支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ住所地下宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ住所地下最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

第四百九十二條 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- 二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十三條 爲替手形ノ所持人又ハ裏書人ハ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ其前者ヲ支拂人トシテ更ニ爲替手形ヲ振出スコトヲ得

第四百九十四條 所持人又ハ裏書人カ前條ノ規定ニ依リテ振出ス爲替手形ハ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ住所地下以テ其支拂地下定メタル一覽拂ノモノタルコトヲ要ス

所持人カ振出ス爲替手形ニハ本爲替手形ノ支拂地ヲ以テ振出地下定メ裏書人カ振出ス爲替手形ニハ其住所地下以テ振出地下定ムルコトヲ要ス

第四百九十五條 償還ハ爲替手形、支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受ケル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第四百九十六條 第四百七十八條第二項ノ規定ハ償還ノ請求ニ之ヲ準用ス

第七節 保證

第四百九十七條 爲替手形ヨリ生シタル債務ヲ保證スル爲メ爲替手形、其謄本又ハ補箋ニ署名シタル者ハ其債務カ無効ナルトキト雖モ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ

第四百九十八條 何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタルカ分明ナラサルトキハ其保證ハ引受人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス但未タ引受アラサリシトキハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四百九十九條 保證人カ其債務ヲ履行シタルトキハ所持人カ主タル債務者ニ對シテ有セシ權利及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シテ有スヘキ權利ヲ取得ス

第八節 參加

第一款 參加引受

第五百條 爲替手形ノ所持人カ引受拒絕證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人アルトキハ其豫備支拂人ニ引受ヲ求メタル後ニ非サレハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得ス

第五百一條 爲替手形ノ所持人ハ其旨ヲ引受拒絕證書ニ記載セシムルコトヲ要ス豫備支拂人カ引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其旨ヲ引受拒絕證書ニ記載セシムルコトヲ要ス

第五百二條 參加引受ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ヲ引受ヲ爲サシムルコトヲ得

第五百三條 參加引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス  
參加引受人カ爲替手形ニ被參加人ヲ定メサリシトキハ其引受ハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五百四條 所持人ハ引受拒絕證書ニ參加引受アリタル旨ヲ記載セシメ且其證書作成ノ費用ノ支拂ト引換ニ之ヲ參加引受人ニ交付スルコトヲ要ス

第五百五條 參加引受人ハ支拂人カ手形金額ノ支拂ヲ爲ササル場合ニ於テ被參加人ノ後者ニ對シテ支拂アラサリシ手形金額及ヒ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ但所持人カ満期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手形ヲ參加引受人ニ呈示セサルトキハ參加引受人ハ其義務ヲ免ル

第五百六條 爲替手形ノ所持人其他被參加人ノ後者ハ參加引受ニ因リテ擔保ヲ請求スル權利ヲ失フ  
第五百七條 被參加人ハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百七十五條乃至第四百七十九條ノ規定ヲ準用ス

第二款 參加支拂

第五百八條 爲替手形ノ所持人カ支拂拒絕證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人又ハ參加引受人アルトキハ所持人ハ満期日又ハ其後二日內ニ參加引受人ニ、若シ參加引受人ナキトキ又ハ參加引受人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ豫備支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メタル後ニ非サレハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

參加引受人又ハ豫備支拂人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其旨ヲ支拂拒絕證書ニ記載セシムルコトヲ要ス  
所持人カ前二項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ豫備支拂人ヲ指定シタル者又ハ被參加人及



ハ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第五百九條 爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人又ハ參加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ト雖モ之ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルトキハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第五百十條 參加支拂ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ最モ多數ノ若シテ債務ヲ免レシムル效力ヲ有スル支拂ヲ受クルコトヲ要ス

第五百十一條 豫備支拂人又ハ參加引受人ニ非サル參加支拂人カ被參加人ヲ示サザリシトキハ其支拂ハ支拂人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五百十二條 所持人ハ支拂拒絶證書ニ參加支拂アリタル旨ヲ記載セシメ且手形金額及ヒ費用ノ支拂ト引換ニ其拒絶證書及ヒ爲替手形ヲ參加支拂人ニ交付スルコトヲ要ス

第五百十三條 參加支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキハ引受人、被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得ス

第九節 拒絶證書

第五百十四條 拒絶證書ハ爲替手形ノ所持人ノ請求ニ因リ公證人又ハ執達吏之ヲ作レ

第五百十五條 拒絶證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人又ハ執達吏之ニ署名スルコトヲ要ス

一 爲替手形、其謄本及ヒ補箋ニ記載シタル事項

二 拒絶者及ヒ被拒絶者ノ氏名又ハ商號

三 拒絶者ニ對シテ爲シタル請求ノ趣旨及ヒ拒絶者カ其請求ニ應セザリシコト又ハ拒絶者ニ面會スルコト能ハサリシ理由

四 前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地及ヒ年月日

五 拒絶者ノ營業所、住所又ハ居所カ知レサル場合ニ於テ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲シタルコト

六 法定ノ場所外ニ於テ拒絶證書ヲ作ルトキハ拒絶者カ之ヲ承諾シタルコト

七 參加引受又ハ參加支拂アルトキハ參加ノ種類及ヒ被參加人ノ氏名又ハ商號

第五百十六條 數人ニ對シテ手形上ノ請求ヲ爲スヘキトキハ其請求ニ付キ一通ノ拒絶證書ヲ作ラシムルヲ以テ足ル

第五百十七條 公證人又ハ執達吏カ拒絶證書ヲ作リタルトキハ其帳簿ニ其證書ノ全文ヲ記載スルコトヲ要ス

拒絶證書カ滅失シタルトキハ利害關係人ハ其謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ有ス

第十節 爲替手形ノ複本及ヒ謄本

第五百十八條 爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ對シテ其爲替手形ノ複本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

但所持人カ受取人ニ非サルトキハ順次ニ其前者ヲ經由シテ之ヲ請求スルコトヲ要ス

振出人カ爲替手形ノ複本ヲ作リタルトキハ各裏書人ハ各通ニ其裏書ヲ爲スコトヲ要ス

第五百十九條 爲替手形ノ複本ニ其複本タルコトヲ示サザルトキハ其各通ハ獨立ノ爲替手形トシテ其效力ヲ有ス

第五百二十條 爲替手形ノ複本ヲ作リタル場合ニ於テ其一通ノ支拂アリタルトキハ他ノ各通ハ其效力ヲ失フ但引受アルモノハ此限ニ在ラス

二人以上ニ各別ニ數通ノ爲替手形ノ裏書ヲ爲シタル者又ハ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲シタル者

ハ支拂ノ時ニ於テ返還アラザリシ各通ニ付キ手形上ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス  
第五百二十一條 爲替手形ノ複本ノ所持人カ引受ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキハ他ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ記載アル爲替手形ノ所持人ハ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル一通ノ爲替手形ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得若シ其者カ之ヲ返還セサルトキハ拒絕證書ニ依リ其事實及ヒ他ノ一通又ハ數通ノ爲替手形ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコト能ハザリシコトヲ證明スルニ非サレハ其前者ニ對シテ擔保又ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第五百二十二條 爲替手形ノ所持人ハ其謄本ヲ作ルコトヲ得  
爲替手形ノ謄本ニ或事項ヲ記載シタルトキハ其事項ト原本ニ記載シタル事項トヲ區別スルコトヲ要ス

第五百二十三條 所持人カ爲替手形ノ引受ヲ求ムル爲メ其原本ヲ送付シタル場合ニ於テ其謄本ヲ作リタルトキハ之ニ其原本ノ送付先ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ記載アル謄本ノ所持人ハ原本ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十四條 引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル爲替手形ヲ受取リタル者カ之ヲ返還セサル場合ニ於テ其謄本ノ所持人カ拒絕證書ニ依リテ其事實ヲ證明スルトキハ謄本ニ署名シタル者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲シ又謄本ニ記載シタル満期日カ到來シタル後ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三章 約束手形

第五百二十五條 約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字

二 一定ノ金額

三 受取人ノ氏名又ハ商號

四 單純ナル支拂ノ約束

五 振出ノ年月日

六 一定満期日

七 振出地

第五百二十六條 振出人カ約束手形ニ支拂地ヲ記載セザリシトキハ振出地ヲ以テ其支拂地トス

第五百二十七條 一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ振出人ニ約束手形ヲ呈示スルコトヲ要ス但振出人ハ之レヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得  
所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第五百二十八條 所有人カ一覽後定期拂ノ約束手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セザリシトキハ所有人ハ呈示期間內ニ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス  
所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

振出人カ呈示ノ日附ヲ記載セザリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

第五百二十九條 第四百四十六條第四百四十九條乃至第四百五十一條第四百五十三條乃至第四百五十七條第四百五十九條乃至第四百六十四條第四百七十一條第四百八十條乃至第四百九十九條

第五百八條乃至第五百十七條及第五百二十二條ノ規定ハ約束手形ニ之ヲ準用ス

第四章 小切手

第五百三十條 小切手ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 其小切手タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額

三 支拂人ノ氏名又ハ商號

四 受取人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ支拂フヘキコト

五 單純ナル支拂ノ委託

六 振出ノ年月日

七 支拂地

第五百三十一條 小切手ノ振出人ハ自己ヲ受取人ト定ムルコトヲ得

第五百三十二條 小切手ハ一覽拂ノモノトス

第五百三十三條 小切手ノ所持人ハ其日附ヨリ一週間内ニ小切手ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル呈示ヲ爲サザリシトキハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五百三十四條 小切手ノ所持人カ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スニハ支拂拒絕證書ノ作成ニ

代ヘ支拂人ヲシテ前條第一項ニ定メタル期間内ニ支拂拒絕ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載セシメ且之ニ署名セシムルヲ以テ足ル

第五百三十五條 小切手ノ振出人又ハ所持人カ其表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行又ハ之

ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得

振出人又ハ所持人カ平行線内ニ特定セル銀行ノ商號ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ其銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得但其銀行カ其商號ヲ抹消シテ他ノ銀行ノ商號ヲ記載シ之ニ取立ノ委任ヲ爲スコトヲ妨ケス

第五百三十六條 左ノ場合ニ於テハ振出人ハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラレ

一 資金ナク又ハ信用ヲ得スシテ小切手ヲ振出シタルトキ

二 小切手ニ虛偽ノ日附ヲ記載シタルトキ

第五百三十七條 第四百四十六條第四百五十二條第四百五十五條第四百五十七條第四百五十九條

乃至第四百六十二條第四百六十四條第四百八十三條第四百八十四條第四百八十六條乃至第四百

八十九條第四百九十一條第四百九十二條第四百九十五條第四百九十六條第五百十四條第五百十

五條及ヒ第五百十七條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第五編 海商

第一章 船舶及ヒ船舶所有者

第五百三十八條 本法ニ於テ船舶トハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノヲ謂フ

本編ノ規定ハ端舟其他櫂權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫂權ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用

セス

第五百三十九條 船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ハ其從物ト推定ス

第五百四十條 船舶所有者ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受クルコト

ヲ要ス

前項ノ規定ハ總噸數二十噸未満又ハ積石數二百石未満ノ船舶ニハ之ヲ適用セス

第五百四十一條 船舶所有權ノ讓渡ハ其登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ニ之ヲ記載スルニ非ザレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百四十二條 航海中ニ在ル船舶ノ所有權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ特約ナキトキハ其航海ニ因リテ生スル損益ハ讓受人ニ歸スヘキモノトス

第五百四十三條 差押及ヒ假差押ハ發航ノ準備ヲ終ハリタル船舶ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ得ス但其船舶力發航ヲ爲ス爲メニ生シタル債務ニ付テハ此限ニ在ラス

第五百四十四條 船舶所有者ハ船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲又ハ船長其他ノ船員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ加ヘタル損害ニ付テハ航海ノ終ニ於テ船舶、運送貨及ヒ船舶所有者カ其船舶ニ付キ有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ヲ債權者ニ委付シテ責ヲ免ルルコトヲ得但船舶所有者ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ノ權利ニ付テハ之ヲ適用セス

第五百四十五條 船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得シテ更ニ航海ヲ爲サシメタルトキハ前條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス

第五百四十六條 船舶共有者ノ間ニ在リテハ船舶ノ利用ニ關スル事項ハ各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五百四十七條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ關スル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス

第五百四十八條 船舶共有者カ新ニ航海ヲ爲シ又ハ船舶ノ大修繕ヲ爲スヘキコトヲ決議シタルトキハ其決議ニ對シテ異議アル者ハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サント欲スル者ハ決議ノ日ヨリ三日内ニ他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但此期間ハ決議ニ加ハラサリシ者ニ付テハ其決議ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第五百四十九條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ付テ生シタル債務ヲ辨濟スル責ニ任ス

第五百五十條 損益ノ分配ハ每航海ノ終ニ於テ船舶共有者ノ持分ノ價格ニ應シテ之ヲ爲ス

第五百五十一條 船舶共有者間ニ組合關係アルトキト雖モ各共有者ハ他ノ共有者ノ承諾ヲ得シテ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得但船舶管理人ハ此限ニ在ラス

第五百五十二條 船舶共有者ハ船舶管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

船舶共有者ニ非サル者ヲ船舶管理人ト爲スニハ共有者全員ノ同意アルコトヲ要ス

船舶管理人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルコトヲ要ス

第五百五十三條 船舶管理人ハ左ニ掲ケタル行爲ヲ除ク外船舶共有者ニ代ハリテ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

一 船舶ノ讓渡、委付若クハ貸賃ヲ爲シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコト  
二 船舶ヲ保險ニ付スルコト  
三 新ニ航海ヲ爲スコト

四 船舶ノ大修繕ヲ爲スコト

五 借財ヲ爲スコト  
船舶管理人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス  
第五百五十四條 船舶管理人ハ特ニ帳簿ヲ備ヘ之ニ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

船舶管理人ハ每航海ノ終ニ於テ遲滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ各船舶共有者ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第五百五十五條 船舶共有者ノ持分ノ移轉又ハ其國籍喪失ニ因リテ船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ他ノ共有者ハ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取リ又ハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

社員ノ持分ノ移轉ニ因リ會社ノ所有ニ屬スル船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ合名會社ニ在テハ他ノ社員、合資會社及ヒ株式合資會社ニ在テハ他ノ無限責任社員ハ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取ルコトヲ得

第五百五十六條 船舶ノ貸借ハ之ヲ登記シタルトキハ爾後其船舶ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ對シテモ其效力ヲ生ス

第五百五十七條 船舶ノ賃借人カ商行為ヲ爲ス目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シタルトキハ其利用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ權利義務ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ船舶ノ利用ニ付キ生シタル先取特權ハ船舶所有者ニ對シテモ其效力ヲ生ス但先取特權者カ其利用ノ契約ニ反スルコトヲ知レルトキハ此限ニ在ラス

第二章 船員

第一節 船長

第五百五十八條 船長ハ其職務ヲ行フニ付キ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ船舶所有者、備船者、荷送人其他ノ利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

船長ハ船舶所有者ノ指圖ニ從ヒタルトキト雖モ船舶所有者以外ノ者ニ對シテハ前項ニ定メタル責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第五百五十九條 海員カ其職務ヲ行フニ當テ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ船長ハ監督ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第五百六十條 船長カ已ムコトヲ得サル事由ニ因リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコト能ハサルトキハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除外他人ヲ選任シテ自己ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得此場合ニ於テハ船長ハ其選任ニ付キ船舶所有者ニ對シテ其責ニ任ス

第五百六十一條 船長ハ發航前船舶ノ航海ニ支障ナキヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セルヤ否ヤヲ検査スルコトヲ要ス

第五百六十二條 船長ハ左ニ掲ケタル書類ヲ船中ニ備ヘ置クコトヲ要ス

- 一 船舶國籍證書
- 二 海員名簿
- 三 屬具目錄
- 四 航海日誌
- 五 旅客名簿

六 運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類

七 稅關ヨリ交付シタル書類  
前項第三號乃至第五號ニ掲ケタル書類ハ外國ニ航行セサル船舶ニ限り命令ヲ以テ之ヲ備フルコトヲ要セサルモノト定ムルコトヲ得

第五百六十三條 船長ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除ク外自己ニ代ハリテ船舶ヲ指揮スヘキ者ニ其職務ヲ委任シタル後ニ非サレハ積荷ノ積積及ヒ旅客ノ乗込ノ時ヨリ積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第五百六十四條 船長ハ航海ノ準備力終ハリタルトキハ遲滞ナク發航ヲ爲シ且必要アル場合ヲ除ク外豫定ノ航路ヲ變更セスシテ到達港マテ航行スルコトヲ要ス

第五百六十五條 船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リ其積荷ニ付テ生シタル債權ノ爲メ之ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第五百六十六條 船籍港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船籍港ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受ケタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミナ有ス

第五百六十七條 船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百六十八條 船長ハ船舶ノ修繕、救授又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メニ非サレハ左ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一 船舶ヲ抵當ト爲スコト

二 借財ヲ爲スコト

三 積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ買入スルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ買入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セザリシ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百六十九條 船長カ特ニ委任ヲ受ケスシテ航海ノ爲メニ費用ヲ出タシ又ハ債務ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ第五百四十四條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第五百七十條 船籍港外ニ於テ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ船長ハ管海官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ競賣スルコトヲ得

第五百七十一條 左ノ場合ニ於テハ船舶ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一 船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ヲ爲スヘキ地ニ到ルコト能ハサルトキ

二 修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ於テハ其發航ノ時ニ於ケル價額トシ其他ノ場合ニ於テハ毀損前ニ有セシ價額トス

第五百七十二條 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナルトキハ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得此

場合ニ於テハ第五百六十八條第二項ノ規定ヲ準用ス  
第五百七十三條 船長ハ遲滞ナク航海ニ關スル重要ナル事項ヲ船舶所有者ニ報告スルコトヲ要ス

船長ハ每航海ノ終ニ於テ遲滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ船舶所有者ノ承認ヲ求メ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス  
第五百七十四條 船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得但正當ノ理由ナクシテ之ヲ解任シタルトキハ船長ハ船舶所有者ニ對シ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

船長カ船舶共有者ナル場合ニ於テ其意ニ反シテ解任セラレタルトキハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得  
船長カ前項ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ遲滞ナク他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第二節 海員

第五百七十五條 船長ノ船舶所有者ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス  
第五百七十六條 海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘込ムコトヲ要ス

海員ハ船長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乘込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ス  
第五百七十七條 海員ノ服務中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス  
第五百七十八條 海員カ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケ

タルトキハ船舶所有者ハ三ヶ月ヲ超エサル期間内ノ治療及ヒ看護ノ費用ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得但其職務ヲ行フニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケタルトキハ其給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十九條 一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ノ日數ヲ延長シ又ハ不可抗力ニ因ラスシテ其里程ヲ延長シタルトキハ海員ハ其割合ニ應ジテ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ得但航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタルトキト雖モ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十條 海員カ就役ノ後死亡シタルトキハ船舶所有者ハ死亡ノ日マテノ給料ヲ支拂フコトヲ要ス

海員カ其職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ其葬式ノ費用ハ船舶所有者ノ負擔トス  
第五百八十一條 左ノ場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得

- 一 發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタルトキ
  - 二 海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ
  - 三 海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
  - 四 海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
  - 五 不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ
- 前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得

第一項第四號及ヒ第五號ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得但第四號ノ場合ニ於テ海員ニ過失アルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五百八十二條 海員カ前條第一項ニ掲ケタル事由ニ因ラスシテ雇止メラレタルキハ其服從シタル期間ニ對スル給料ノ外一ヶ月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得但雇入港外ニ於テ雇止メラレタルトキハ雇入港マテ歸航スルニ必要ナル期間ニ對スル給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十三條 左ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得

- 一 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ
- 二 自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
- 三 船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十四條 航海中船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス

第五百八十五條 海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス

海員ノ雇入ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五百八十六條 雇入期間ノ定ナキトキハ海員ハ特約アル場合ヲ除ク外船舶カ安全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸カ終ハリタル後ニ非サレハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十七條 海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

- 一 船舶カ沈没シタルコト
- 二 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト

三 船舶カ捕獲セラレタルコト

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十八條 海員ハ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十九條 第五百七十五條ノ規定ハ海員ノ債權ニ之ヲ準用ス

第三章 運送

第一節 物品運送

第五百九十條 第一款總則、物品運送ノ法律ニ關スル事項ハ本法ニ依リテ之ヲ定ム

第五百九十一條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト合シタルトキハ各當事者ハ相手方ノ請求ニ因リ運送契約書ヲ交付スルコトヲ要ス

第五百九十二條 船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコトヲ擔保ス

第五百九十三條 船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失、船員其他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免レ

第五百九十四條 法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船積シタル運送品ハ船長ニ於テ何時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ボス虞アル時ニ於テ之ヲ放棄スルコトヲ得但船長カ之ヲ運送スルコトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ於テ同種ノ運送品ノ最高ノ運送賃ヲ請求スルコトヲ得



前項ノ規定ハ船舶所有者其他ノ利害關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス  
 第五百九十四條 船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ船積スルニ必  
 要ナル準備カ整頓シタルトキハ船舶所有者ハ運滞ナク備船者ニ對シテ其通知ヲ發ズルコトヲ得  
 備船者カ運送品ヲ船積スヘキ期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日  
 ヨリ之ヲ起算ス其期間經過ノ後運送品ヲ船積シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相  
 當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得  
 前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ船積ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス

第五百九十五條 船長カ第三者ヨリ運送品ヲ受取ルヘキ場合ニ於テ其者ヲ確知スルコト能ハサル  
 トキ又ハ其者カ運送品ヲ船積セサルトキハ船長ハ直チニ備船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ  
 要ス此場合ニ於テハ船積期間内ニ限リ備船者ニ於テ運送品ヲ船積スルコトヲ得  
 第五百九十六條 備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ニ對シテ發航ノ請求ヲ爲ス  
 コトヲ得

備船者カ前項ノ請求ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ノ外運送品ノ全部ヲ船積セサルニ因リテ生  
 シタル費用ヲ支拂ヒ向ホ船舶所有者ノ請求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第五百九十七條 船積期間經過ノ後ハ備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ハ直チ  
 ニ發航ヲ爲スコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十八條 發航前ニ於テハ備船者ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ於テ備船者カ其歸航ノ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨  
 ノ三分ノ二ヲ支拂フコトヲ要ス他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ於テ備船者カ其船積港ヲ發  
 スル前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキ亦同シ

運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル後前二項ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ其船  
 積及ヒ陸揚ノ費用ハ備船者之ヲ負擔ス

備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲サリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス

第五百九十九條 備船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキト雖モ附隨ノ費用及ヒ  
 立替金ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

前條第二項ノ場合ニ於テハ備船者ハ前項ニ掲ケタルモノノ外運送品ノ價格ニ應シ共同海損、救  
 援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百條 發航後ニ於テハ備船者ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フ外第六百六條第一項ニ定メタル債務ヲ  
 辨濟シ且陸揚ノ爲メニ生スヘキ損害ヲ賠償シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ  
 爲スコトヲ得ス

第六百一條 船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者カ他ノ備船者及ヒ荷  
 送人ト共同セスシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但  
 船舶所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨ハ之ヲ控除ス

發航前ト雖モ備船者カ既ニ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタルトキハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ  
 同意ヲ得ルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

前七條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百二條 箇々の運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ運  
滞ナク運送品ヲ船積スルコトヲ要ス  
荷送人カ運送品ノ船積ヲ怠リタルトキハ船長ハ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ荷送  
人ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船積所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨ハ之ヲ控除  
ス

第六百三條 第六百一條ノ規定ハ荷送人カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六百四條 備船者又ハ荷送人ハ船積期間内ニ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付スルコトヲ要ス

第六百五條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ陸揚スル  
ニ必要ナル準備力整頓シタルトキハ船長ハ運滞ナク荷送人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要  
ス

運送品ヲ陸揚スヘキ期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ  
起算ス其期間經過ノ後運送品ヲ陸揚シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬  
ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ陸揚ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス  
個々の運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ運滞ナク運送  
品ヲ陸揚スルコトヲ要ス

第六百六條 荷送人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送契約又ハ船荷證券ノ憑旨ニ從ヒ運送貨、附  
隨ノ費用、立替金及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損、救授又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支  
拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百七條 荷送人カ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船長ハ之ヲ供託スルコトヲ得此場合  
ニ於テハ運滞ナク荷送人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

荷送人カ確知スルコト不能ナルトキ又ハ荷送人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキハ船長ハ  
運送品ヲ供託スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ運滞ナク備船者又ハ荷送人ニ對シテ其通知ヲ發ス  
ルコトヲ要ス

第六百八條 運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當時ニ於  
ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ム

第六百九條 期間ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品ノ船積著手ノ日ヨリ其陸揚終了ノ  
日ヲテシテ期間ニ依リテ之ヲ定ム但船積力不可抗力ニ因リ發航港若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ  
爲スベキトキ又ハ航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ其期間ハ之ヲ算入セス第五百九十  
四條第三項又ハ第六百五條第二項ノ場合ニ於テ船積期間又ハ陸揚期間經過ノ後運送品ノ船積又  
ハ陸揚ヲ爲シタル日數亦同シ

第六百十條 船舶所有者ハ第六百六條第一項ニ定メタル金額ノ支拂ヲ受クル爲メ裁判所ノ許可ヲ  
得テ運送品ヲ競買スルコトヲ得

船長カ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタル後ト雖モ船舶所有者ハ其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコト  
ヲ得但引渡ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキ又ハ第三者カ其占有ヲ取得シタルトキハ此限ニ在  
ラズ  
第六百十一條 船舶所有者ハ前條ニ定メタル權利ヲ行ハサルトキハ備船者又ハ荷送人ニ對スル請

求權ヲ失フ但備船者又ハ荷送人ハ其受ルタル利益ノ限度ニ於テ償還ヲ爲スコトヲ要ス  
 第六百十二條 船船ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者力更ニ第  
 三者ト運送契約ヲ爲シタルトキハ其契約ノ履行力船長ノ職務ニ屬スル範圍内ニ於テハ船船所有  
 者ノミ其第三者ニ對シテ履行ノ責ニ任ス但第五百四十四條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ妨ケス  
 第六百十三條 船船ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ其契約ハ左ノ事由ニ因  
 リテ終了ス

一 第五百八十七條第一項ニ掲ケタル事由

二 運送品力不可抗力ニ因リテ滅失シタルコト  
 第五百八十七條第二項ニ掲ケタル事由力航海中ニ生シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ジ運  
 送品ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ運送貨ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十四條 航海又ハ運送方法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタ  
 ル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ニ掲ケタル事由力發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ備船者ハ運送  
 ノ割合ニ應ジテ運送貨ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十五條 第六百十三條第二項及ヒ前條第一項ニ掲ケタル事由力運送品ノ一部ニ付テ  
 生シタルトキハ備船者ハ船船所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積ス  
 ルコトヲ得

備船者力前項ニ定メタル權利ヲ行ハント欲スルトキハ運送品力陸揚又ハ船積ヲ爲スコ  
 トヲ要ス若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十六條 第六百十三條及ヒ第六百十四條ノ規定ハ船船ノ一部又ハ箇々ノ運送品ヲ以テ運送  
 契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百十三條第一項第二號及ヒ第六百十四條第一項ニ掲ケタル事由力運送品ノ一部ニ付テ生シ  
 タルトキト雖モ備船者又ハ荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ  
 要ス

第六百十七條 船船所有者ハ左ノ場合ニ於テハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

一 船長力第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ

二 船長力第五百七十二條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ

三 船長力第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキ

第六百十八條 船船所有者ノ備船者、荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ  
 時効ニ因リテ消滅ス

第六百十九條 第三百二十八條第三百三十六條乃至第三百四十一條及ヒ第三百四十八條ノ規定ハ  
 船船所有者ニ之ヲ準用ス

第二款 船荷證券

第六百二十條 船長ハ備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後運滞ナク一通又ハ數通ノ船  
 荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百二十一條 船船所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任ス  
 ルコトヲ得

第六百二十二條 船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ名稱及ヒ國籍
- 二 船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名
- 三 運送品ノ種類、重量若クハ容積及ヒ其荷造ノ種類、箇數並ニ記號
- 四 備船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號
- 五 荷受人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコト
- 六 船積港
- 七 陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ
- 八 運送貨
- 九 數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數
- 十 船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日
- 第六百二十三條 備船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス
- 第六百二十四條 陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第六百二十五條 陸揚港外ニ於テハ船長ハ船荷證券ノ各通ノ返還ヲ受ケルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス
- 第六百二十六條 二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ船長ハ運送品ノ運送品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス船長カ第六百二十四條ノ規定ニ依リテ運送品ノ一部ヲ引渡シタル後他ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場

合ニ於テ其殘部ニ付キ亦同シ

- 第六百二十七條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ其一人カ他ノ所持人ニ先チテ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フ
- 第六百二十八條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ船長カ未タ運送品ノ引渡ヲ爲サザルトキハ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者他ノ所持人ニ先チテ其權利ヲ行フ
- 第六百二十九條 第三百三十四條第三百三十五條第四百五十五條及ヒ第四百八十三條ノ規定ハ船荷證券ニ之ヲ準用ス
- 第二節 旅客運送
- 第六百三十條 記名ノ乗船切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス
- 第六百三十一條 旅客ノ航海中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス
- 第六百三十二條 旅客カ契約ニ依リ船中ニ携帯スルコトヲ得ル手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ特約アルニ非サレハ別ニ運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス
- 第六百三十三條 旅客カ乘船時期マテニ船舶ニ乘込マサルトキハ船長ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス
- 第六百三十四條 發航前ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得
- 發航後ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六百三十五條 旅客カ發航前ニ死亡、疾病其他一身ニ關スル不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ掲ケタル事由カ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有者ハ其選擇ニ從ヒ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求シ又ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ請求スルコトヲ得

第六百三十六條 航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當ノ住居及ヒ食料ヲ供スルコトヲ要ス但旅客ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ他ノ船舶ヲ以テ上陸港マテ旅客ヲ運送スルコトヲ提供シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百三十七條 旅客運送契約ハ第五百八十七條第一項ニ掲ケタル事由ニ因リテ終了ス若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百三十八條 旅客カ死亡シタルトキハ船長ハ最モ其相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

第六百三十九條 第三百五十一條第一項第三百五十二條第五百九十一條第五百九十二條第五百九十四條及ヒ第六百十八條ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第六百四十條 旅客運送ヲ爲ス爲メ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ船舶所有者ト備船者トノ關係ニ付テハ前節第一款ノ規定ヲ準用ス

第四章 海損

第六百四十一條 船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ハ之ヲ共同海損トス

前項ノ規定ハ危險カ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テ利害關係人ノ過失者ニ對スル求償ヲ妨ケス

第六百四十二條 共同海損ハ之ニ因リテ保存スルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應シテ各利害關係人之ヲ分擔ス

第六百四十三條 共同海損ノ分擔額ニ付テハ船舶ノ價格ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トシ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トス但積荷ニ付テハ其價格中ヨリ減失ノ場合ニ於テ支拂フコトヲ要セザル運送貨其他ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第六百四十四條 前二條ノ規定ニ依リ共同海損ヲ分擔スヘキ者ハ船舶ノ到達又ハ積荷ノ引渡ノ時ニ於テ現存スル價額ノ限度ニ於テノミ其實ニ任ス

第六百四十五條 船舶ニ備附ケタル武器、船員ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料並ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價額ヲ算入セス但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人之ヲ分擔ス

第六百四十六條 船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ナクシテ船積シタル荷物又ハ屬具目錄ニ記載セザル屬具ヲ加ヘタル損害ハ利害關係人ニ於テ分擔スルコトヲ要セス

甲板ニ積込ミタル荷物ニ加ヘタル損害亦同シ但沿岸ノ小航海ニ在リテハ此限ニ在ラス

前二項ニ掲ケタル積荷ノ利害關係人ト雖モ共同海損ヲ分擔スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第六百四十七條 共同海損タル損害ノ額ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル船舶ノ價格又ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル積荷ノ價格ニ依リテ之ヲ決定ム但積荷ニ付テハ其減失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セザル一切ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第三百三十八條ノ規定ハ共同海損ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十八條 船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ニ積荷ノ實價ヨリ低キ價額ヲ記載シタルトキハ其積荷ニ加ヘタル損害ノ額ハ其記載シタル價額ニ依リテ之ヲ決定ス

積荷ノ實價ヨリ高キ價額ヲ記載シタルトキハ其積荷ノ利害關係人ハ其記載シタル價額ニ應シテ  
共同海損ヲ分擔スル積荷ノ價額ニ影響ヲ及ホスヘキ事項ニ付キ虛偽ノ記載ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準  
用ス

第六百四十九條 第六百四十二條ノ規定ニ依リテ利害關係人カ共同海損ヲ分擔シタル後船舶、其  
屬具若クハ積荷ノ全部又ハ一部カ其所有者ニ復シタルトキハ其所有者ハ價金中ヨリ救助ノ費用  
及一部ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ノ額ヲ控除シタルモノヲ返還スルコトヲ要ス

第六百五十條 船舶カ雙方ノ船員ノ過失ニ因リテ衝突シタル場合ニ於テ雙方ノ過失ノ輕重ヲ判定  
スルコト能ハサルトキハ其衝突ニ因リテ生シタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔ス

第六百五十一條 共同海損又ハ船舶ノ衝突ニ因リテ生シタル債權ハ一年ヲ經過シタルトキ其時效  
ニ因リテ消滅ス

第六百五十二條 前項ノ期間ハ共同海損ニ付テハ其計算終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第六百五十三條 海上保險契約ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルキ損害ノ填補ヲ以  
テ其目的トス

第六百五十四條 海上保險契約ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ填補スル責ニ任ス

第六百五十五條 保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ填補スル責ニ任ス但保險價  
額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依  
リテ之ヲ定ム

第六百五十六條 船舶ノ保險ニ付テハ保險者ノ責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保險價額ト  
ス

第六百五十七條 積荷ノ保險ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ船積並ニ保險ニ關ス  
ル費用ヲ以テ保險價額トス

第六百五十八條 積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保險價額ヲ  
定メサリシトキハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定ス

第六百五十九條 一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ荷物又ハ底荷  
ノ船積ニ著手シタル時ヲ以テ始マル

第六百六十條 積荷ヲ保險ニ付シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成立ノ時ヲ  
以テ始マル

第六百六十一條 前二項ノ場合ニ於テ保險者ノ責任ハ到達港ニ於テ荷物又ハ底荷ノ陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終  
ハル但其陸揚カ不可抗力ニ因ラスシテ遅延シタルトキハ其終了スヘカリシ時ヲ以テ終ハル

第六百六十二條 積荷ヲ保險ニ付シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成立ノ時ヲ  
以テ始マル

前條第三項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第六百六十一條 海上保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ其船舶ノ名稱、國籍並ニ種類、船長ノ氏名及ヒ發航港、到達港又ハ航港ノ定アルトキハ其港名

二 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ船舶ノ名稱、國籍並ニ種類、船積港及ヒ陸揚港

第六百六十二條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ航海ヲ變更シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

到達港ヲ變更シ其實行ニ著手シタルトキハ保險シタル航路ヲ離レサルトキト雖モ航海ヲ變更シタルモノト看做ス

第六百六十三條 被保險者カ發航ノ爲シ若クハ航海ヲ繼續スルコトヲ怠リ又ハ航路ヲ變更シ其他著シク危險ヲ變更若クハ増加シタルトキハ保險者ハ其變更又ハ増加以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更又ハ増加カ事故ノ發生ニ影響ヲ及ボササリシトキ又ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十四條 保險契約中ニ船長ヲ指定シタルトキト雖モ船長ノ變更ハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ボラス

ホサス

第六百六十五條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ船舶ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十六條 保險契約ヲ爲スニ當タリ積荷ヲ積込ムヘキ船舶ヲ定メサリシ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其積物ヲ船積シタルコトヲ知リタルトキハ運滯カ保險者ニ對シテ船舶ノ名稱及ヒ國籍ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第六百六十七條 保險者ハ左ニ掲ケタル損害又ハ費用ヲ填補スル責ニ任セス

一 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵、其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害

二 船舶又ハ運送貨ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ發航ノ當時安全ニ航海ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲サス又ハ必要ナル書類ヲ備ヘサルニ因リテ生シタル損害

三 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ船舶者、荷送人又ハ荷受人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害

四 水先案内、入港料、燈臺料、檢疫料其他船舶又ハ積荷ニ付キ航海ノ爲メニ出タル通常ノ費用

第六百六十八條 共同海損ニ非サル損害又ハ費用カ其計算ニ關スル費用ヲ算入セスシテ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ填補スル責ニ任セス

右者損害又ハ費用カ保險ノ價額百分ノ二ヲ超スタルトキハ保險者ハ其金額ヲ支拂フコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス

第六百六十九條 保險ノ目的ヲ積荷ガ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷ガ毀損シタル狀況ニ於ケル價格ノ毀損セサル狀況ニ於テ有スベキガリシ價格ニ對スル割合ヲ以テ保險價格ノ一部ヲ填補スル責ニ任ス

第六百七十條 航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタルトキハ其賣却ニ依リテ得ル代價ノ中ヨリ運送貨其他ノ費用ヲ控除シタルモノトシテ保險價額ト差額以テ保險者ノ負擔トス但保險價格ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ第三百九十一條ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ場合ニ於テ買主カ代價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲スコトヲ要ス但其支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ買主ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

第六百七十一條 左ノ場合ニ於テハ被保險者ハ保險ノ目的ヲ保險者ニ委任シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

- 一 船舶カ沈没シタルトキ
- 二 船舶ノ行方ガ知レサルトキ
- 三 船舶ガ修繕スルコト能ハザルニ至リタルトキ

四 船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

五 船舶又ハ積荷カ官以處分ニ依リテ押收セラレ六ヶ月間解放セラレザルトキ

第六百七十二條 船舶ノ存否カ六ヶ月間分明ナラザルトキハ其船舶ノ行方ノ知レサルモノトシテ保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキト雖モ被保險者ハ委任ヲ爲スコトヲ得但船舶ガ保險期間内ニ滅失モ辨リシコトヲ證明アリタルトキハ其委任ハ無効トス

第六百七十三條 第六百七十一條第三號ノ場合ニ於テ船長カ遲滞ナク他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シタルトキハ被保險者ハ其積荷ヲ委任スルコトヲ得ス

第六百七十四條 被保險者カ委任ヲ爲シシ限欲スルトキハ三ヶ月内ニ保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ第六百七十一條第一號第三號及ヒ第四號ノ場合ニ於テハ被保險者カ其事由ヲ知りタル時ヨリ之ヲ起算ス

再保險ノ場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ其被保險者カ自己ノ被保險者ヨリ委任ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス

第六百七十五條 委任ハ單純ナル委任ヲ要ス

委任ハ保險ノ目的ノ全部ニ付テ之ヲ爲スコトヲ要ス但委任ノ原因カ其一部ニ付テ生シタルトキハ其部分ニ付テノ之ヲ爲スコトヲ得

保險價額ノ一部ヲ保險ニ附シタル場合ニ於テハ委任ハ保險金額ノ保險價格ニ對スル割合ニ應ジテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百七十六條 保險者カ委任ヲ承認シタルトキハ後日其委任ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第六百七十七條 保險者ハ委任ニ因リ被保險者カ保險ノ目的ニ付テ有セル一切ノ權利ヲ取得ス



被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スルコトヲ要ス  
 第六百七十八條 被保險者ハ委付ヲ爲スニ當タリ保險者ニ對シ保險ノ目的ニ關スル他ノ保險契約  
 並ニ其負擔ニ屬スル債務ノ有無及ヒ其種類ヲ通知スルコトヲ要ス  
 保險者ハ前項ノ通知ヲ受クルマテハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス  
 保險金額ノ支拂ニ付キ期間ノ定アルトキハ其期間ハ保險者カ第一項ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之  
 ヲ起算ス

第六百七十九條 保險者カ委付ヲ承認セサルトキハ被保險者ハ委付ノ原因ヲ證明シタル後ニ非サ  
 レハ保險金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス

第六章 船舶債權者

第六百八十條 左ニ掲ケタル債權ヲ有スル者ハ船舶、其屬具及ヒ未タ受取ラサル運送貨ノ上ニ先  
 取特權ヲ有ス

- 一 船舶並ニ其屬具ノ競賣ニ關スル費用及ヒ競賣手續開始後ノ保存費
- 二 最後ノ港ニ於ケル船舶及ヒ其屬具ノ保存費
- 三 航海ニ關シ船舶ニ課シタル諸稅
- 四 水先案内料及ヒ挽船料
- 五 救援並ニ救助ノ費用及ヒ船舶ノ負擔ニ關スル共同海損
- 六 航海繼續ノ必要ニ因リテ生シタル債權
- 七 雇傭契約ニ因リテ生シタル船長其他ノ船員ノ債權
- 八 船舶カ其買入又ハ製造ノ後未タ航海ヲ爲ササル場合ニ於テ其買入又ハ製造並ニ機裝ニ因リ

テ生シタル債權及ヒ最後ノ航海ノ爲メニスル船舶ノ機裝、食料並ニ燃料ニ關スル債權

九 第二號、第四號乃至第六號及ヒ前號ニ掲ケタルモノヲ除ク外第五百四十四條ノ規定ニ依リ  
 テ委付ヲ許シタル債權

第六百八十一條 船舶債權者ノ先取特權ハ運送貨ニ付テハ其先取特權ノ生シタル航海ニ於ケル運  
 送貨ノ上ニノミ存在ス

第六百八十二條 船舶債權者ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其優先權ノ順位ハ第六百八  
 十條ニ掲ケタル順序ニ從フ但同條第四號乃至第六號ノ債權間ニ在リテハ後ニ生シタルモノ前ニ  
 生シタルモノニ先ツ

同一順位ノ先取特權者數人アルトキハ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ受ク但第六百八十條第  
 四號乃至第六號ノ債權カ同時ニ生セサリシ場合ニ於テハ後ニ生シタルモノ前ニ生シタルモノ  
 先ツ

先取特權カ數回ノ航海ニ付テ生シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ拘ハラヌ後ノ航海ニ付テ生  
 シタルモノ前ノ航海ニ付テ生シタルモノニ先ツ

第六百八十三條 船舶債權者ノ先取特權ト他ノ先取特權ト競合スル場合ニ於テハ船舶債權者ノ先  
 取特權ハ他ノ先取特權ニ先ツ

第六百八十四條 船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人ハ其讓渡ヲ登記シタル後  
 先取特權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ  
 一個月ヲ下ルコトヲ得ス  
 先取特權者カ前項ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲サザリシトキハ其先取特權ハ消滅ス

第六百八十五條 船舶債權者ノ先取特權ハ其發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス  
 第六百八十六條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得  
 船舶ノ抵當權ハ其屬具ニ及ブ  
 船舶ノ抵當權ニハ不動産ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス  
 第六百八十七條 船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ先テ之ヲ行フコトヲ得  
 第六百八十八條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス  
 第六百八十九條 本章ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

〔參照〕 明治二十三年法律第三十二號商法第三編ハ破産ニ關スル條章ナリ

商法施行法 (明治三十二年三月法律第四十九號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル商法施行法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

- 商法施行法
- 第一條 商法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外舊法ノ規定ヲ準用ス
  - 第二條 商事ニ關スル特別ノ法令ハ商法施行ノ後ト雖モ仍ホ其效力ヲ存ス
  - 第三條 特別ノ法令中舊商法ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ舊商法ハ商法施行ノ後ト雖モ仍ホ其效力ヲ存ス
  - 第四條 商法施行前ヨリ商業ヲ營ム未成年者、妻及ヒ後見人ハ商法ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

トヲ要ス

- 第五條 商法施行前ニ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ商法施行ノ日ヨリ其會社ノ業務ニ關シテ之能力者ト看做ス
- 第六條 商法第七條第二項ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ定メタル制限ニモ亦之ヲ適用ス
- 第七條 商法第八條ニ定メタル小商人ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第八條 商法施行前ニ舊法ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ハ商法ノ規定ニ從ヒテ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス
- 第九條 商法施行前ニ登記シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其事項カ消滅シタル場合ニ於テ商法施行前ニ登記ヲ爲サリシトキハ當事者ハ其施行ノ後遲滞ナク登記ヲ爲スコトヲ要ス
- 第十條 商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ノ社名ハ商法ノ規定ニ從ヒテ登記シタル商號ト同一ノ效力ヲ有ス
- 第十一條 商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ其社名中ニ合名會社ナル文字ヲ用キサルモノハ其施行ノ日ヨリ三個月内ニ商法第十七條ノ規定ニ從ヒテ其社名ヲ改メ且其登記ヲ爲スコトヲ要ス
- 第十二條 會社ノ業務ヲ執行スル社員カ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル
- 第十三條 商法第十八條ノ規定ハ商法施行前ヨリ使用スル商號ニハ之ヲ適用セズ
- 第十四條 商法第十九條ノ規定ハ舊商法施行前ヨリ使用スル商號ニハ之ヲ適用セズ
- 第十五條 商法施行後ニ商號ノ登記ヲ爲シタル者ト雖モ舊商法施行前ヨリ同一又ハ類似ノ商號ヲ使用スル

者ニ對シテハ商法第二十條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス

第十四條 商法第十九條第二十條第二十二條第一項及ヒ第二百八十九條第三項ニ掲ケタル市町村ハ市制又ハ町村制ヲ施行セザル地方ニ在リテハ從來ノ町村其他之ニ類スル區域トシ東京市、京都市及ヒ大阪市ニ在リテハ其各區トス

第十五條 商法施行前ニ東京市又ハ大阪市ニ於テ商號ノ登記ヲ爲シタル者ハ商法施行ノ日ヨリ六个月内ニ其市ニ存スル他ノ登記所ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ニ定メタル登記ヲ爲サザリシ者ハ其登記ヲ爲サザリシ登記所ノ管轄區域内ニ於テハ商法第二十條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス

第十六條 商法第二十二條第二項ノ適用ニ付テハ北海道ハ之ヲ一府縣ト看做ス

第十七條 商法第二十八條ノ規定ハ商法施行前ニ作リタル商業帳簿ニモ亦之ヲ適用ス

第十八條 代務人ニハ商法施行ノ日ヨリ支配人ニ關スル規定ヲ適用ス

第十九條 商法施行前ヨリ支配人又ハ支配役ト稱スル者カ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有セザルトキハ主人ハ商法施行ノ日ヨリ三個月内ニ其名稱ヲ改ムルコトヲ要ス

主人カ前項ノ期間内ニ支配人又ハ支配役ノ名稱ヲ改メザリシトキハ其者ハ商法第三十條ニ定メタル權限ヲ有スルモノト看做ス

第二十條 商法第三十二條第三項ノ規定ハ舊商法第五十條ノ規定ニ反シテ爲シタル行爲ニ之ヲ準用ス但一年ノ期間ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

主人カ商法施行前ニ前項ノ行爲ヲ知リタルトキハ二週間ノ期間モ亦其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

ヲ適用ス

第二十二條 商法中會社ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ設立シタル會社ニモ之ヲ適用ス

第二十三條 商法第四十七條ニ定メタル期間ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十四條 商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ未ダ設立ノ登記ヲ爲ササルモノハ商法施行ノ日ヨリ一個月内ニ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作り且商法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條 商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル合名會社ハ商法施行ノ日ヨリ一個月内ニ本店ノ所在地ニ於テハ支店、支店ノ所在地ニ於テハ本店並ニ他ノ支店及ヒ社員ノ出資ノ種類並ニ財産ヲ目的トスル出資ノ價格ヲ登記スルコトヲ要ス

第二十六條 商法第五十一條第二項第三項及ヒ第五十二條ノ規定ハ合名會社カ設立ノ登記ヲ爲シタル後商法施行前ニ支店ヲ設ケ又ハ其本店若クハ支店ヲ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス但登記期間ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十七條 會社ノ業務ヲ執行スル社員カ前二條ノ規定ニ依リ爲スヘキ登記ヲ怠リタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二十八條 商法第六十條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ舊商法第四百四條ノ規定ニ反シテ爲シタル行爲ニ之ヲ準用ス

第二十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 商法第七十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合名會社ニハ之ヲ適用セス

第三十條 合名會立ノ目的タル事業ノ成功カ商法施行前ニ不能ト爲リタルトキハ裁判所カ解散ヲ命シタル場合ヲ除外其會社ハ商法ノ施行ト同時ニ解散シタルモノト看做ス

第三十一條 合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選出セサルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第七十六條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十二條 合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ既ニ清算人ヲ選任シタルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第七十六條及ヒ第九十條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十四條 合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選任セサルトキハ總社員ノ同意ヲ以テ會社財產ノ處分方法ヲ定ムルコトヲ得此場合ニ於テハ商法施行ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第三十五條 合名會社カ商法施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ清算ハ舊商法ノ規定ニ依リテ之ヲ爲ス

第三十六條 合名會社ニ於テ商法施行前ニ清算人ノ解任又ハ變更アリタルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第九十七條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十七條 商法第三十三條ノ規定ハ商法施行前ニ解散シタル合名會社ニモ亦之ヲ適用ス

第三十八條 商法施行前ニ設立シタル合資會社ニハ舊商法ノ規定ヲ適用ス

第二十三條第二十五條乃至第三十二條及ヒ前三條ノ規定ハ前項ノ會社ニ之ヲ適用ス

第三十九條 商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ其取引ニ關スル一切ノ書類ニ商法施行前ニ設立シタル會社タルコトヲ示スコトヲ要ス

業務擔當社員カ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第四十條 商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ舊商法第五十五條第二項ノ規定ニ從ヒ其組織ヲ變更シテ之ヲ商法ニ定メタル合資會社、株式會社又ハ株式合資會社ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ總會ハ直チニ新會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ決議スルコトヲ要ス

第四十一條 商法第七十八條第七十九條第一項第二項及ヒ第二百五十四條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ適用ス

第四十二條 商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ商法ノ規定ニ從ヒテ合併ヲ爲スコトヲ得但合併後存續シ又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ハ商法ニ定メタル種類ノ一タルコトヲ要ス

合併ノ決議ハ舊商法第五十一條第二項ノ規定ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條 商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ニ於テハ其發起人ハ七人以上ナルコトヲ要セス

第四十四條 商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ト雖モ其發起人カ未タ株主ノ募集ニ著手セサルトキハ之ニ商法ノ規定ヲ適用ス

第四十五條 株式會社ノ發起人カ商法施行前ニ株主ノ募集ニ著手シタルトキハ舊商法ノ規定ニ從ヒテ會社ノ設立ヲ爲スコトヲ得但商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第四十六條 商法施行前ニ創業總會ニ於テ定款ヲ確定シタル場合ニ於テハ商法ノ規定ニ從ヒテ其

定款ヲ變更スルコトヲ要ス

第四十七條 商法第三百十條ノ規定ハ前二條ノ場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十八條 商法第六十三條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依リテ招集シタル創業總會ノ決議ニ之ヲ準用ス但同條第二項ノ期間ハ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四十九條 第四十五條ノ場合ニ於テ商法施行前ニ株式總數ノ引受アリタルトキハ其施行ノ日ヨリ商法施行後ニ株式總數ノ引受アリタルトキハ其日ヨリ六个月内ニ發起人方創業總會ヲ招集セサルトキハ株式申込人ハ其中込ヲ取消スコトヲ得

第五十條 第四十五條及ヒ第四十六條ノ場合ニ於テハ株式會社ハ各株ニ付キ株金ノ四分ノ一ノ拂込アリタル後二週間内ニ商法第四百十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條 商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ニシテ其定款ニ商法第二百十條第一號乃至第七號ニ掲ケタル事項ヲ定メサルモノハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ其定款ヲ變更スルコトヲ要ス

第五十二條 商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社ハ商法施行ノ日ヨリ三个月内ニ本店ノ所在地ニ於テハ支店、支店ノ所在地ニ於テハ本店並ニ他ノ支店及ヒ會社カ公告ヲ爲ス方法並ニ監査役ノ氏名、住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第五十三條 商法施行前ニ設立シタル株式會社カ登記シタル事項中ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ商法施行前ニ登記ヲ爲サザリシトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

舊商法ノ規定ニ依リ登記スルべき事項カ商法施行前ニ生シタル場合ニ於テハ舊商法ニ登記期間ノ定キキトキニ限り前項ノ規定ヲ準用ス

第五十四條 取締役カ前三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第五十五條 商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ株式ノ金額カ商法第四百十五條第二項ノ規定ニ反スルモ舊商法及ヒ舊商法施行條例ノ規定ニ反セサル場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依ルコトヲ得商法施行後ニ新株ヲ發行スルトキ亦同シ

第五十六條 前項ノ規定ハ商法施行後ニ株式ノ金額ヲ變更スル場合ニハ之ヲ適用セス

第五十七條 商法中株券ニ關スル規定ハ商法施行前ニ發行シタル假株券ニモ亦之ヲ適用ス

第五十八條 商法施行前ニ發行シタル株券及ヒ假株券ハ商法第四百十八條又ハ第二百十八條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス但商法施行後ニ株金ヲ拂込シタル場合ニ於テハ前二拂込ミタル金額及ヒ新ニ拂込ミタル金額ヲ假株券ニ記載スルコトヲ要ス

第五十九條 舊商法第二百十二條乃至第二百五十五條ノ規定ハ商法施行前ニ株式ヲ讓渡シタル者ニシテ舊商法第八十三條ノ規定ニ依リ擔保義務ナキ者ニハ之ヲ適用セス

第六十條 法令ノ規定ニ依リ日本人ノミナリテ組織スヘキ株式會社及ヒ日本人ノミナリテ組織スルコトヲ條件トシテ特別ノ權利ヲ有スル株式會社ハ無記名式ノ株券ヲ發行スルコトヲ得ス若シ之ニ違反シタルトキハ其株券ハ無効トシ最後ノ記名株主ヲ以テ株主トス

取締役カ前項ノ規定ニ反シテ無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處

セラル

第六十一條 舊商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ株主ノ議決權ノ制限カ商法第六十二條ノ規定ニ反スルモ定款ノ定ムル所ニ依リテ得但商法施行後ニ其制限ヲ變更スル場合ハ此限ニ在ラス

第六十二條 商法第六十三條ノ規定ハ株主總會カ商法施行前ニ決議ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但同條第二項ノ期間ハ商法施行日ヨリ之ヲ起算ス

第六十三條 商法第六十七條但書ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役及ヒ監査役ニハ之ヲ適用セズ

第六十四條 商法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ト雖モ其禁治産ニ因リテ退任ス

第六十五條 商法施行前ニ選任シタル取締役ハ其施行ノ後遲滞ナク定款ニ定ムタル員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第六十六條 商法施行前ニ設立シタル株式會社ニ於テ其施行後ニ株金ヲ拂込アリタルトキハ取締役ハ其拂込ノ年月日ハ株主名簿ニ記載スルコトヲ要ス

第六十七條 商法施行前ニ設立シタル株式會社ヲ取締役ハ其施行ノ後遲滞ナク社債ノ總額及ヒ其償還ノ方法ヲ社債原簿ニ記載スルコトヲ要ス

第六十八條 株式會社カ商法施行前ニ其資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滞ナク株主總會ヲ召集シテ之ヲ報告スルコトヲ要ス

第六十九條 株式會社カ商法施行前ニ其資本ノ半額ヲ失ヒタル場合ニ於テハ取締役ハ商法施行ノ後遲滞ナク株主總會ヲ召集シテ之ヲ報告スルコトヲ要ス

第七十條 商法第七十五條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニハ之ヲ適用セズ

第七十一條 舊商法第八十九條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニシテ之ヲ適用ス

第七十二條 商法施行前ニ舊商法第二百二十九條又ハ第二百二十九條ノ規定ニ依リテ提起シタル訴訟ハ商法ノ規定ヲ適用セズ

第七十三條 商法施行前ニ選任シタル監査役ハ其任期カ二年ヨリ長キトキト雖モ其任期間在任ス

第七十四條 商法第九十條ニ掲ケタル書類ハ商法施行前ニ總會召集ノ通知ヲ發シタル場合ニ限リ會日マテニ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第七十五條 商法第九十六條ノ規定ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル株式會社カ其登記後二年以上開業ヲ爲スコト能ハサルモ下認ムル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第七十六條 明治二十三年法律第六十號ハ商法施行日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 株式會社カ商法施行前ニ債券發行ヲ認許ヲ得タル場合ニ於テハ舊法ノ規定ニ依リテ其募集ヲ完了スルコトヲ得

第七十八條 商法第二百四條第二項ノ規定ハ株式會社カ商法施行前ニ債券發行ノ認可ヲ得タル場合ニハ之ヲ適用セズ

第六十九條 取締役カ前條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ過料ニ處セラレ

第七十條 商法第七十五條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニハ之ヲ適用セズ

第七十一條 舊商法第八十九條ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル取締役ニシテ之ヲ適用ス

第七十二條 商法施行前ニ舊商法第二百二十九條又ハ第二百二十九條ノ規定ニ依リテ提起シタル

訴訟ハ商法ノ規定ヲ適用セズ

第七十三條 商法施行前ニ選任シタル監査役ハ其任期カ二年ヨリ長キトキト雖モ其任期間在任ス

第七十四條 商法第九十條ニ掲ケタル書類ハ商法施行前ニ總會召集ノ通知ヲ發シタル場合ニ限

リ會日マテニ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第七十五條 商法第九十六條ノ規定ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル

株式會社カ其登記後二年以上開業ヲ爲スコト能ハサルモ下認ムル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第七十六條 明治二十三年法律第六十號ハ商法施行日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 株式會社カ商法施行前ニ債券發行ヲ認許ヲ得タル場合ニ於テハ舊法ノ規定ニ依リテ

其募集ヲ完了スルコトヲ得

第七十八條 商法第二百四條第二項ノ規定ハ株式會社カ商法施行前ニ債券發行ノ認可ヲ得タル場

合ニハ之ヲ適用セズ

第七十九條 株式會社カ商法施行前ニ債券發行ノ認許ヲ得タル場合ニ於テ一時ニ全額ノ拂込ヲ爲サシメサルトキハ第一回ノ拂込アリタル後二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ拂込ミタル金額及ヒ商法第七十三條第三號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第八十條 商法施行前ニ社債ノ全額又ハ一部ノ拂込アリタルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ拂込ミタル金額及ヒ商法第七十三條第三號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第八十一條 商法施行前ニ發行シタル債券ハ商法第二百五條ノ規定ニ違フモ之ヲ改ムルコトヲ要セス

第五十七條但書ノ規定ハ債券ニ之ヲ準用ス

第八十二條 商法第二百九條第二項ノ規定ハ商法施行前ニ假決議ヲ爲シテ未タ其通知ヲ發セサル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第八十三條 商法第二百九條第四項ノ規定ハ株式會社カ商法施行前ニ定款變更ノ決議又ハ假決議ヲ爲シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第八十四條 株式會社カ商法施行前ニ資本ノ増加若クハ減少ノ決議又ハ假決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ舊商法ノ規定ニ依リテ其増加又ハ減少ヲ爲スコトヲ得

商法第二百二十八條乃至第三百三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十五條 商法施行前ニ爲シタル決議又ハ假決議ニ依リテ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ商法施行前ニ新株ニ付キ拂込ミタル株金額ノ登記ヲ爲サザリシトキハ其施行ノ日ヨリ商法施行後ニ拂込アリタルトキヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十六條

株式會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ解散ノ決議ヲ爲ササルトキハ取締役ハ商法施行ノ後遲滞ナク株主ニ對シテ解散ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第八十七條

取締役カ前二條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラレ

第八十八條

株式會社ノ清算人ハ株主總會又ハ裁判所カ商法施行前ニ與ヘタル訓示ヲ遵守スルコトヲ要ス

第八十九條

商法施行前ニ舊商法第二百四十二條ノ規定ニ依リテ選任シタル代人ハ商法施行ノ後雖モ其權限ヲ保有ス

第九十條

第三十三條ノ規定ハ商法施行前ニ解散シタル株式會社ノ清算人カ爲スヘキ公告ニ之ヲ適用ス

第九十一條

第二十六條第三十條乃至第三十二條第三十五條及ヒ第三十六條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ準用ス

第九十二條

商法施行前ニ日本ニ支店ヲ設ケタル外國會社ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケルコトヲ得商法施行前ニ外國人カ日本ニ於テ設立シタル會社及ヒ組合ニ付キ亦同シ

第九十三條

商法施行前ニ舊法中會社ニ關スル罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ商法施行ノ後ニ雖モ其罰則ヲ適用ス

第九十四條

私設鐵道株式會社ニハ明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例ノ改正ニ至ルマテ舊商法及ヒ其附屬法令中株式會社ニ關スル規定ヲ適用ス

第九十五條

(明治三十三年三月法律第六十九號第三百三條規定ニ因リ消滅)

第九十七條 (同上)

第九十八條 (同上)

第九十九條 (同上)

第一百條 (同上)

第一百一條 (同上)

第一百二條 (同上)

第一百三條 (同上)

第一百四條 (同上)

第一百五條 (同上)

第一百六條 (同上)

第一百七條 (同上)

第一百八條 (同上)

第一百九條 (同上)

第一百十條 (同上)

第一百十一條 (同上)

第一百十二條 (同上)

第一百十三條 (同上)

第一百十四條 (同上)

第一百十五條 (同上)

第一百十六條 (同上)

第一百十七條 明治十年第六十六號布告利息制限法第五條ノ規定ハ商事ニハ之ヲ適用セズ

第一百十八條 商法施行前ニ設定シタル質權ノ實行ニ付テハ別段ノ意思表示アリタル場合ヲ除外

競買法ノ規定ヲ適用ス但取引所ノ相場アル有價證券其他ノ商品ニ在リテハ執達吏ハ取引所ニ於

テ之ヲ賣却スルコトヲ得

前項ノ規定ハ留置權者カ其留置物ヲ賣却スル場合ニ之ヲ準用ス

第一百十九條 商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ

除ク外舊商法ノ規定ヲ適用ス但民法施行法第三十條第三十一條及ヒ第三十三條ノ準用ヲ妨ク

ス

第一百二十條 商法第二百八十一條ノ規定ハ商法施行前ニ發行シタル指圖證券及ヒ無記名證券ニ

亦之ヲ適用ス

第一百二十一條 商法第二百九十九條ノ規定ハ商法施行前ニ約シタル匿名組合ニモ亦之ヲ適用

ス

第一百二十二條 湖川、港灣及ヒ沿岸小航海ノ範圍ハ選信大臣之ヲ定ム

第一百二十三條 手形ノ所持人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書ノ作成カ商法施行前ニ

在リタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ支拂拒絕證書ノ作成カ商法施行後ニ在リタル場合ニ於テ

ハ其作成ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

裏書人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ商法施行前ニ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨ

リテ消滅ス



商法施行後ニ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルキハ時効ニ因リテ消滅ス  
 商法施行前ニ進行ヲ始メタル時効ノ殘期カ商法施行ノ日ヨリ起算シテ六ヶ月ヨリ短シキハ時効ハ其殘期ヲ經過スルニ因リテ完成ス  
 第百三十四條 明治十九年法律第二號公證人規則第三十八條ノ規定ハ公證人カ拒絕證書ヲ作ル場合ニハ之ヲ適用セス

第百三十五條 外國ニ於テ爲シタル手形行爲ノ要件ハ行爲地ノ法律ニ依ル  
 前項ノ規定ニ拘ハラズ外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備スルトキハ外國ノ法律ニ依リテ要件ヲ具備セザルトモ日本ニ於テ爲シタル手形行爲カ有效トス日本人カ外國ニ於テ日本人ニ對シテ爲シタル手形行爲カ日本ノ法律ニ定メタル要件ヲ具備スル時亦同シ  
 第百三十六條 外國ニ於テ手形上ノ權利行使又ハ保全スル爲メニ爲ス行爲ノ方式ハ行爲地ノ法律ニ依ル  
 第百三十七條 商法第五百五十二條第三項ノ規定ハ商法施行前ニ選任シタル船舶管理人ニモ亦之ヲ適用ス

第百三十八條 商法第五百五十六條ノ規定ハ商法施行前ニ爲シタル船舶ノ貸賃借ニモ亦之ヲ適用ス  
 第百三十九條 商法第五百五十八條乃至第五百六十八條及第五百七十條乃至第五百七十四條ノ規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ選任シタル船長ニモ亦之ヲ適用ス  
 第百四十條 商法第五百六十二條第二項第三號乃至第五號ノ掲ケタル書類ノ書式ハ遞信大臣之ヲ定メ

第百三十一條 委付ノ原因カ商法施行後ニ生ズルトキハ其施行前ニ爲シタル保險契約ニ付テモ被保險者ハ商法ノ規定ニ從ヒテ委付ヲ爲ス  
 第百三十二條 船舶ノ存否カ商法施行ノ日ヨリ六ヶ月間分明ナラサルトキハ未ダ商法第九百六十六條第二項ノ期間ヲ經過セザルトキハ其船舶ハ行方ヲ知レズモ入庫看做ス  
 第百三十三條 商法施行ノ際舊商法第九百六十九條第一項ニ定メタル三日ノ期間カ未ダ滿了ニ至ラサルトキハ商法施行ノ日ヨリ三ヶ月内ニ商法第六百七十四條ニ定メタル通知ヲ發シテ委付ヲ爲ス  
 第百三十四條 船舶ノ先取特權ニ關スル商法ノ規定ハ其施行前ニ發生シタル債權ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第百三十五條 第三十三條ノ規定ハ商法第六百八十四條第一項ノ規定ニ依リ爲ス  
 第百三十六條 船舶ノ抵當權ニ關スル商法ノ規定ハ商法施行前ニ設定シタル抵當權ニモ亦之ヲ適用ス  
 第百三十七條 民法施行法第二條第三條第三十三條第三十四條第五十三條及第七十五條ノ規定ハ商事ニ之ヲ準用ス

第百三十七條 民法施行法第二條第三條第三十三條第三十四條第五十三條及第七十五條ノ規定ハ商事ニ之ヲ準用ス

第三百二十八條 明治二十三年法律第三十二號商法第九百七十八條ヲ左ノ如ク改ム  
商人カ支拂ヲ停止シタルトキハ裁判所ハ本人又ハ債權者ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ破産ヲ宣告ス

裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ裁判ヲ爲スコトヲ得此裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百二十九條 破産宣告ノ申立ヲ爲ス債權者ハ裁判所ノ定ムル所ニ從ヒ破産手續ニ必要ナル費用ヲ豫納スルコトヲ要ス

債權者ガ前項ノ費用ヲ豫納セザルトキハ裁判所ハ破産宣告ノ申立ヲ棄却スルコトヲ得

第四百十條 本人カ破産宣告ノ申立ヲ爲シタルトキハ破産手續ニ必要ナル費用ハ假ニ國庫ヨリ之ヲ支辨スルコトヲ要ス債權者カ破産宣告ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テ裁判所ガ前條第二項ノ規定ニ依リテ其申立ヲ棄却セザルトキ亦同シ

第四百十一條 裁判所ハ破産事件ニ付キ地方裁判所又ハ區裁判所ニ法律上ノ補助ヲ求ムルコトヲ得

第四百十二條 明治二十三年法律第三十二號商法第五十一條第五號ヲ左ノ如ク改ム  
第五十條 財産目錄、貸借對照表ノ作成若クハ支拂停止届出ノ義務ヲ怠リタルトキ又ハ裁判所ノ許可ヲ得スシテ其住地ヲ離レタルトキ

第四百十三條 明治二十三年法律第三十二號商法第五十四條ヲ左ノ如ク改ム  
破産宣告ヲ受ケタル債務者ハ復權ヲ得ルニ非ズハ會社ハ無限責任社員舊商法ノ規定ニ從ヒテ設立シタル合資會社ノ業務擔當社員、株式會社ノ取締役若クハ監査役、清算人、破産管財人

又ハ商業會議所ノ會員ト爲ルコトヲ得ス

第四百十四條 明治二十三年法律第三十二號商法第五十五條第三項ハ之ヲ削除ス

第四百十五條 明治二十三年法律第三十二號商法第五十九條ヲ左ノ如ク改ム

商人カ商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ付キ自己ノ過失ナクシテ支拂ヲ中止セザルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ其債權者ノ過半数以上ノ承諾ヲ得タルトキハ營業所ノ所在地又ハ住所地ヲ管轄スル裁判所ハ一年ヲ超エサル範圍内ニ於テ支拂猶豫ヲ與フルコトヲ得

附則

第四百十六條 本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四百十七條 明治二十三年法律第五十九號商法施行條例ハ第二十條第二十四條第二十五條第三

十五條乃至第四十五條及ヒ第四十八條乃至第五十條ヲ除外本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但第

二十一條乃至第二十三條及ヒ第五十一條ノ規定ハ舊商法ノ規定ニ依ルヘキ場合ニ於テハ仍ホ其效力ヲ存ス

### 商法施行條例

(明治二十三年八月法律第五十九號)

朕商法施行條例ヲ裁可シ茲ニ之レヲ公布セシム此ノ法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス(明治二十五年法律第八號ヲ以テ施行期限ヲ明治二十九年十二月三十一日マテ延期シ同二十六年法律第九號ヲ以テ第一條乃至第三條第五號乃至第八條第十條乃至第二十七條第三十五條乃至第四十五條第四十八條乃至第五十一條第五十三條第三項ハ明治二十六年七月一日ヨリ施行ノ旨ヲ定メ尙ホ明治三十二年三月法律第四十九號第四百七十七條ノ規定ヲ以テ大刪除ヲ施セ

第三條 (明治三十二年法律第四十九條商法施行條例第四百七條ノ規定ヲ以テ新商法施行ノ日  
 起リ本條ヲ廢止ス)

第二條 (同上)

第三條 (同上)

第四條 (同上)

第五條 (同上)

第六條 (同上)

第七條 (同上)

第八條 (同上)

第九條 (同上)

第十條 (同上)

第十一條 (同上)

第十二條 (同上)

第十三條 (同上)

第十四條 (同上)

第十五條 (同上)

第十六條 (同上)

第十七條 (同上)

第十八條 (同上)

第十九條 (同上)

第二十條 商法及日本條例ニ依リ發スル命令書ヲ送達スル場合ニ於テ其手續ハ訴訟法ノ手續ニ  
 從フ

第二十一條 商法第六十七條第二項第八十一條第二百二十七條第三百三十一條第二百三十三條第二  
 百五十五條及七百六十二條並ニ本條例第三條及第五條ニ依リ裁判所ニ於テ命令書發スルトキ  
 發行者ヲシテ說明書ヲ爲サシムル爲メ之ヲ裁判所ニ呼出スル通例トス但當事者缺席スルモ命令  
 書ハ之ヲ發スルコトヲ得 (同上法令ヲ以テ之ヲ廢止セルモ「舊商法ノ規定ニ依ルヘキ場合ニ於  
 テハ仍ホ其効力ヲ存スル」旨ヲ規定スル)

第二十二條 商法第六十七條第三項第八十一條第二百二十七條及七百六十一條並ニ本條例第二  
 條及第七條ニ依リ命令書發スル場合ニ於テ裁判所ハ豫メ其旨ヲ檢事ニ通知ス可シ

第二十三條 檢事ハ口頭又ハ書面ヲ以テ意見ヲ陳述スルコトヲ得 (同上)

第二十四條 檢事ハ前條第一項ノ場合ニ於ケル命令ニ付キ其執行ノ責ニ任ス (同上)

第二十五條 商法及日本條例ニヨリ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ其期間ハ裁判書ノ  
 送達ヲ受ケタル日ノ翌日又ハ裁判所ノ言渡ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シテ七日トス

第二十六條 前條三掲ケタルモノノ外抗告ニ關スル手續ニ付テハ民事訴訟法第四百五十五條第四  
 百六十六條第二項第四百六十五條及七百六十六條第一項第二項第四項ヲ除外テ同  
 法第三編第三章ノ規定ヲ準用ス

第二十七條 (同上法令ヲ以テ新商法施行ノ日ヨリ本條ヲ廢止ス)

第三十七條 (同上)

第三十八條 (同上)

第三十九條 (同上)

第四十條 (同上)

第四十一條 (同上)

第四十二條 (同上)

第四十三條 (同上)

第四十四條 (同上)

第四十五條 (同上)

第四十六條 (同上)

第四十七條 (同上)

第四十八條 (同上)

第四十九條 (同上)

第五十條 (同上)

第五十一條 (同上)

第五十二條 (同上)

第五十三條 (同上)

第五十四條 (同上)

第五十五條 (同上)

第五十六條 (同上)

第五十七條 (同上)

第五十八條 (同上)

第五十九條 (同上)

第六十條 (同上)

第六十一條 (同上)

第六十二條 (同上)

第六十三條 (同上)

第六十四條 (同上)

第六十五條 (同上)

第六十六條 (同上)

第六十七條 (同上)

第六十八條 (同上)

第六十九條 (同上)

第七十條 (同上)

第七十一條 (同上)

第七十二條 (同上)

第七十三條 (同上)

第七十四條 (同上)

第七十五條 (同上)

第七十六條 (同上)

第七十七條 (同上)

第七十八條 (同上)

第七十九條 (同上)

第八十條 (同上)

第八十一條 (同上)

第八十二條 (同上)

第八十三條 (同上)

第八十四條 (同上)

第八十五條 (同上)

第八十六條 (同上)

ス可ラスト認ムルトキハ他ニ破産管財人ヲ選定スルコトヲ得此場合ニ於テハ直チニ其旨ヲ司法大臣ニ上申ス可シ

前項ノ破産管財人モ名簿中ノ破産管財人ノ權利及ヒ義務ヲ有ス

第四十二條 職務執行ノ不當又ハ不正ノ爲メ管財人ノ職ヲ解クトキハ破産裁判所ノ公廷ニ於テ其理由ヲ付シテ之ヲ言渡ス可シ

第四十三條 管財人ノ報酬ハ一破産手續ノ全體ニ付キ又ハ收入シタル價額ノ割合ニ應シテ之ヲ定メ財團ノ配當アル毎ニ其歩割ヲ以テ之ヲ支拂フ可シ

第四十四條 第三十六條及ヒ第三十八條ノ規定ニ違フ者ハ刑法第七十九條ノ罰金ニ處ス

第四十五條 商法第三十三條ニ依リ裁判所ニ於テ債務者ヲ監守セントスルトキハ命令書ヲ檢事ニ送致シ檢事ハ債務者ノ住所ヲ管轄スル警察官署ニ命シ其處分ヲ爲サシム (明治二十六年法律第九號ヲ以テ本條中修正)

第四十六條 (同上法令ヲ以テ本條削除)

第四十七條 (同上)

第四十八條 監守ヲ爲ストキハ警察官吏ヲシテ債務者ノ住所ニ就キ其逃走若クハ財産ノ隠匿ヲ豫防シ且破産主任官ノ許可ヲ得タルトキノ外其債務者ノ外人ト面接若クハ通信スルヲ禁セシム (明治二十六年法律第八號ヲ以テ「且」ノ下「破産」云々ノ十六字ヲ加フ)

第四十九條 商法第三十三條第三項ニ依リ債務者ヲ引致スルトキハ特ニ作リタル引致狀ヲ以テ之ヲ執行ス但其執行法ハ刑事訴訟法ニ定メタル拘引狀執行ノ手續ニ準ス (明治二十六年法律第九號ヲ以テ「第三項」ヲ「第三項」ト改ム)

第五十條 (同上)

第五十一條 (同上)

第五十二條 (同上)

第五十三條 (同上)

第五十四條 (同上)

第五十五條 (同上)

第五十六條 (同上)

第五十七條 (同上)

第五十八條 (同上)

第五十九條 (同上)

第六十條 (同上)

第六十一條 (同上)

第六十二條 (同上)

第六十三條 (同上)

第六十四條 (同上)

第六十五條 (同上)

第六十六條 (同上)

第六十七條 (同上)